

2024 年度（令和 6 年度）

学生による授業評価アンケート  
実施報告書

福山大学大学教育センター  
教育開発部門

# 目次

はじめに .....	1
1. アンケート調査の目的 .....	2
2. アンケート調査の概要 .....	2
(1) 実施期間 .....	2
(2) 調査科目の選定 .....	2
(3) アンケート調査内容 .....	2
(4) 調査結果の集計 .....	3
(5) 学生へのフィードバック方法 .....	3
(6) アンケート実施後の教員による報告書提出 .....	3
(7) アンケート実施後の学科による総括 .....	3
3. 全学、学部・センターのアンケート調査結果 .....	5
(1) 全学、学部・センターの集計結果一覧 .....	5
(2) アンケート回答率について .....	9
(3) 調査結果の内容（学生による授業評価結果について） .....	10
① 【質問 1】授業準備について .....	10
② 【質問 2】話し方について .....	11
③ 【質問 3】授業の計画性について .....	12
④ 【質問 4】授業時間について .....	13
⑤ 【質問 5】講義の工夫について .....	14
⑥ 【質問 6】質問への誠意について .....	15
⑦ 【質問 7】講義の満足度について .....	16
(4) 調査結果の内容（学生の自己点検について） .....	17
① 【質問 8】関連学習について .....	17
② 【質問 9】集中力について .....	18
③ 【質問 10】出席状況について .....	19
④ 【質問 11】知識や技能の深まりについて .....	20
⑤ 【質問 12】授業内容理解への積極性について .....	21
⑥ 【質問 13】意欲の高まりについて .....	22
⑦ 【質問 14】講義の満足度について .....	23
4. 全学、学部・センターの全体総括 .....	24
5. 学科の授業評価アンケート結果 .....	26
(1) 学科の集計結果一覧 .....	26
6. 学科、センターの個別総括 .....	30
① 経済学部経済学科 .....	30

② 経済学部国際経済学科 .....	34
③ 経済学部税務会計学科 .....	36
④ 人間文化学部人間文化学科 .....	39
⑤ 人間文化学部心理学科 .....	41
⑥ 人間文化学部メディア・映像学科 .....	43
⑦ 工学部電気電子工学科 .....	46
⑧ 工学部建築学科 .....	48
⑨ 工学部情報工学科 .....	50
⑩ 工学部機械システム工学科 .....	54
⑪ 生命工学部生物科学科 .....	56
⑫ 生命工学部健康栄養科学科 .....	58
⑬ 生命工学部海洋生物科学科 .....	60
⑭ 薬学部薬学科 .....	62
⑮ 大学教育センター .....	64
⑯ 共同利用センター .....	68
7. 令和6年度（前期）授業評価アンケート実施科目一覧 .....	70
8. 令和6年度（後期）授業評価アンケート実施科目一覧 .....	77

## はじめに

福山大学は、次の 6 つを教育目標として掲げ、この目標を達成するべく、日々、教育の改革と改善に取り組んでいる。

### 福山大学教育目標

- (1) 真理の探究と道理の実践
- (2) 豊かな品性と強い意志の涵養
- (3) 生命と自然の尊重
- (4) 個性の發揮と信頼に基づく人間関係の構築
- (5) 可能性への挑戦
- (6) 地域社会の発展への貢献

教育とは、学修者の行動に価値ある変化をもたらすプロセスであり、「何を教えたか?」ではなく、「学修者が、何ができるようになったか?」が問われる。通常、教育者は、教育の効果を試験の結果、すなわち学修成果として認識し把握している。

しかしながら、真に教育を改善するためには、学修者からの忌憚のないフィードバックを得ることは必要不可欠である。このため福山大学では、自己評価委員会が平成 16 年度に実施して以来、本学のすべての教員が毎年、学生による授業評価を受けている。平成 23 年度より大学教育センターが担当することになり、学生による授業評価だけでなく学生自身の学修の点検も加えたアンケート調査を実施している。

令和 6 年度も、大学教育センター教育開発部門が「学生による授業評価アンケート」を実施した。このアンケート調査結果が、教員と学生がそれぞれの目標とする教育と学修の成果向上の機会となることを願っている。

令和 7 年 3 月 31 日

大学教育センター センター長 鶴田 泰人  
同 教育開発部門 経済学科長 佐藤 彰三  
国際経済学科長 早川 達二  
税務会計学科長 荒木 利雄  
IR 室 片桐 重和 (データ集計・解析)

## 1. アンケート調査の目的

学生が主体的に学ぶ授業の展開を目指して、学生が授業をどのように受講しているのか、授業の何を期待しているのかを教員が理解し、各教員の授業改善に資するために本アンケートを実施する。また、全学的な教育改革の成果を検討する貴重な資料とする。さらに、学生が自己評価し、自身の学習姿勢を点検して改善に役立てるために本アンケートを実施する。

## 2. アンケート調査の概要

### (1) 実施期間

前期：令和6年6月24日（月）～7月12日（金）

後期：令和6年12月9日（月）～令和7年1月17日（金）

### (2) 調査科目の選定

本学に勤務する教員（非常勤講師を含む）を対象に、各教員前期1科目、後期1科目のアンケートを実施した。科目の選定は、各学科長・センター長に依頼した。全学で前期261科目（受講者数延べ14,984人）、後期251科目（受講者数延べ13,969人）について実施した。調査科目はp.70～83に示す。

### (3) アンケート調査内容

アンケートの調査項目は、教員の授業評価に関する7項目、学生自身の学修点検に関する7項目、合計14項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの5つの選択肢より選択することとした。各設問を以下に示す。

【質問1】授業準備：授業の準備が適切になされていると思いますか？

【質問2】教員の話し方：教員の話しあは聞き取りやすいですか？（音声のない遠隔授業の場合では）資料は読みやすいですか？

【質問3】授業の計画性：授業はシラバス通りに行われていますか？

【質問4】授業時間：授業を遅く始めたり、早く終わったりしないで、授業時間を守っていますか？

【質問5】講義の工夫：教員は、授業内容を理解しやすいように工夫していると思いますか？

【質問6】質問への誠意：教員は、あなたの質問に誠意をもって答えてていますか？

【質問7】授業への満足度：この授業に対する総合的なあなたの満足度を5段階で示してください。

【質問8】関連学習：この授業に関して、1回の授業あたり平均してどのくらい予習・復習、あるいは関連の学習をしましたか？

【質問9】集中力：授業中に私語、居眠り、携帯電話の操作、あるいは別のことを考えることなどはありますか？

【質問10】出席状況：授業には特別な事情（公認欠席、忌引きなど）を除き、出席していますか？

【質問11】知識や技能の深まり：この授業を受講して、授業内容を更に詳しく学びたいと思いますか？

【質問12】授業内容理解への積極性：授業内容のわからない点や疑問に思う点について、教員や友人への質問、インターネットや書籍を利用した自己学習等によって積極的に解決しようとしていますか？

【質問13】意欲の高まり：この授業を受講して、授業内容を更に詳しく学びたいと思いますか？

【質問 14】学修の成果：この授業であなたが得た成果を 5 段階で自己評価してください。

(4) 調査結果の集計

アンケート調査及び結果の集計は学修支援システム Cerezo (セレッソ) の機能を利用して行った。集計後、各回答数に係数（強く肯定する回答には 5、強く否定する回答には 1）を乗じ全回答数で除することで、平均点を算出した。強く否定する回答にも係数 1 を与えているため、最高点は 5.0、最低点は 1.0、標準点は 3.0 となる。なお、質問 3 では「シラバスを読んでいない」、質問 4 では「この授業は遠隔授業なのでわからない」、質問 6 では「質問したことがない」という選択肢を増やし、6 段階評価とした。これらの選択肢については、平均点の算出には用いていない。

集計は、全学、学部・センター、学科、科目単位で行った。本報告書では、全学、学部・センター、学科単位での集計結果を掲載した。各種集計結果は少数第二位以下を四捨五入して表示している。なお、所属教員が 1 名の国際センター、社会連携センターおよび IR 室については本集計表から除外した。集計結果で表示している全学の各種値は、上記の 2 センターと IR 室の数値も含めて計算しているため学部・センターの合計値とは一致しないことに留意してほしい。

(5) 学生へのフィードバック方法

アンケート調査の結果のフィードバックは、授業担当教員がアンケート調査終了後の授業時や定期試験時に口頭で行ったか、あるいは学修支援システム Cerezo の機能を利用して行った。

(6) アンケート実施後の教員による報告書提出

授業担当教員に集計結果返却後、各教員は約 3 週間以内に報告書（p. 4 の報告書書式を参照）を学科長に提出し、学科長は学科教員の報告書を取りまとめて大学教育センター長に提出した。

(7) アンケート実施後の学科による総括

年度末に学科・センター単位で授業評価アンケートを総括し、学科長から大学教育センター長に提出した。

令和6年度前期 授業評価アンケート結果に対する報告書

担当教員	氏 名		所属学部・学科		
			学部	学科	
講 義 名			科目分類 (不要な方を消去する)	受講者数	回答率
			共通教育科目 専門科目	名	%

お手数ですがこの科目的アンケート集計結果を各質問毎に記載してください

質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 5	質問 6	質問 7	
授業準備	話し方	計画性	授業時間	講義の工夫	質問への誠意	満足度	
質問 8	質問 9	質問10	質問11	質問12	質問13	質問14	
関連学習	集中力	出席状況	知識の深まり	授業内容理解への積極性	意欲の高まり	学修の成果	

◆アンケート結果の学生へのフィードバック方法

--

◆この講義に対する学生の評価結果について (アンケートの質問1～質問7が該当します)

○高く評価された事項
○改善を求められている事項
○今後の授業改善の計画

◆この講義を受講した学生の自己点検結果について (アンケートの質問8～質問14が該当します)

○学修成果という点でこの結果をどのように考えますか
○学生の学修成果を望ましい方向に進展させる方策はありますか

### 3. 全学、学部・センターのアンケート調査結果

#### (1) 全学、学部・センターの集計結果一覧

全学、学部・センター単位の前期の集計結果を以下に示す（表1：前期、表2：後期）。

表1-1 令和6年度授業評価アンケート 学部別集計結果 前期【質問1～7】

講義番号		係 数	全 学	經 濟 學 部	人 間 文 化 學 部	工 學 部	生 命 工 學 部	藥 學 部	大 學 教 育 セ ン タ	共 同 利 用 セ ン タ
学部			14,984	2,641	1,877	1,625	1,806	3,995	2,374	391
学科			8,402	1,207	1,059	1,089	1,129	1,902	1,523	272
曜限			56.1%	45.7%	56.4%	67.0%	62.5%	47.6%	64.2%	69.6%
主担当教員										
実施教員										
科目名										
受講者数										
回答者数										
回答率										
【質問1】授業準備										
授業の準備は適切になされていると思いますか？										
適切である		5	6,315	829	820	803	863	1,469	1,153	223
ほぼ適切である		4	1,611	270	188	225	218	344	277	40
どちらとも言えない		3	380	72	45	44	44	69	82	9
やや不適切である		2	59	19	4	11	4	14	6	0
不適切である		1	37	17	2	6	0	6	5	0
平均点			4.68	4.55	4.72	4.66	4.72	4.71	4.69	4.79
【質問2】教員の話し方										
教員の話は聞き取りやすいですか？／（音声のない遠隔授業の場合では）資料は読みやすいですか？										
聞き取りやすい（読みやすい）		5	5,575	744	754	706	796	1,260	1,018	183
ほぼ聞き取りやすい（ほぼ読みやすい）		4	1,994	290	223	280	251	461	346	65
どちらとも言えない		3	490	86	52	66	48	106	99	15
やや聞き取りにくい（やや読みにくい）		2	241	50	25	26	22	61	41	8
聞き取りにくい（読みにくい）		1	102	37	5	11	12	14	19	1
平均点			4.51	4.37	4.60	4.51	4.59	4.52	4.51	4.55
【質問3】授業の計画性										
授業はシラバス通りに行われていますか？										
行われている		5	5,891	834	739	750	788	1,361	1,071	206
ほぼ行われている		4	1,539	240	195	208	231	308	262	43
どちらとも言えない		3	348	81	42	46	39	39	77	10
やや異なっている		2	76	11	15	9	7	3	25	1
全く異なっている		1	11	4	1	2	0	1	3	0
シラバスを読んでいない		-	537	37	67	74	64	190	85	12
平均点			4.68	4.61	4.67	4.67	4.69	4.77	4.65	4.75
【質問4】授業時間										
授業を遅く始めたり、早く終わったりしないで、授業時間を守っていますか？										
守っている		5	6,472	857	801	805	877	1,545	1,199	222
ほぼ守っている		4	1,495	242	201	235	198	295	241	41
どちらとも言えない		3	330	73	41	40	46	44	72	7
やや守っていない		2	66	17	14	8	6	12	7	0
守っていない		1	33	15	1	1	2	6	2	2
この授業は遠隔授業なのでわからない		-	6	3	1	0	0	0	2	0
平均点			4.70	4.59	4.69	4.69	4.72	4.77	4.73	4.77
【質問5】講義の工夫										
教員は、授業内容を理解しやすくするよう工夫していると思いますか？										
思う		5	5,556	748	755	662	807	1,255	1,020	178
やや思う		4	1,989	295	233	297	228	463	345	68
どちらとも言えない		3	564	102	52	85	65	116	107	17
あまり思わない		2	198	38	15	31	22	46	33	6
思わない		1	95	24	4	14	7	22	18	3
平均点			4.51	4.41	4.62	4.43	4.60	4.52	4.52	4.51
【質問6】質問への誠意										
教員は、あなたの質問に誠意をもって答えていますか？										
誠意をもって答える		5	4,577	636	666	578	648	874	900	156
ほぼ誠意をもって答える		4	1,261	189	151	194	177	259	217	37
どちらとも言えない		3	530	101	64	69	66	81	110	16
やや誠意が感じられない		2	61	15	3	13	2	6	13	5
誠意が感じられない		1	40	16	4	6	0	7	5	2
質問したことがない		-	1,933	250	171	229	236	675	278	56
平均点			4.59	4.48	4.66	4.54	4.65	4.62	4.60	4.57
【質問7】授業への満足度										
この授業に対する総合的なあなたの満足度を5段階で示してください										
満足		5	4,798	647	650	582	707	1,082	877	153
ほぼ満足		4	2,495	343	317	348	314	587	416	87
どちらとも言えない		3	809	155	71	117	82	169	166	22
やや不満		2	205	34	18	26	16	51	42	9
不満		1	95	28	3	16	10	13	22	1
平均点			4.39	4.28	4.50	4.34	4.50	4.41	4.37	4.40
【質問1】～【質問7】の平均			4.57	4.58	4.47	4.64	4.55	4.64	4.62	4.58

表 1-2 令和 6 年度授業評価アンケート 学部別集計結果 前期【質問 8~14】

講義番号	学部	学科	曜限	主担当教員	実施教員	科目名	受講者数	回答者数	回答率	大学教育センタ	共同利用センタ
系数	全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	14,984	2,641	1,877	1,625	1,806
							8,402	1,207	1,059	1,089	1,129
							56.1%	45.7%	56.4%	67.0%	62.5%
										47.6%	64.2%
											69.6%
【質問8】関連学習		3時間以上	5	458	61	54	92	24	151	56	12
		2~3時間未満	4	510	59	57	75	60	171	71	9
この授業に関して、1回の授業あたり平均してどのくらい予習・復習、あるいは関連の学習をしましたか？		1~2時間未満	3	1,661	175	187	239	276	454	250	50
		30分~1時間未満	2	2,760	402	316	318	422	663	471	101
		30分未満	1	3,013	510	445	365	347	463	675	100
		平均点		2.12	1.97	2.02	2.28	2.11	2.41	1.92	2.01
【質問9】集中力		全くない	5	2,864	352	236	325	302	933	594	81
授業中に私語、居眠り、携帯電話の操作、あるいは別のことを考えることなどはありますか？		ほとんどない	4	3,186	436	412	433	470	707	529	113
		どちらとも言えない	3	1,390	259	224	184	225	167	226	54
		しばしばある	2	785	128	154	117	113	81	141	21
		毎回ある	1	177	32	33	30	19	14	33	3
		平均点		3.93	3.79	3.63	3.83	3.82	4.30	3.99	3.91
【質問10】出席状況		全出席	5	5,575	552	626	609	727	1,661	1,055	210
授業には特別な事情(公認欠席、忌引きなど)を除き、出席していますか？		ほぼ出席	4	2,135	494	318	355	295	215	346	50
		ときどき欠席する	3	509	121	87	82	83	21	87	8
		やや欠席が多い	2	140	33	21	30	22	5	25	2
		欠席が大も多い	1	43	7	7	13	2	0	10	2
		平均点		4.55	4.29	4.45	4.39	4.53	4.86	4.58	4.71
【質問11】知識や技能の深まり		大いに深まっている	5	4,057	471	524	495	614	1,015	724	129
この授業を受講して、あなたの知識や技能は深まっていますか？		やや深まっている	4	3,326	514	429	448	430	718	561	119
		どちらとも言えない	3	733	160	83	104	67	126	155	18
		あまり深まっていない	2	211	39	19	28	14	35	64	5
		全く深まっていない	1	75	23	4	14	4	8	19	1
		平均点		4.32	4.14	4.37	4.27	4.45	4.42	4.25	4.36
【質問12】授業内容理解への積極性		ほぼ全てしている	5	2,665	337	297	341	310	712	522	88
授業内容のわからない点や疑問に思う点について、教員や友人への質問、インターネットや書籍を利用した自己学習等によって積極的に解決しようとしていますか？		頻繁にしている	4	1,893	272	228	272	262	435	313	68
		ときどきしている	3	2,795	415	395	349	421	606	448	79
		ほとんどしていない	2	708	112	102	87	97	101	161	27
		全くしていない	1	341	71	37	40	39	48	79	10
		平均点		3.69	3.57	3.61	3.72	3.63	3.87	3.68	3.72
【質問13】意欲の高まり		大いに思う	5	3,264	374	423	381	482	846	597	94
この授業を受講して、授業内容を更に詳しく学びたいと思いますか？		やや思う	4	3,226	453	421	455	454	717	524	112
		どちらとも言えない	3	1,332	265	159	173	137	252	252	47
		あまり思わない	2	424	80	45	59	40	66	109	15
		全く思わない	1	156	35	11	21	16	21	41	4
		平均点		4.07	3.87	4.13	4.02	4.19	4.21	4.00	4.02
【質問14】学修の成果		十分に成果はあがっている	5	3,461	437	440	429	489	834	645	115
この授業であなたが得た成果を5段階で自己評価してください。		少し成果はあがっている	4	3,692	523	472	501	522	848	600	124
		どちらとも言えない	3	922	185	123	121	91	153	191	24
		あまり成果はあがっていない	2	245	37	19	24	22	61	66	6
		全く成果はあがっていない	1	82	25	5	14	5	6	21	3
		平均点		4.21	4.09	4.25	4.20	4.30	4.28	4.17	4.26
【質問8】~【質問14】の平均				3.91	3.84	3.67	3.78	3.82	3.86	4.05	3.80

表 2-1 令和 6 年度授業評価アンケート 学部別集計結果 後期【質問 1~7】

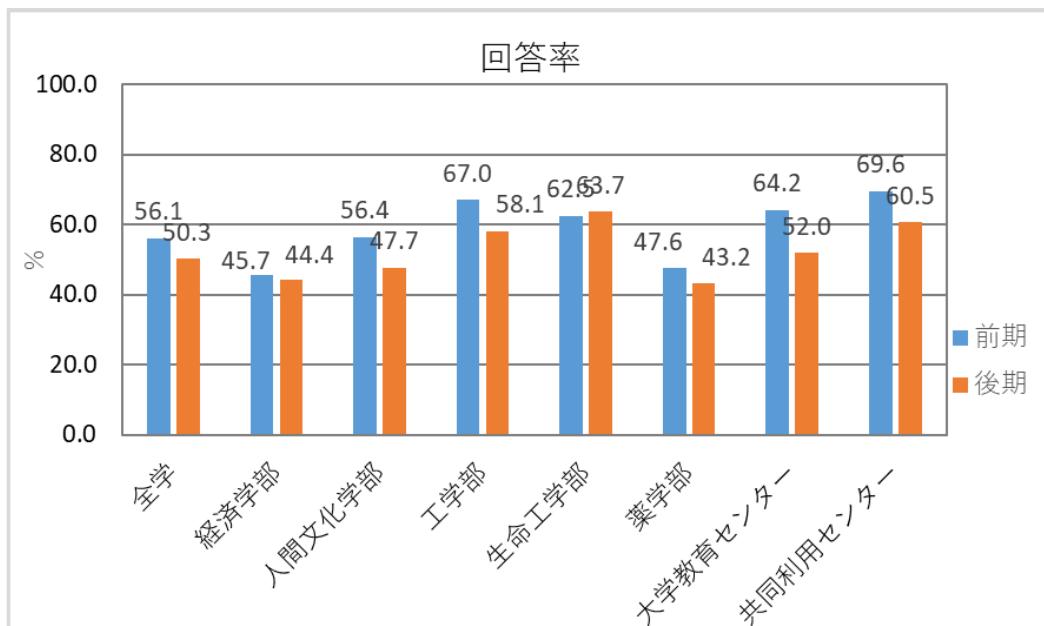
講義番号		係数	全 学	経 济 学 部	人 間 文 化 学 部	工 学 部	生 命 工 学 部	薬 学 部	大 学 教 育 セ ン タ	共 同 利 用 セ ン タ
学部										
学科										
曜限										
主担当教員										
実施教員										
科目名										
受講者数			13,969	3,147	1,705	1,192	1,979	3,265	2,200	256
回答者数			7,030	1,397	813	716	1,260	1,412	1,144	155
回答率			50.3%	44.4%	47.7%	60.1%	63.7%	43.2%	52.0%	60.5%
【質問1】授業準備	適切である	5	5,358	1,059	590	504	950	1,138	892	131
	ほぼ適切である	4	1,399	281	191	168	258	234	210	23
	どちらとも言えない	3	220	43	24	37	42	33	35	1
授業の準備は適切になされていると思いますか？	やや不適切である	2	36	7	8	5	6	6	4	0
	不適切である	1	17	7	0	2	4	1	3	0
	平均点		4.71	4.70	4.68	4.63	4.70	4.77	4.73	4.84
【質問2】教員の話し方	聞き取りやすい(読みやすい)	5	4,720	925	544	419	847	1,002	796	114
教員の話は聞き取りやすいですか？／(音声のない遠隔授業の場合では)資料は読みやすいですか？	ほぼ聞き取りやすい(ほぼ読みやすい)	4	1,713	335	208	212	332	315	233	37
	どちらとも言えない	3	351	59	42	59	58	58	60	4
	やや聞き取りにくい(やや読みにくい)	2	182	53	14	22	20	30	38	0
	聞き取りにくい(読みにくい)	1	64	25	5	4	3	7	17	0
	平均点		4.54	4.49	4.56	4.42	4.59	4.61	4.53	4.71
【質問3】授業の計画性	行われている	5	5,010	1,005	550	477	888	1,070	818	124
授業はシラバス通りに行われていますか？	ほぼ行われている	4	1,284	248	189	156	234	205	195	22
	どちらとも言えない	3	252	61	31	37	43	20	49	1
	やや異なっている	2	46	13	6	6	8	3	9	0
	全く異なっている	1	13	6	0	3	1	1	2	0
	シラバスを読んでいない	-	425	64	37	37	86	113	71	8
	平均点		4.70	4.68	4.65	4.62	4.70	4.80	4.69	4.84
【質問4】授業時間	守っている	5	5,408	1,055	591	521	939	1,189	889	131
授業を遅く始めたり、早く終わったりしないで、授業時間を守っていますか？	ほぼ守っている	4	1,300	264	160	149	266	198	209	22
	どちらとも言えない	3	241	54	40	39	45	19	35	2
	やや守っていない	2	50	13	11	6	9	5	5	0
	守っていない	1	17	8	4	1	0	1	3	0
	この授業は遠隔授業なのでわからない	-	14	3	7	0	1	0	3	0
	平均点		4.71	4.68	4.64	4.62	4.70	4.80	4.69	4.83
【質問5】講義の工夫	思う	5	4,793	947	559	418	867	1,003	805	115
教員は、授業内容を理解しやすくするよう工夫していると思いますか？	やや思う	4	1,628	317	189	199	287	313	249	34
	どちらとも言えない	3	446	93	48	71	81	73	65	6
	あまり思わない	2	121	29	15	20	19	16	17	0
	思わない	1	42	11	2	8	6	7	8	0
	平均点		4.57	4.55	4.58	4.40	4.58	4.62	4.60	4.70
【質問6】質問への誠意	誠意をもって答える	5	3,812	731	481	393	655	719	675	87
教員は、あなたの質問に誠意をもって答えていますか？	ほぼ誠意をもって答える	4	1,103	223	130	150	203	171	184	17
	どちらとも言えない	3	420	95	56	66	75	51	59	6
	やや誠意が感じられない	2	37	11	3	8	4	5	4	0
	誠意が感じられない	1	27	8	3	8	4	1	2	1
	質問したことがない	-	1,631	329	140	91	319	465	220	44
	平均点		4.60	4.55	4.61	4.46	4.60	4.69	4.65	4.70
【質問7】授業への満足度	満足	5	4,192	813	479	371	749	900	717	86
この授業に対する総合的なあなたの満足度を5段階で示してください	ほぼ満足	4	2,080	414	254	226	407	374	308	58
	どちらとも言えない	3	601	136	63	89	93	114	82	10
	やや不満	2	106	21	13	20	8	15	25	1
	不満	1	51	13	4	10	3	9	12	0
	平均点		4.46	4.43	4.46	4.30	4.50	4.52	4.48	4.48
【質問1】～【質問7】の平均			4.57	4.61	4.58	4.60	4.50	4.62	4.69	4.63

表 2-2 令和 6 年度授業評価アンケート 学部別集計結果 後期【質問 8~14】

講義番号		係数	全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センタ	共同利用センタ
学部										
学科										
曜限										
主担当教員										
実施教員										
科目名										
受講者数	13,969	3,147	1,705	1,192	1,979	3,265	2,200	256		
回答者数	7,030	1,397	813	716	1,260	1,412	1,144	155		
回答率	50.3%	44.4%	47.7%	60.1%	63.7%	43.2%	52.0%	60.5%		
【質問8】関連学習 この授業に関して、1回の授業あたり平均してどのくらい予習・復習、あるいは関連の学習をしましたか？	3時間以上 2~3時間未満 1~2時間未満 30分~1時間未満 30分未満	5 4 3 2 1	415 406 1,381 2,232 2,596	85 67 217 411 617	37 47 143 236 350	69 54 159 224 210	46 66 285 466 397	108 107 351 476 370	58 50 183 341 512	1 4 22 48 80
	平均点		2.12	1.99	2.00	2.37	2.13	2.37	1.95	1.70
【質問9】集中力 授業中に私語、居眠り、携帯電話の操作、あるいは別のことを考えることなどはありますか？	全くない ほとんどない どちらとも言えない しばしばある 毎回ある	5 4 3 2 1	2,334 2,769 1,224 560 143	406 527 271 141 52	232 285 187 90 19	202 278 151 67 18	314 534 269 122 21	680 576 104 40 12	413 440 195 78 18	42 75 24 11 3
	平均点		3.94	3.78	3.76	3.81	3.79	4.33	4.01	3.92
【質問10】出席状況 授業には特別な事情(公認欠席、忌引きなど)を除き、出席していますか？	全出席 ほぼ出席 ときどき欠席する やや欠席が多い 欠席が大も多い	5 4 3 2 1	4,065 2,114 618 172 61	625 544 153 53 22	428 271 86 21 7	361 238 79 27 11	658 397 152 44 9	1,148 233 29 1 1	671 346 98 20 9	87 51 11 5 1
	平均点		4.42	4.21	4.34	4.27	4.31	4.79	4.44	4.41
【質問11】知識や技能の深まり この授業を受講して、あなたの知識や技能は深まっていますか？	大いに深まっている やや深まっている どちらとも言えない あまり深まっていない 全く深まっていない	5 4 3 2 1	3,431 2,798 611 144 46	622 584 134 39 18	396 335 63 14 5	299 310 79 23 5	615 512 108 21 4	777 535 76 21 3	581 402 128 23 10	78 66 9 2 0
	平均点		4.34	4.25	4.36	4.22	4.36	4.46	4.33	4.42
【質問12】授業内容理解への積極性 授業内容のわからない点や疑問に思う点について、教員や友人への質問、インターネットや書籍を利用した自己学習等によって積極的に解決しようとしていますか？	ほぼ全てしている 頻繁にしている ときどきしている ほとんどしていない 全くしていない	5 4 3 2 1	2,201 1,466 2,488 572 303	450 281 456 134 76	253 166 284 66 44	203 193 242 57 21	296 238 552 116 58	536 285 483 84 24	367 251 374 90 62	41 28 56 16 14
	平均点		3.67	3.64	3.64	3.70	3.47	3.87	3.67	3.43
【質問13】意欲の高まり この授業を受講して、授業内容を更に詳しく学びたいと思いますか？	大いに思う やや思う どちらとも言えない あまり思わない 全く思わない	5 4 3 2 1	2,778 2,773 1,109 269 101	470 552 275 67 33	316 335 120 33 9	252 288 121 44 11	494 519 201 38 8	677 531 156 31 17	457 431 191 47 18	60 67 18 7 3
	平均点		4.12	3.97	4.13	4.01	4.15	4.29	4.10	4.12
【質問14】学修の成果 この授業であなたが得た成果を5段階で自己評価してください。	十分に成果はあがっている 少し成果はあがっている どちらとも言えない あまり成果はあがっていない 全く成果はあがっていない	5 4 3 2 1	2,942 3,114 791 142 41	540 634 176 32 15	360 342 95 13 3	263 329 92 29 3	518 581 142 13 6	643 612 134 20 3	505 471 128 29 0	59 84 9 3 0
	平均点		4.25	4.18	4.28	4.15	4.26	4.33	4.25	4.28
【質問8】~【質問14】の平均			3.88	3.84	3.72	3.79	3.79	3.78	4.06	3.82

## (2) アンケート回答率について

回答率をグラフに、実数を表に示した。全学平均では、前期が 56.1%、後期が 50.3%で昨年度と同程度であった（令和 5 年度：前期 61.1%、後期 52.9%）。毎年前期と比べて後期は回答率が低くなる傾向が認められる。今後は学生へのアンケートの依頼方法についても再検討を行い、より多くの学生に協力してもらえるよう改善を図っていきたい。



### ▼令和 6 年度学生による授業評価アンケート 前期 回答率

	全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
受講者数	14,984	2,641	1,877	1,625	1,806	3,995	2,374	391
回答者数	8,402	1,207	1,059	1,089	1,129	1,902	1,523	272
回答率 (%)	56.1	45.7	56.4	67.0	62.5	47.6	64.2	69.6

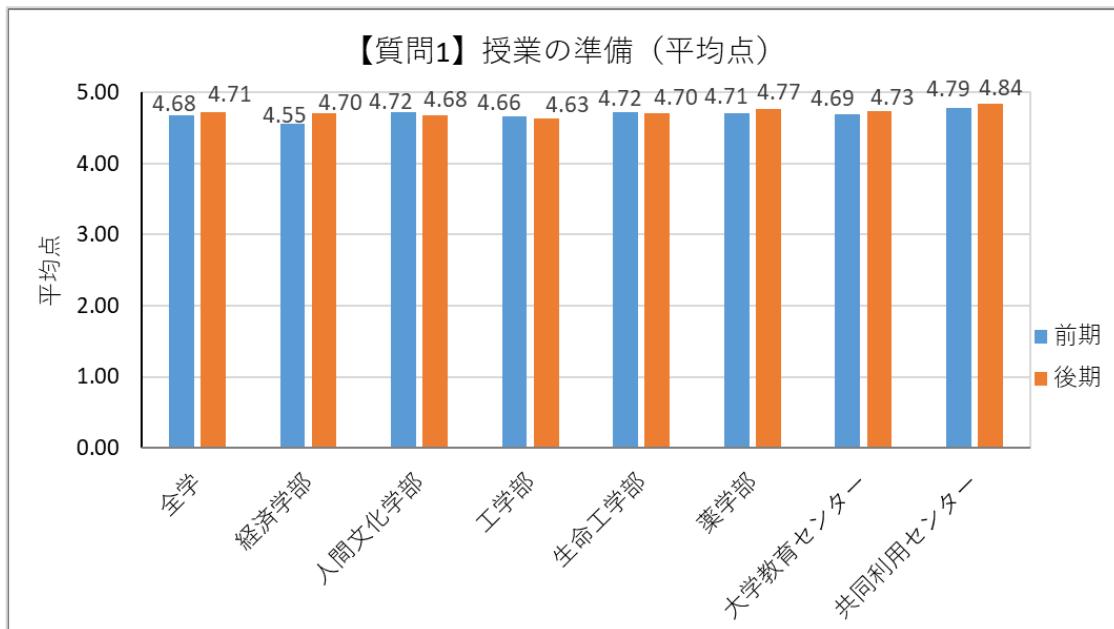
### ▼令和 6 年度学生による授業評価アンケート 後期 回答率

	全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
受講者数	13,969	3,147	1,705	1,192	1,979	3,265	2,200	256
回答者数	7,030	1,397	813	716	1,260	1,412	1,144	155
回答率 (%)	50.3	44.4	47.7	58.1	63.7	43.2	52.0	60.5

(3) 調査結果の内容（学生による授業評価結果について）

① 【質問 1】授業準備について

教員の「授業準備」については、すべての学部・センターにおいて前後期とも 4.6 以上と高く評価されており、適切に実施されていると考えられた。2 トップ（回答の 5 と 4）の割合は、すべての学部・センターにおいて 90%台であり、組織間で大きな相違は認められなかった。



▼令和 6 年度学生による授業評価アンケート 前期【質問 1】授業準備 回答割合

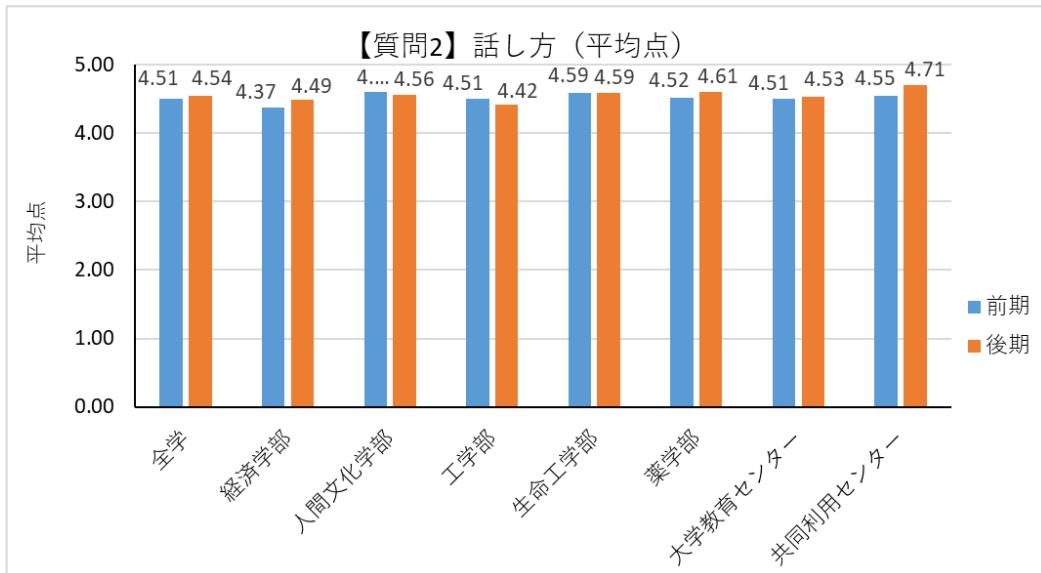
	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
【質問1】 授業準備 授業の準備が 適切になされ ていると思 いますか？	適切である	5	75.2%	68.7%	77.4%	73.7%	76.4%	77.2%	75.7%	82.0%
	ほぼ適切である	4	19.2%	22.4%	17.8%	20.7%	19.3%	18.1%	18.2%	14.7%
	どちらともいえない	3	4.5%	6.0%	4.2%	4.0%	3.9%	3.6%	5.4%	3.3%
	やや不適切である	2	0.7%	1.6%	0.4%	1.0%	0.4%	0.7%	0.4%	0.0%
	不適切である	1	0.4%	1.4%	0.2%	0.6%	0.0%	0.3%	0.3%	0.0%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

▼令和 6 年度学生による授業評価アンケート 後期【質問 1】授業準備 回答割合

	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
【質問1】 授業準備 授業の準備が 適切になされ ていると思 いますか？	適切である	5	76.2%	75.8%	72.6%	70.4%	75.4%	80.6%	78.0%	84.5%
	ほぼ適切である	4	19.9%	20.1%	23.5%	23.5%	20.5%	16.6%	18.4%	14.8%
	どちらともいえない	3	3.1%	3.1%	3.0%	5.2%	3.3%	2.3%	3.1%	0.6%
	やや不適切である	2	0.5%	0.5%	1.0%	0.7%	0.5%	0.4%	0.3%	0.0%
	不適切である	1	0.2%	0.5%	0.0%	0.3%	0.3%	0.1%	0.3%	0.0%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

## ② 【質問 2】話し方について

教員の「話し方」については、すべての学部・センターにおいて前後期とも 4.4 以上と高く評価されており、適切に実施されていると考えられた。2 トップ（回答の 5 と 4）の割合は、すべての学部・センターにおいて 80%半ば～90%台であり、組織間で大きな相違は認められなかった。



### ▼令和 6 年度学生による授業評価アンケート 前期 【質問 2】話し方 回答割合

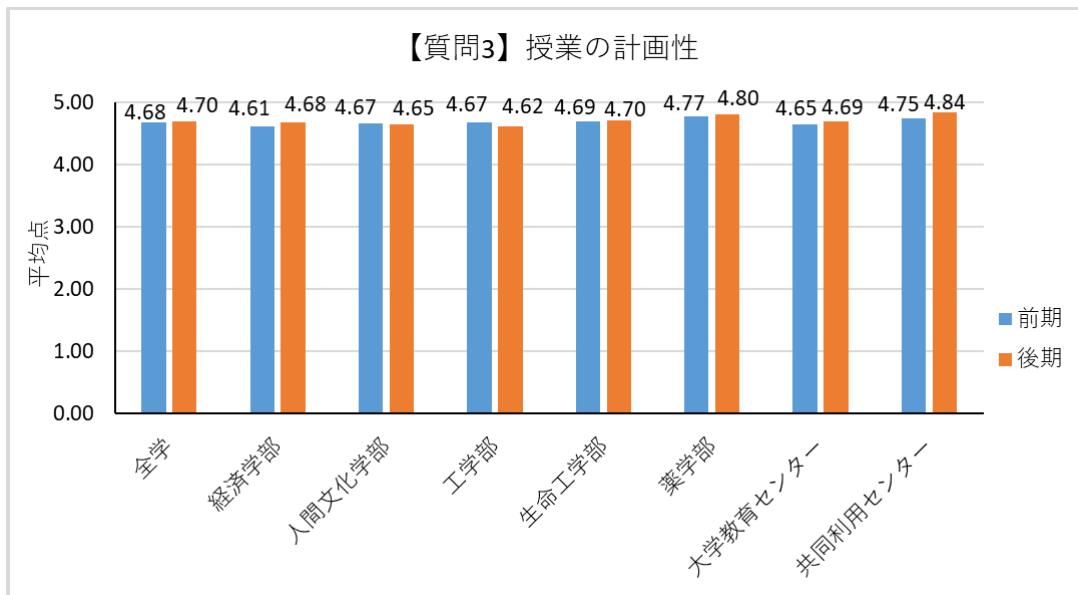
	回答	全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
【質問2】 話し方 教員の話し方 は明確です か？	聞き取りやすい	5	66.4%	61.6%	71.2%	64.8%	70.5%	66.2%	66.8%
	ほぼ聞き取りやすい	4	23.7%	24.0%	21.1%	25.7%	22.2%	24.2%	22.7%
	どちらともいえない	3	5.8%	7.1%	4.9%	6.1%	4.3%	5.6%	6.5%
	やや聞き取りにくい	2	2.9%	4.1%	2.4%	2.4%	1.9%	3.2%	2.7%
	大変聞き取りにくい	1	1.2%	3.1%	0.5%	1.0%	1.1%	0.7%	1.2%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

### ▼令和 6 年度学生による授業評価アンケート 後期 【質問 2】話し方 回答割合

	回答	全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
【質問2】 話し方 教員の話し方 は明確です か？	聞き取りやすい	5	67.1%	66.2%	66.9%	58.5%	67.2%	71.0%	69.6%
	ほぼ聞き取りやすい	4	24.4%	24.0%	25.6%	29.6%	26.3%	22.3%	20.4%
	どちらともいえない	3	5.0%	4.2%	5.2%	8.2%	4.6%	4.1%	5.2%
	やや聞き取りにくい	2	2.6%	3.8%	1.7%	3.1%	1.6%	2.1%	3.3%
	大変聞き取りにくい	1	0.9%	1.8%	0.6%	0.6%	0.2%	0.5%	1.5%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

### ③ 【質問 3】授業の計画性について

教員の「授業の計画性」については、すべての学部・センターにおいて前後期とも 4.6 以上と高く評価されており、適切に実施されていると考えられた。2 トップ（回答の 5 と 4）の割合は、すべての学部・センターにおいて 90% 以上であり、組織間で大きな相違は認められなかった。シラバスを読んでいない学生の割合は全学平均で前期 6.4%、後期 6.0% であり、昨年度（前期 7.1%、後期 6.7%）と比べてやや改善した。



#### ▼令和 6 年度学生による授業評価アンケート 前期【質問 3】授業の計画性 回答割合

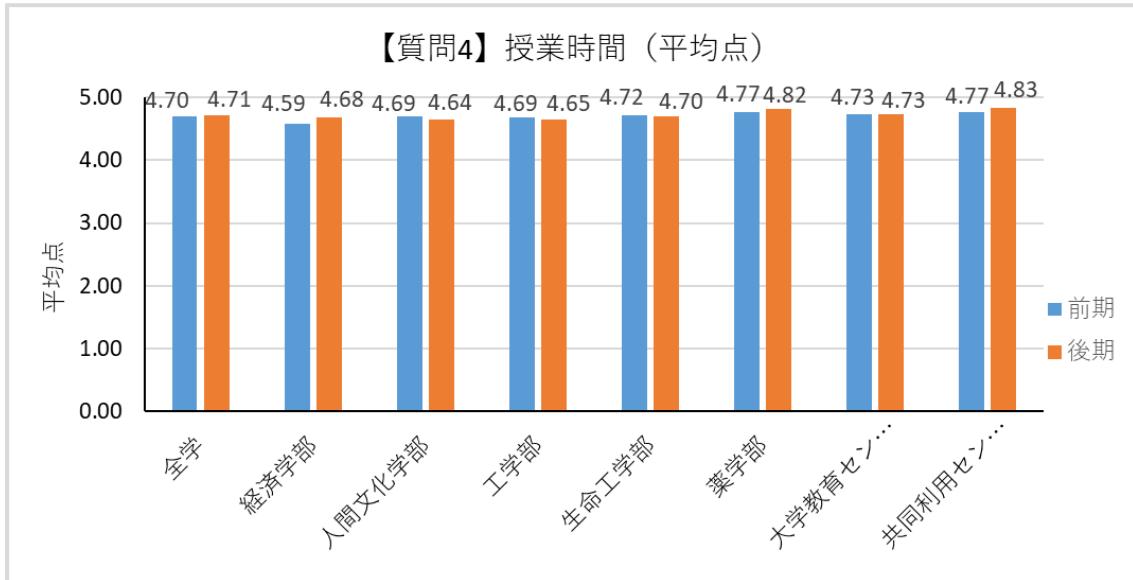
	回答	全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
【質問3】 計画性 授業はシラバ ス通り行われ ていますか？	行われている	5	74.9%	71.3%	74.5%	73.9%	74.0%	79.5%	74.5%
	ほぼ行われている	4	19.6%	20.5%	19.7%	20.5%	21.7%	18.0%	18.2%
	どちらともいえない	3	4.4%	6.9%	4.2%	4.5%	3.7%	2.3%	5.4%
	やや異なっている	2	1.0%	0.9%	1.5%	0.9%	0.7%	0.2%	0.4%
	全く異なっている	1	0.1%	0.3%	0.1%	0.2%	0.0%	0.1%	0.2%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	シラバスを読ん でいない	—	6.4%	3.1%	6.3%	6.8%	5.7%	10.0%	5.6%

#### ▼令和 6 年度学生による授業評価 アンケート 後期【質問 3】授業の計画性 回答割合

	回答	全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
【質問3】 計画性 授業はシラバ ス通り行われ ていますか？	行われている	5	75.9%	75.4%	70.9%	70.3%	75.6%	82.4%	76.2%
	ほぼ行われている	4	19.4%	18.6%	24.4%	23.0%	19.9%	15.8%	18.2%
	どちらともいえない	3	3.8%	4.6%	4.0%	5.4%	3.7%	1.5%	4.6%
	やや異なっている	2	0.7%	1.0%	0.8%	0.9%	0.7%	0.2%	0.8%
	全く異なっている	1	0.2%	0.5%	0.0%	0.4%	0.1%	0.1%	0.0%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	シラバスを読ん でいない	—	6.0%	4.6%	4.6%	5.2%	6.8%	8.0%	6.2%

#### ④ 【質問 4】授業時間について

教員の「授業時間」については、全ての学部・センターにおいて前後期とも 4.6 以上と高く評価されており、適切に実施されていると考えられた。2 トップ（回答の 5 と 4）の割合は、すべての学部・センターにおいて 90% 以上であり、組織間で大きな相違は認められなかった。



#### ▼令和 6 年度学生による授業評価アンケート 前期【質問 4】授業時間 回答割合

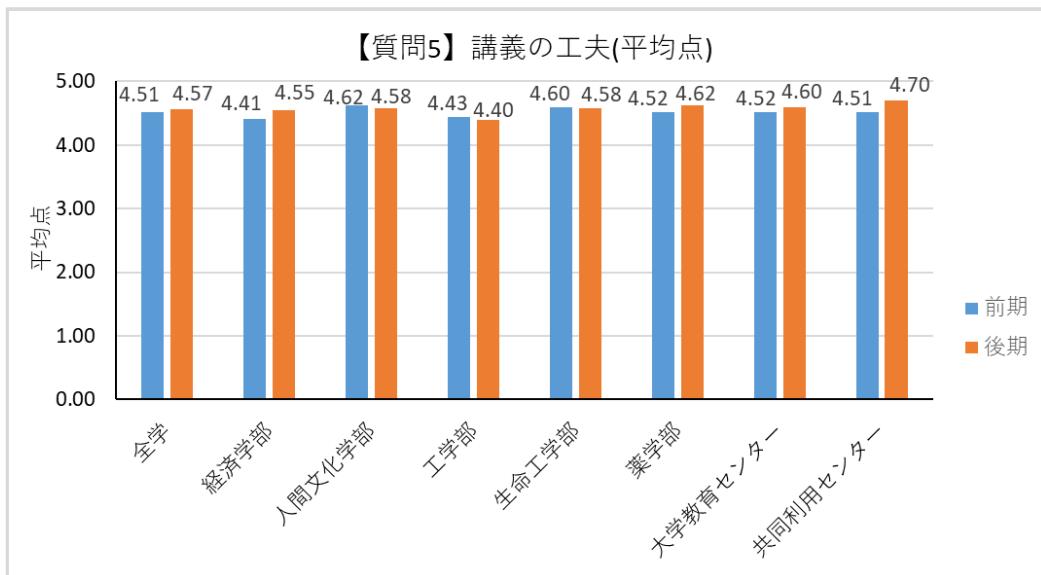
【質問4】 授業時間 授業をあまりに 遅く始めたり、 早く終わったり しないで、90分 間の授業時間を 守っています か？	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
	守っている	5	77.1%	71.2%	75.7%	73.9%	77.7%	81.2%	78.8%	81.6%
ほぼ守っている	4	17.8%	20.1%	19.0%	21.6%	17.5%	15.5%	15.8%	15.1%	
どちらともいえない	3	3.9%	6.1%	3.9%	3.7%	4.1%	2.3%	4.7%	2.6%	
やや守っていない	2	0.8%	1.4%	1.3%	0.7%	0.5%	0.6%	0.5%	0.0%	
守っていない	1	0.4%	1.2%	0.1%	0.1%	0.2%	0.3%	0.1%	0.7%	
計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
この授業は遠隔授業 なのでわからない	-	0.1%	0.2%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	

#### ▼令和 6 年度学生による授業評価アンケート 後期【質問 4】授業時間 回答割合

【質問4】 授業時間 授業をあまりに 遅く始めたり、 早く終わったり しないで、90分 間の授業時間を 守っています か？	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
	守っている	5	77.1%	75.7%	73.3%	72.8%	74.6%	84.2%	77.9%	84.5%
ほぼ守っている	4	18.5%	18.9%	19.9%	20.8%	21.1%	14.0%	18.3%	14.2%	
どちらともいえない	3	3.4%	3.9%	5.0%	5.4%	3.6%	1.3%	3.1%	1.3%	
やや守っていない	2	0.7%	0.9%	1.4%	0.8%	0.7%	0.4%	0.4%	0.0%	
守っていない	1	0.2%	0.6%	0.5%	0.1%	0.0%	0.1%	0.3%	0.0%	
計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
この授業は遠隔授業 なのでわからない	-	6.0%	4.6%	4.6%	5.2%	6.8%	8.0%	6.2%	5.2%	

##### ⑤ 【質問 5】講義の工夫について

教員の「講義の工夫」については、すべての学部・センターにおいて前後期とも 4.4 以上と高く評価されており、適切に実施されていると考えられた。2 トップ（回答の 5 と 4）の割合は、すべての学部・センターにおいて 80%台半ば～90%台であり、組織間で大きな相違は認められなかった。



##### ▼令和 6 年度学生による授業評価アンケート 前期 【質問 5】講義の工夫 回答割合

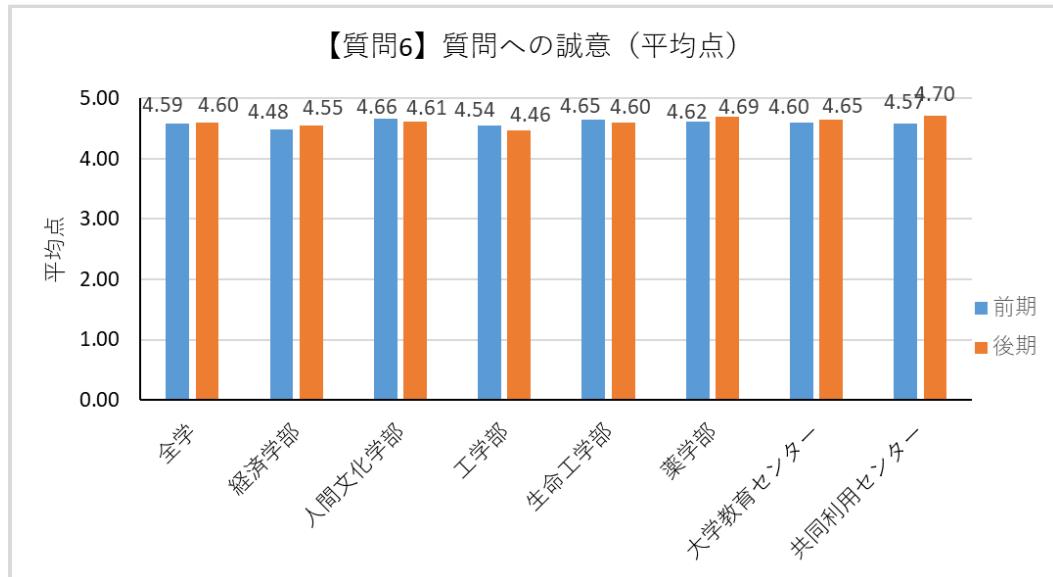
	回答	全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
【質問5】講義の工夫 教員は、科目内容を理解しやすくするように工夫していると思いますか？	思う	5	66.1%	62.0%	71.3%	60.8%	71.5%	66.0%	67.0%
	やや思う	4	23.7%	24.4%	22.0%	27.3%	20.2%	24.3%	22.7%
	どちらともいえない	3	6.7%	8.5%	4.9%	7.8%	5.8%	6.1%	7.0%
	あまり思わない	2	2.4%	3.1%	1.4%	2.8%	1.9%	2.4%	2.2%
	全く思わない	1	1.1%	2.0%	0.4%	1.3%	0.6%	1.2%	1.2%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

##### ▼令和 6 年度学生による授業評価アンケート 後期 【質問 5】講義の工夫 回答割合

	回答	全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
【質問5】講義の工夫 教員は、科目内容を理解しやすくするように工夫していると思いますか？	思う	5	68.2%	67.8%	68.8%	58.4%	68.8%	71.0%	70.4%
	やや思う	4	23.2%	22.7%	23.2%	27.8%	22.8%	22.2%	21.8%
	どちらともいえない	3	6.3%	6.7%	5.9%	9.9%	6.4%	5.2%	5.7%
	あまり思わない	2	1.7%	2.1%	1.8%	2.8%	1.5%	1.1%	1.5%
	全く思わない	1	0.6%	0.8%	0.2%	1.1%	0.5%	0.5%	0.0%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

## ⑥ 【質問 6】質問への誠意について

教員の「質問への誠意」については、すべての学部・センターにおいておよそ 4.5 以上と高く評価されており、適切に実施されていると考えられた。2 トップ（回答の 5 と 4）の割合は、ほとんどの学部・センターにおいて 80%台半ば～90%台であり、組織間で大きな相違は認められなかつた。



### ▼令和 6 年度学生による授業評価アンケート 前期【質問 6】質問への誠意 回答割合

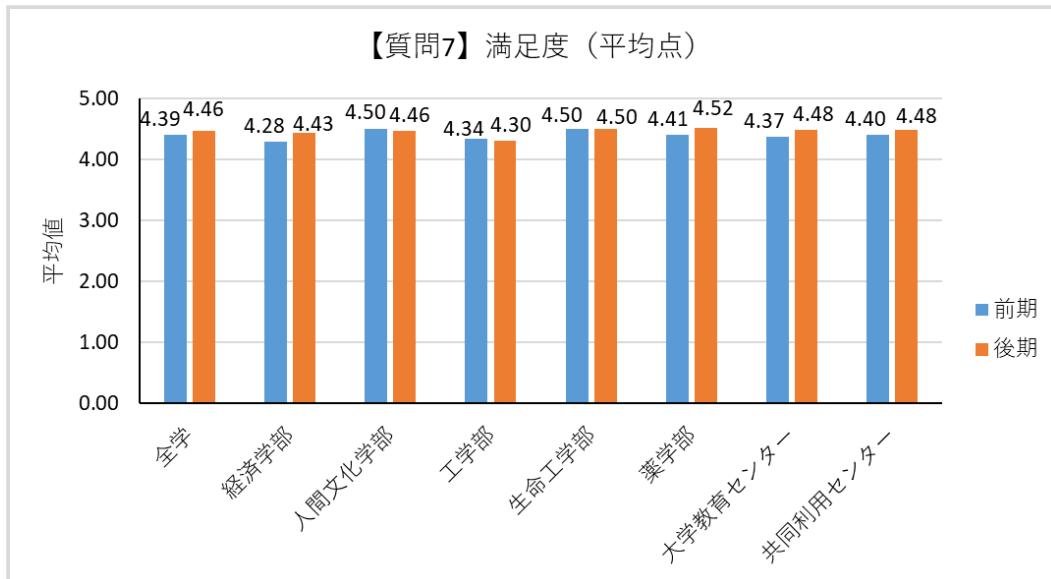
	回答	全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
【質問6】質問への誠意 教員は、あなたの質問に誠意をもって答えてていますか？	誠意をもって答える	5	70.8%	66.5%	75.0%	67.2%	72.6%	71.2%	72.3%
	ほぼ誠意をもって答える	4	19.5%	19.7%	17.0%	22.6%	19.8%	21.1%	17.4%
	どちらとも言えない	3	8.2%	10.6%	7.2%	8.0%	7.4%	6.6%	8.8%
	やや誠意が感じられない	2	0.9%	1.6%	0.3%	1.5%	0.2%	0.5%	1.0%
	誠意が感じられない	1	0.6%	1.7%	0.5%	0.7%	0.0%	0.6%	0.4%
	計	—	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	質問したことがない		23.0%	20.7%	16.1%	21.0%	20.9%	35.5%	18.3%

### ▼令和 6 年度学生による授業評価アンケート 後期【質問 6】質問への誠意 回答割合

	回答	全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
【質問6】質問への誠意 教員は、あなたの質問に誠意をもって答えてていますか？	誠意をもって答える	5	70.6%	68.4%	71.5%	62.9%	69.6%	75.9%	73.1%
	ほぼ誠意をもって答える	4	20.4%	20.9%	19.3%	24.0%	21.6%	18.1%	19.9%
	どちらとも言えない	3	7.8%	8.9%	8.3%	10.6%	8.0%	5.4%	6.4%
	やや誠意が感じられない	2	0.7%	1.0%	0.4%	1.3%	0.4%	0.5%	0.4%
	誠意が感じられない	1	0.5%	0.7%	0.4%	1.3%	0.4%	0.1%	0.2%
	計	—	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	質問したことがない		23.2%	23.6%	17.2%	12.7%	25.3%	32.9%	19.2%

## ⑦ 【質問 7】講義の満足度について

教員の「講義の満足度」については、すべての学部・センターにおいて前後期とも 4.3 以上と高く評価されており、適切に実施されていると考えられた。2 トップ（回答の 5 と 4）の割合は、ほとんどの学部・センターにおいて 80%～90%台であり、組織間で大きな相違は認められなかった。



### ▼令和 6 年度学生による授業評価アンケート 前期【質問 7】満足度 回答割合

	回答	全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
【質問 7】授業への満足度 この授業に対する総合的なあなたの満足度を5段階で示してください	満足	5	57.1%	53.6%	61.4%	53.4%	62.6%	56.9%	57.6%
	ほぼ満足	4	29.7%	28.4%	29.9%	32.0%	27.8%	30.9%	27.3%
	どちらとも言えない	3	9.6%	12.8%	6.7%	10.7%	7.3%	8.9%	10.9%
	やや不満	2	2.4%	2.8%	1.7%	2.4%	1.4%	2.7%	2.8%
	不満	1	1.1%	2.3%	0.3%	1.5%	0.9%	0.7%	1.4%
	平均点		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

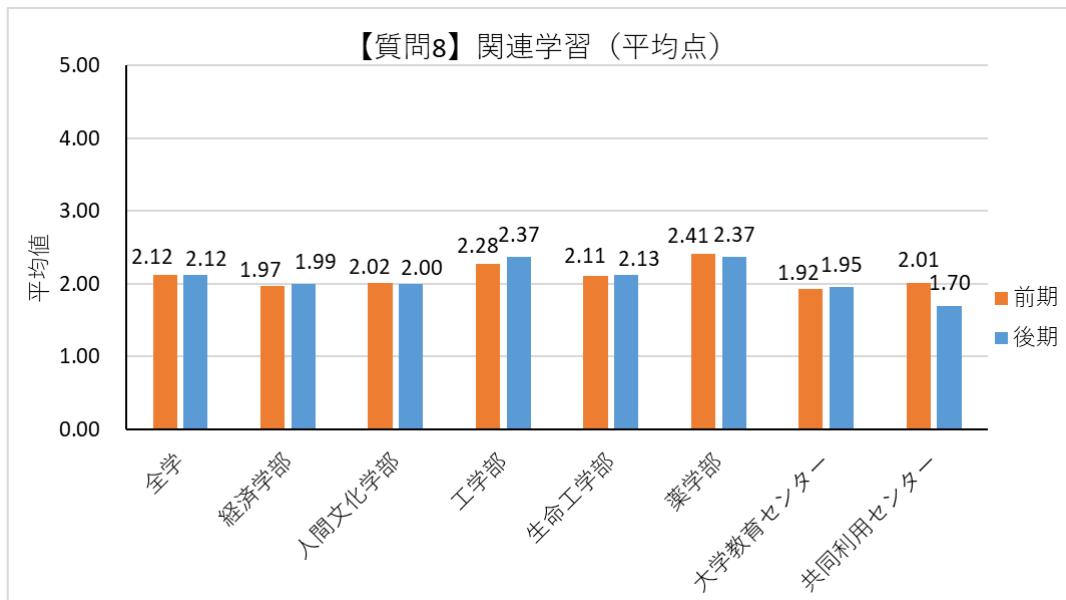
### ▼令和 6 年度学生による授業評価アンケート 後期【質問 7】満足度 回答割合

	回答	全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
【質問 7】授業への満足度 この授業に対する総合的なあなたの満足度を5段階で示してください	満足	5	59.6%	58.2%	58.9%	51.8%	59.4%	63.7%	62.7%
	ほぼ満足	4	29.6%	29.6%	31.2%	31.6%	32.3%	26.5%	26.9%
	どちらとも言えない	3	8.5%	9.7%	7.7%	12.4%	7.4%	8.1%	7.2%
	やや不満	2	1.5%	1.5%	1.6%	2.8%	0.6%	1.1%	2.2%
	不満	1	0.7%	0.9%	0.5%	1.4%	0.2%	0.6%	1.0%
	平均点		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(4) 調査結果の内容（学生の自己点検について）

① 【質問8】関連学習について

学生の「関連学習（授業に関する予習や復習、あるいは関連の学習）」については、昨年度に続いてすべての学部・センターにおいて前後期とも 1.7~2.4 という低い値に留まった。また、「関連学習の時間が 30 分未満」の学生は、全学では前期35.9%、後期36.9度であり、令和 4 年度（前期 35.2%、後期 36.0%）に比べて増加していた。今後の改善が望まれる事項である。



▼令和 6 年度学生による授業評価アンケート 前期【質問 8】関連学習 回答割合

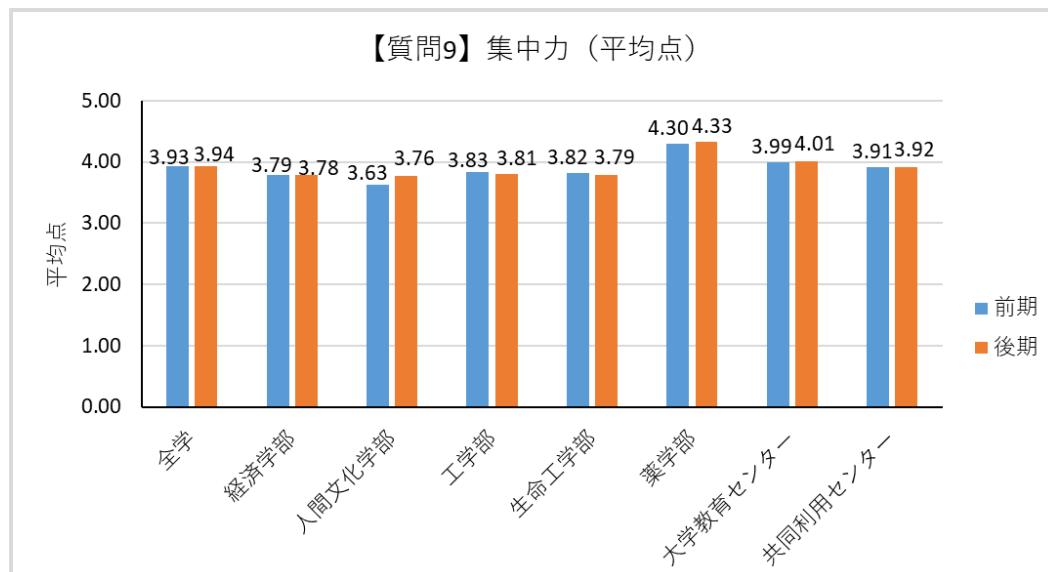
	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
【質問8】 関連学習 この授業に関して、1回の講義あたり平均して どのくらい予習・復習、あるいは関連の学習 をしましたか？	3 時間以上	5	5.5%	5.1%	5.1%	8.4%	2.1%	7.9%	3.7%	4.4%
	2 ~ 3 時間未満	4	6.1%	4.9%	5.4%	6.9%	5.3%	9.0%	4.7%	3.3%
	1 ~ 2 時間未満	3	19.8%	14.5%	17.7%	21.9%	24.4%	23.9%	16.4%	18.4%
	30 分 ~ 1 時間未満	2	32.8%	33.3%	29.8%	29.2%	37.4%	34.9%	30.9%	37.1%
	30 分未満	1	35.9%	42.3%	42.0%	33.5%	30.7%	24.3%	44.3%	36.8%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

▼令和 6 年度学生による授業評価アンケート 後期【質問 8】関連学習 回答割合

	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
【質問8】 関連学習 この授業に関して、1回の講義あたり平均して どのくらい予習・復習、あるいは関連の学習 をしましたか？	3 時間以上	5	5.9%	6.1%	4.6%	9.6%	3.7%	7.6%	5.1%	0.6%
	2 ~ 3 時間未満	4	5.8%	4.8%	5.8%	7.5%	5.2%	7.6%	4.4%	2.6%
	1 ~ 2 時間未満	3	19.6%	15.5%	17.6%	22.2%	22.6%	24.9%	16.0%	14.2%
	30 分 ~ 1 時間未満	2	31.7%	29.4%	29.0%	31.3%	37.0%	33.7%	29.8%	31.0%
	30 分未満	1	36.9%	44.2%	43.1%	29.3%	31.5%	26.2%	44.8%	51.6%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

## ② 【質問9】集中力について

学生の「集中力」については、多くの学部・センターにおいて前後期ともおおよそ3.0点台後半であり、おおむね良好であった。また、薬学部では、4.30～4.33と高い数値が認められた。2トップ（回答の5と4）の割合は、ほとんどの学部・センターにおいて60%～70%台であったが、薬学部では90%近い数値が認められた。



### ▼令和6年度学生による授業評価アンケート 前期【質問9】集中力 回答割合

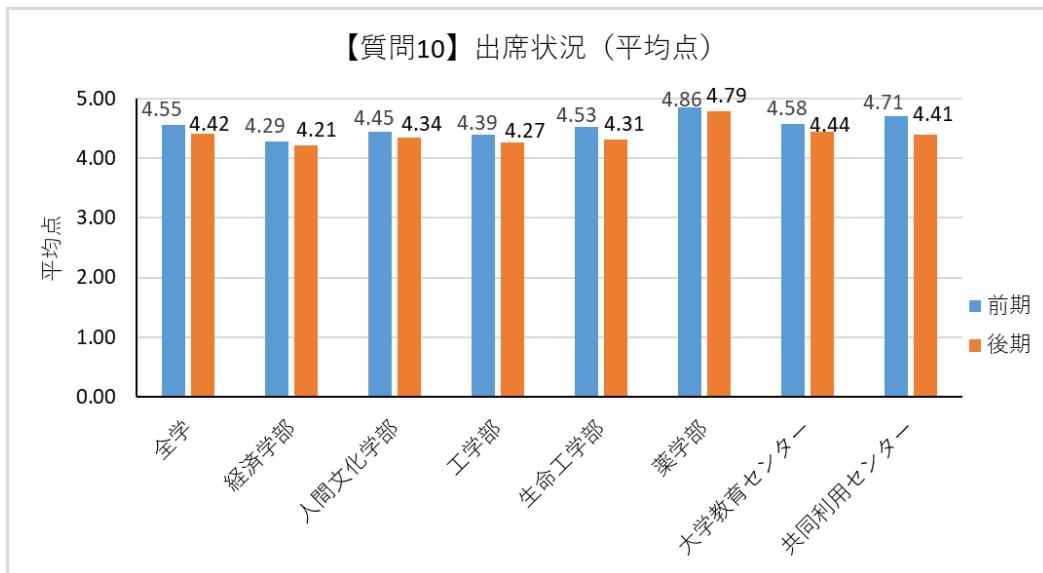
	回答	全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
【質問9】集中力 授業中に私語、居眠り、携帯電話の操作、あるいは別のことを考えることなどはありますか？	全くない	5	34.1%	29.2%	22.3%	29.8%	26.7%	49.1%	39.0%
	ほとんどない	4	37.9%	36.1%	38.9%	39.8%	41.6%	37.2%	34.7%
	どちらとも言えない	3	16.5%	21.5%	21.2%	16.9%	19.9%	8.8%	14.8%
	しばしばある	2	9.3%	10.6%	14.5%	10.7%	10.0%	4.3%	9.3%
	毎回ある	1	2.1%	2.7%	3.1%	2.8%	1.7%	0.7%	2.2%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

### ▼令和6年度学生による授業評価アンケート 後期【質問9】集中力 回答割合

	回答	全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
【質問9】集中力 授業中に私語、居眠り、携帯電話の操作、あるいは別のことを考えることなどはありますか？	全くない	5	33.2%	29.1%	28.5%	28.2%	24.9%	48.2%	36.1%
	ほとんどない	4	39.4%	37.7%	35.1%	38.8%	42.4%	40.8%	38.5%
	どちらとも言えない	3	17.4%	19.4%	23.0%	21.1%	21.3%	7.4%	17.0%
	しばしばある	2	8.0%	10.1%	11.1%	9.4%	9.7%	2.8%	6.8%
	毎回ある	1	2.0%	3.7%	2.3%	2.5%	1.7%	0.8%	1.6%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

### ③【質問 10】出席状況について

学生の「出席状況」については、すべての学部・センターにおいて前後期とも 4.2 以上であり、高い自己評価となっている。出席確認を厳密に行って授業回数の 1/5 以上欠席した学生については担当教員が担任に連絡するというシステムが有効に機能しているものと考えられた。2 トップ（回答の 5 と 4）の割合は、ほとんどの学部・センターにおいて 80%台～90%台であった。薬学部では 98%以上の数値が認められた。



#### ▼令和 6 年度学生による授業評価アンケート 前期【質問 10】出席状況 回答割合

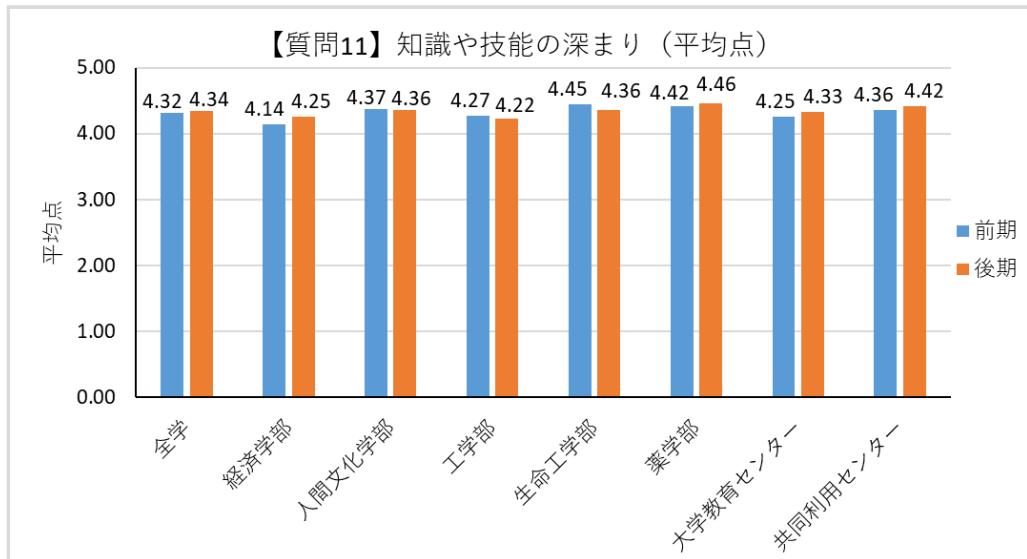
	回答	全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
【質問10】出席状況 授業には特別な 事情（公認欠 席、忌引きな ど）を除き、出 席していま すか？	全出席	5	66.4%	45.7%	59.1%	55.9%	64.4%	87.3%	69.3%
	ほぼ出席	4	25.4%	40.9%	30.0%	32.6%	26.1%	11.3%	22.7%
	ときどき欠席する	3	6.1%	10.0%	8.2%	7.5%	7.4%	1.1%	5.7%
	やや欠席が多い	2	1.7%	2.7%	2.0%	2.8%	1.9%	0.3%	1.6%
	欠席が大変多い	1	0.5%	0.6%	0.7%	1.2%	0.2%	0.0%	0.7%
	計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

#### ▼令和 6 年度学生による授業評価アンケート 後期【質問 10】出席状況 回答割合

	回答	全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
【質問10】出席状況 授業には特別な 事情（公認欠 席、忌引きな ど）を除き、出 席していま すか？	全出席	5	57.8%	44.7%	52.6%	50.4%	52.2%	81.3%	58.7%
	ほぼ出席	4	30.1%	38.9%	33.3%	33.2%	31.5%	16.5%	30.2%
	ときどき欠席する	3	8.8%	11.0%	10.6%	11.0%	12.1%	2.1%	8.6%
	やや欠席が多い	2	2.4%	3.8%	2.6%	3.8%	3.5%	0.1%	1.7%
	欠席が大変多い	1	0.9%	1.6%	0.9%	1.5%	0.7%	0.1%	0.8%
	計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

④ 【質問 11】知識や技能の深まりについて

学生の「知識や技能の深まり」については、ほとんどの学部・センターにおいて前後期ともおよそ 4.1 以上であり、高い自己評価となっている。2 トップ（回答の 5 と 4）の割合は、ほとんどの学部・センターにおいて 80% 以上であり、組織間で大きな相違は認められなかった。



▼令和 6 年度学生による授業評価アンケート 前期 【質問 11】 知識や技能の深まり 回答割合

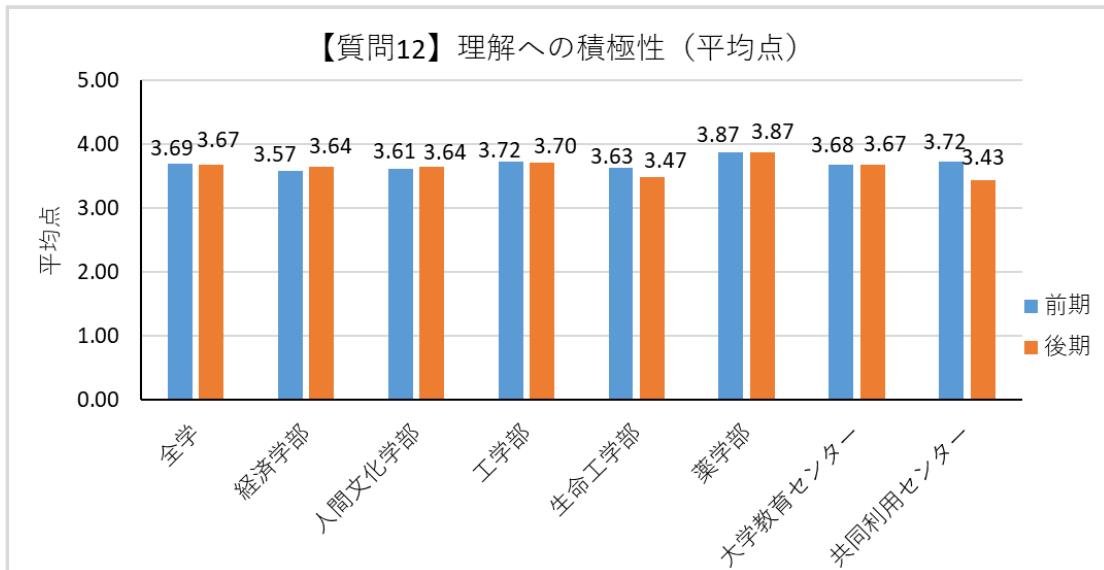
	回答	全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
【質問11】 知識の深まり この科目を受 講して、あ なたの知識や技 能は深まっ ていますか？	大いに深まっている	5	48.3%	39.0%	49.5%	45.5%	54.4%	53.4%	47.5%
	やや深まっている	4	39.6%	42.6%	40.5%	41.1%	38.1%	37.7%	36.8%
	どちらとも言えない	3	8.7%	13.3%	7.8%	9.6%	5.9%	6.6%	10.2%
	あまり深まっていない	2	2.5%	3.2%	1.8%	2.6%	1.2%	1.8%	4.2%
	全く深まっていない	1	0.9%	1.9%	0.4%	1.3%	0.4%	0.4%	1.2%
	計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

▼令和 6 年度学生による授業評価アンケート 後期 【質問 11】 知識や技能の深まり 回答割合

	回答	全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
【質問11】 知識の深まり この科目を受 講して、あ なたの知識や技 能は深まっ ていますか？	大いに深まっている	5	48.8%	44.5%	48.7%	41.8%	48.8%	55.0%	50.8%
	やや深まっている	4	39.8%	41.8%	41.2%	43.3%	40.6%	37.9%	35.1%
	どちらとも言えない	3	8.7%	9.6%	7.7%	11.0%	8.6%	5.4%	11.2%
	あまり深まっていない	2	2.0%	2.8%	1.7%	3.2%	1.7%	1.5%	2.0%
	全く深まっていない	1	0.7%	1.3%	0.6%	0.7%	0.3%	0.2%	0.9%
	計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

##### ⑤ 【質問 12】授業内容理解への積極性について

学生の「授業内容理解への積極性」については、ほとんどの学部・センターにおいて前後期ともおよそ 3 点台の自己評価となっており、改善の余地が認められた。2 トップ（回答の 5 と 4）の割合は、学部・センターにおいて 44.6%～60.3% と一定の幅のある結果となった。



##### ▼令和 6 年度学生による授業評価アンケート 前期【質問 12】理解への積極性 回答割合

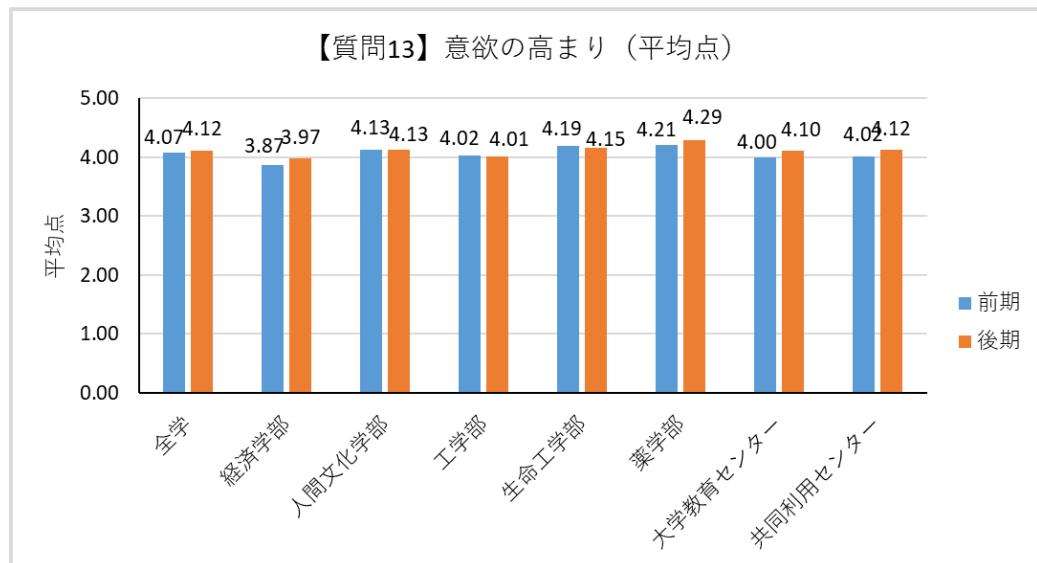
	回答	全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
【質問12】 授業内容理解への積極性 授業内容のわからない点や疑問に思う点について、教員や友人への質問、インターネットや書籍を利用した自己学習等によって積極的に解決しようとしていますか？	ほぼ全てしている	5	31.7%	27.9%	28.0%	31.3%	27.5%	37.4%	34.3%
	頻繁にしている	4	22.5%	22.5%	21.5%	25.0%	23.2%	22.9%	20.6%
	ときどきしている	3	33.3%	34.4%	37.3%	32.0%	37.3%	31.9%	29.4%
	ほとんどしていない	2	8.4%	9.3%	9.6%	8.0%	8.6%	5.3%	10.6%
	全くしていない	1	4.1%	5.9%	3.5%	3.7%	3.5%	2.5%	5.2%
	平均点		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

##### ▼令和 6 年度学生による授業評価アンケート 後期【質問 12】理解への積極性 回答割合

	回答	全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
【質問12】 授業内容理解への積極性 授業内容のわからない点や疑問に思う点について、教員や友人への質問、インターネットや書籍を利用した自己学習等によって積極的に解決しようとしていますか？	ほぼ全てしている	5	31.3%	32.2%	31.1%	28.4%	23.5%	38.0%	32.1%
	頻繁にしている	4	20.9%	20.1%	20.4%	27.0%	18.9%	20.2%	21.9%
	ときどきしている	3	35.4%	32.6%	34.9%	33.8%	43.8%	34.2%	32.7%
	ほとんどしていない	2	8.1%	9.6%	8.1%	8.0%	9.2%	5.9%	7.9%
	全くしていない	1	4.3%	5.4%	5.4%	2.9%	4.6%	1.7%	5.4%
	平均点		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

## ⑥ 【質問 13】意欲の高まりについて

学生の「意欲の高まり」については、ほとんどの学部・センターにおいて前後期ともおおよそ 4.0 前後の自己評価となっており、おおむね良好であった。2 トップ（回答の 5 と 4）の割合は、68.5%～85.5% とややバラツキが見られた。



## ▼令和 6 年度学生による授業評価アンケート 前期 【質問 13】意欲の高まり 回答割合

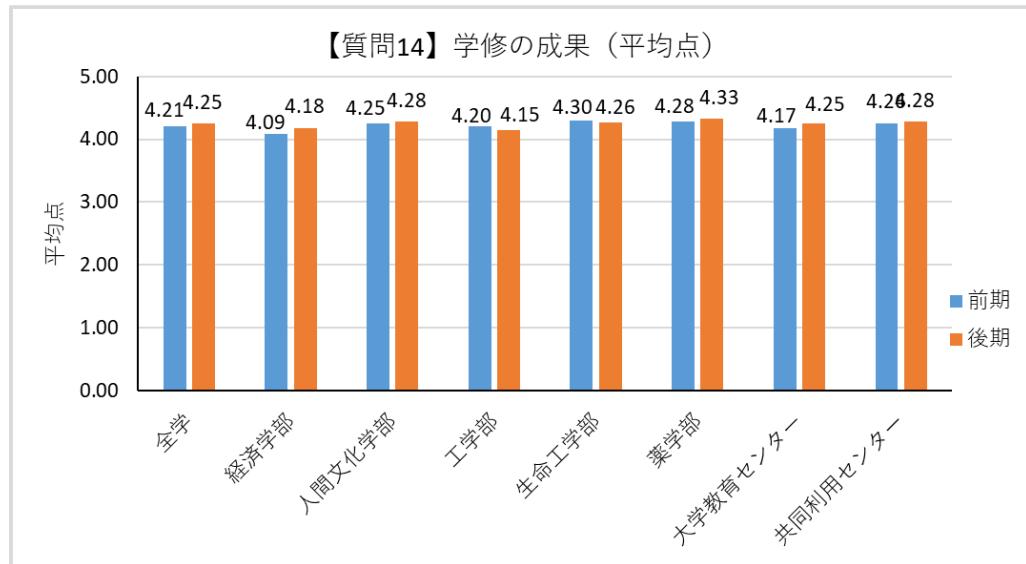
	回答	全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター	
【質問13】意欲の高まり この科目を受講して、講義内容を更に詳しく学びたいと思いま すか？	大いに思う	5	38.8%	31.0%	39.9%	35.0%	42.7%	44.5%	39.2%	34.6%
	やや思う	4	38.4%	37.5%	39.8%	41.8%	40.2%	37.7%	34.4%	41.2%
	どちらともいえない	3	15.9%	22.0%	15.0%	15.9%	12.1%	13.2%	16.5%	17.3%
	あまり思わない	2	5.0%	6.6%	4.2%	5.4%	3.5%	3.5%	7.2%	5.5%
	全く思わない	1	1.9%	2.9%	1.0%	1.9%	1.4%	1.1%	2.7%	1.5%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

## ▼令和 6 年度学生による授業評価アンケート 後期 【質問 13】意欲の高まり 回答割合

	回答	全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター	
【質問13】意 欲の高まり この科目を受講 して、講義内容 を更に詳しく学 びたいと思いま すか？	大いに思う	5	39.5%	33.6%	38.9%	35.2%	39.2%	47.9%	39.9%	38.7%
	やや思う	4	39.4%	39.5%	41.2%	40.2%	41.2%	37.6%	37.7%	43.2%
	どちらともいえない	3	15.8%	19.7%	14.8%	16.9%	16.0%	11.0%	16.7%	11.6%
	あまり思わない	2	3.8%	4.8%	4.1%	6.1%	3.0%	2.2%	4.1%	4.5%
	全く思わない	1	1.4%	2.4%	1.1%	1.5%	0.6%	1.2%	1.6%	1.9%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

## ⑦ 【質問 14】学修の成果について

学生の「学修の成果」については、すべての学部・センターにおいて前後期とも 4.0 以上であり、おおむね良好であった。2 トップ（回答の 5 と 4）の割合は、ほとんどの学部・センターにおいて 80% 台であり、組織間で大きな相違は認められなかった。



### ▼令和 6 年度学生による授業評価アンケート 前期【質問 14】学習の成果 回答割合

	回答	全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
【質問14】 学修の成果この科目であなたが得た成果を5段階で自己評価してください。	大いに思う	5	41.2%	36.2%	41.5%	39.4%	43.3%	43.8%	42.4%
	やや思う	4	43.9%	43.3%	44.6%	46.0%	46.2%	44.6%	39.4%
	どちらともいえない	3	11.0%	15.3%	11.6%	11.1%	8.1%	8.0%	12.5%
	あまり思わない	2	2.9%	3.1%	1.8%	2.2%	1.9%	3.2%	4.3%
	全く思わない	1	1.0%	2.1%	0.5%	1.3%	0.4%	0.3%	1.4%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

### ▼令和 6 年度学生による授業評価アンケート 後期【質問 14】学習の成果 回答割合

	回答	全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
【質問14】 学修の成果この科目であなたが得た成果を5段階で自己評価してください。	大いに思う	5	41.8%	38.7%	44.3%	36.7%	41.1%	45.5%	44.1%
	やや思う	4	44.3%	45.4%	42.1%	45.9%	46.1%	43.3%	41.2%
	どちらともいえない	3	11.3%	12.6%	11.7%	12.8%	11.3%	9.5%	11.2%
	あまり思わない	2	2.0%	2.3%	1.6%	4.1%	1.0%	1.4%	2.5%
	全く思わない	1	0.6%	1.1%	0.4%	0.4%	0.5%	0.2%	1.0%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

#### 4. 全学、学部・センターの全体総括

全学、学部・センターレベルでの授業評価アンケート結果（前後期平均）を整理すると以下のようになる。

##### (1) 学生による授業評価結果（質問 1～質問 7、5 点満点）

	全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
【質問1】授業準備	4.70	4.70	4.70	4.65	4.71	4.74	4.71	4.73
【質問2】話し方	4.53	4.43	4.58	4.47	4.59	4.57	4.52	4.53
【質問3】計画性	4.69	4.64	4.66	4.64	4.70	4.78	4.67	4.61
【質問4】授業時間	4.71	4.63	4.67	4.67	4.71	4.79	4.73	4.70
【質問5】授業の工夫	4.54	4.48	4.60	4.41	4.59	4.57	4.56	4.54
【質問6】質問への誠意	4.59	4.51	4.63	4.50	4.62	4.66	4.63	4.59
【質問7】授業への満足度	4.43	4.35	4.48	4.32	4.50	4.46	4.42	4.53

- すべての質問項目で 4.3 以上あり、学生の評価は全体的に高いと考えられる。
- 学部・センター間での大きな相違は認められない。

以上の結果は、学生の授業に対する評価が、昨年度に引き続き全体として高い状態を維持していることを示している。今後も、自己点検・評価を繰り返しながら、さらなる向上を目指して授業に取り組んでいきたい。

##### (2) 学生の自己点検（質問 8～14、5 点満点）

	全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
【質問8】関連学習	2.12	1.98	2.01	2.32	2.12	2.39	1.94	1.87
【質問9】集中力	3.93	3.78	3.70	3.82	3.80	4.31	4.00	3.77
【質問10】出席状況	4.48	4.25	4.40	4.33	4.42	4.82	4.51	4.50
【質問11】知識や技能の深まり	4.33	4.20	4.36	4.25	4.40	4.44	4.29	4.37
【質問12】授業内容理解への積極性	3.68	3.61	3.62	3.71	3.55	3.87	3.68	3.72
【質問13】意欲の高まり	4.10	3.92	4.13	4.02	4.17	4.25	4.05	4.00
【質問14】学修の成果	4.13	4.13	4.27	4.17	4.28	4.31	4.21	4.11

- 全学レベルにおいても学部・センターレベルにおいても、質問 8 の「関連学習」については平均点のほとんどが2 点台、「授業内容理解への積極性」が 3 点台となっており、改善の必要がある。
- 他の質問項目については、ほとんどが4 点台であり、おおむね良好と考えられる。
- 学部・センター間での大きな相違は認められない。

学生の自己点検結果は、全体的には昨年度に引き続きおおむね良好であると判断できる。しかし、質問 8 の「関連学習」に関しては、昨年度よりも点数が低下しており、改善すべき事項と言える。

また質問 10 と 12 の結果は、授業には真面目に出席するものの、授業内容理解への積極性は必ずしも

十分ではないことを示している。学生は自己学習、教員や友人に質問をして授業の疑問を解決しているが、教員への質問をしやすくするためには、ハード面（ICT を用いた質問方法の工夫など）やソフト面（学生と教員の距離感を近づけるコミュニケーションの工夫など）を改善し、より質問をしやすい環境づくりが必要かもしれない。

各学科・センターごとの詳細な分析と総括は、「5. 学科の授業評価アンケート結果（p.26～29）」および「6. 学科、センターの個別総括（p.30～69）」を参照していただきたい。今後も、学科・センターレベルでの授業改善を通して、全学的な授業の向上を目指していきたい。

## 5. 学科の授業評価アンケート結果

### (1) 学科の集計結果一覧

各学科の前期の集計結果を表 5-(1)-1、表 5-(1)-2 に、後期の集計結果を表 5-(1)-3、表 5-(1)-4 に示す。なお、全学の各種値は、各センターと RI 室を含めた値のため、本表の全学科の合計値とは一致していない。

表 5-(1)-1

講義番号	係数	経済学科	国際経済学科	税務会計学科	人間文化学科	心理学科	メディア映像学科	電気電子工学科	建築学科	情報工学科	機械システム工学科	生物学科	健康栄養学科	海洋生物学科	薬学科
学部															
学科															
曜日															
主担当教員															
実施教員															
科目名															
受講者数	1,678	476	487	398	884	595	320	590	604	111	248	263	1,295	3,995	
回答者数	846	170	191	177	430	452	217	417	373	82	203	109	817	1,902	
回答率	50.4%	35.7%	39.2%	44.5%	48.6%	76.0%	67.8%	70.7%	61.8%	73.9%	81.9%	41.4%	63.1%	47.6%	
【質問1】授業準備															
授業の準備は適切になされていると思いますか？															
適切である	5	557	134	138	129	358	333	151	324	266	62	152	90	621	1,469
ほぼ適切である	4	203	32	35	40	57	91	55	78	79	13	41	13	164	344
どちらとも言えない	3	56	4	12	8	14	23	10	10	18	6	10	6	28	69
やや不適切である	2	18	0	1	0	1	3	1	4	6	0	0	0	4	14
不適切である	1	12	0	5	0	0	2	0	1	4	1	0	0	0	6
平均点		4.51	4.76	4.57	4.68	4.80	4.66	4.64	4.73	4.60	4.65	4.70	4.77	4.72	4.71
【質問2】教員の話し方															
教員の話は聞き取りやすいですか？／(音声のない遠隔授業の場合では)資料は読みやすいですか？															
聞き取りやすい(読みやすい)	5	491	130	123	135	315	304	136	270	247	53	137	84	575	1,260
ほぼ聞き取りやすい(ほぼ読みやすい)	4	223	28	39	37	78	108	61	116	88	15	54	11	186	461
どちらとも言えない	3	63	8	15	3	21	28	13	25	21	7	6	2	40	106
やや聞き取りにくい(やや読みにくい)	2	38	4	8	1	14	10	6	5	10	5	6	5	11	61
聞き取りにくい(読みにくい)	1	31	0	6	1	2	2	1	1	7	2	0	7	5	14
平均点		4.31	4.67	4.39	4.72	4.60	4.55	4.50	4.56	4.50	4.37	4.59	4.47	4.61	4.52
【質問3】授業の計画性															
授業はシラバス通りに行われていますか？															
行われている	5	573	135	126	132	296	311	153	290	245	62	133	79	576	1,361
ほぼ行われている	4	177	24	39	22	86	87	46	90	64	8	42	15	174	308
どちらとも言えない	3	61	8	12	7	11	24	12	14	16	4	8	1	30	39
やや異なっている	2	8	1	2	0	9	6	1	3	4	1	2	0	5	3
全く異なるている	1	3	0	1	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	1
シラバスを説いていない	-	24	2	11	16	28	23	5	20	42	7	18	14	32	190
平均点		4.59	4.74	4.59	4.78	4.66	4.63	4.66	4.68	4.65	4.75	4.65	4.82	4.68	4.77
【質問4】授業時間															
授業を遅く始めたり、早く終わったりしないで、授業時間を守っていますか？															
守っている	5	593	138	126	138	350	313	169	308	263	65	162	93	622	1,545
ほぼ守っている	4	175	26	41	27	67	107	40	93	88	14	27	16	155	295
どちらとも言えない	3	51	5	17	7	11	23	8	15	15	2	12	0	34	44
やや守っていない	2	15	0	2	5	1	8	0	1	6	1	1	0	5	12
守っていない	1	9	1	5	0	1	0	0	0	1	0	1	0	1	6
この授業は遠隔授業なのでわからない	-	3	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
平均点		4.58	4.76	4.47	4.68	4.78	4.61	4.74	4.70	4.62	4.74	4.71	4.85	4.70	4.77
【質問5】講義の工夫															
教員は、授業内容を理解しやすくするよう工夫していると思いますか？															
思う	5	501	124	123	130	322	303	134	266	213	49	134	79	594	1,255
やや思う	4	228	30	37	38	82	113	60	116	99	22	52	16	160	463
どちらとも言えない	3	71	11	20	6	20	26	20	24	35	6	13	8	44	116
あまり思わない	2	27	5	6	3	6	6	3	9	17	2	2	5	15	46
思わない	1	19	0	5	0	0	4	0	2	9	3	2	1	4	22
平均点		4.38	4.61	4.40	4.67	4.67	4.56	4.50	4.52	4.31	4.37	4.55	4.53	4.62	4.52
【質問6】質問への誠意															
教員は、あなたの質問に誠意をもって答えていますか？															
誠意をもって答える	5	440	106	90	111	276	279	131	213	190	44	127	61	460	874
ほぼ誠意をもって答える	4	137	26	26	34	50	67	41	76	64	13	31	7	139	259
どちらとも言えない	3	76	12	13	8	19	37	13	31	20	5	9	6	51	81
やや誠意を感じられない	2	10	1	4	1	1	1	1	1	11	0	0	0	2	6
誠意が感じられない	1	12	0	4	0	3	1	0	1	4	1	0	0	0	7
質問したことがない	-	171	25	54	23	81	67	31	95	84	19	36	35	165	675
平均点		4.46	4.63	4.42	4.66	4.70	4.62	4.62	4.55	4.47	4.57	4.71	4.74	4.62	4.62
【質問7】授業への満足度															
この授業に対する総合的なあなたの満足度を5段階で示してください															
満足	5	434	100	113	111	273	266	116	250	179	37	114	71	522	1,082
ほぼ満足	4	252	50	41	49	125	143	71	129	118	30	62	25	227	587
どちらとも言えない	3	109	18	28	13	24	34	21	32	53	11	21	7	54	169
やや不満	2	30	1	3	4	8	6	6	5	13	2	5	2	9	51
不満	1	21	1	6	0	0	3	3	1	10	2	1	4	5	13
平均点		4.24	4.45	4.32	4.51	4.54	4.47	4.34	4.49	4.19	4.20	4.39	4.44	4.53	4.41
【質問1】～【質問7】の平均		4.56	4.44	4.66	4.45	4.67	4.68	4.59	4.57	4.60	4.48	4.52	4.61	4.66	4.64

表 5-(1)-2

講義番号	学部	学科	曜日	主担当教員	実施教員	科目名	係数	経済学科	国際経済学科	税務会計学科	人間文化学科	心理学科	メディア・映像学科	電気電子工学科	建築学科	情報工学科	機械システム工学科	生物科学科	健康栄養科学科	海洋生物科学科	薬学科
受講者数							1,678	476	487	398	884	595	320	590	604	111	248	263	1,295	3,995	
回答者数							846	170	191	177	430	452	217	417	373	82	203	109	817	1,902	
回答率							50.4%	35.7%	39.2%	44.5%	48.6%	76.0%	67.8%	70.7%	61.8%	73.9%	81.9%	41.4%	63.1%	47.6%	
【質問8】関連学習		3時間以上	5	36	12	13	10	15	29	19	42	28	3	10	1	13	1	13	151		
		2~3時間未満	4	45	9	5	6	22	29	14	14	43	4	10	6	44	1	6	44	171	
この授業に関して、1回の授業あたり平均してどのくらい予習・復習、あるいは関連の学習をしましたか？		1~2時間未満	3	111	29	35	26	85	76	58	69	98	14	51	14	211	14	211	454		
		30分~1時間未満	2	279	51	72	53	123	140	69	109	119	21	71	30	321	21	30	663		
		30分未満	1	375	69	66	82	185	178	57	183	85	40	61	58	228	22	58	463		
		平均点		1.92	2.08	2.09	1.92	1.97	2.10	2.40	2.10	2.49	1.89	2.20	1.73	2.13	2.13	1.73	2.41		
【質問9】集中力		全くない	5	243	53	56	40	94	102	59	105	140	21	68	41	193	41	193	933		
		ほとんどない	4	299	64	73	72	154	186	77	167	150	39	83	34	353	34	353	707		
授業中に私語、居眠り、携帯電話の操作、あるいは別のことを考えることなどはありますか？		どちらとも言えない	3	186	36	37	35	106	83	52	71	46	15	24	21	180	21	180	167		
		しばしばある	2	96	14	18	26	64	64	29	58	25	5	22	13	78	13	78	81		
		毎回ある	1	22	3	7	4	12	17	0	16	12	2	6	0	13	13	13	14		
		平均点		3.76	3.88	3.80	3.67	3.59	3.65	3.76	3.69	4.02	3.88	3.91	3.94	3.78	3.78	4.30			
【質問10】出席状況		全出席	5	358	84	110	97	271	258	103	242	209	55	161	81	485	81	485	1,661		
		ほぼ出席	4	369	62	63	56	120	142	92	118	124	21	28	23	244	21	244	215		
授業には特別な事情(公認欠席、忌引きなど)を除き、出席していますか？		ときどき欠席する	3	87	20	14	18	27	42	16	32	30	4	13	4	66	4	66	21		
		やや欠席が多い	2	27	4	2	3	9	9	5	14	10	1	1	0	21	1	21	5		
		欠席が大も多い	1	5	0	2	3	3	1	1	11	0	1	0	1	1	0	1	0		
		平均点		4.24	4.33	4.45	4.36	4.50	4.43	4.34	4.36	4.43	4.56	4.72	4.68	4.46	4.86	4.46	4.86		
【質問11】知識や技能の深まり		大いに深まっている	5	325	74	72	91	214	219	90	217	163	25	109	46	459	46	459	1,015		
		やや深まっている	4	356	73	85	69	179	181	103	151	152	42	74	49	307	49	307	718		
この授業を受講して、あなたの知識や技能は深まっていますか？		どちらとも言えない	3	118	18	24	10	30	43	19	40	34	11	13	11	43	11	43	126		
		あまり深まっていない	2	29	5	5	6	4	9	3	7	16	2	7	2	5	3	5	35		
		全く深まっていない	1	18	0	5	1	3	0	2	2	8	2	0	1	3	1	3	8		
		平均点		4.11	4.27	4.12	4.37	4.39	4.35	4.27	4.38	4.20	4.05	4.40	4.26	4.49	4.42	4.49	4.42		
【質問12】授業内容理解への積極性		ほぼ全てしている	5	234	53	50	54	106	137	63	134	130	14	73	26	211	26	211	712		
		頻繁にしている	4	183	39	50	32	73	123	52	95	101	24	47	19	196	43	196	435		
授業内容のわからない点や疑問に思う点について、教員や友人への質問、インターネットや書籍を利用した自己学習等によつて積極的に解決しようとしていますか？		ときどきしている	3	284	59	72	64	180	151	82	129	110	28	62	42	317	28	317	606		
		ほとんどしていない	2	86	14	12	21	55	26	15	40	23	9	13	17	67	17	67	101		
		全くしていない	1	59	5	7	6	16	15	5	19	9	7	8	5	26	5	26	48		
		平均点		3.53	3.71	3.65	3.60	3.46	3.75	3.71	3.68	3.86	3.35	3.81	3.40	3.61	3.87	3.61	3.87		
【質問13】意欲の高まり		大いに思う	5	247	62	65	81	159	183	62	161	139	19	87	30	365	30	365	846		
		やや思う	4	312	71	70	65	184	172	102	173	138	42	75	46	333	46	333	717		
この授業を受講して、授業内容を更に詳しく学びたいと思いますか？		どちらとも言えない	3	196	29	40	22	61	76	44	59	59	11	26	20	91	25	91	252		
		あまり思わない	2	65	6	9	7	20	18	7	19	28	5	10	11	19	11	19	66		
		全く思わない	1	26	2	7	2	6	3	2	5	9	5	5	2	9	5	2	9	21	
		平均点		3.81	4.09	3.93	4.22	4.09	4.14	3.99	4.12	3.99	3.79	4.13	3.83	4.26	4.21	3.83	4.21		
【質問14】学修の成果		十分に成果はあがっている	5	303	70	64	84	171	185	74	178	153	24	94	26	369	26	369	834		
		少し成果はあがっている	4	356	78	89	72	191	209	111	194	153	43	89	61	372	43	372	848		
この授業であなたが得た成果を5段階で自己評価してください。		どちらとも言えない	3	136	19	30	16	63	44	26	39	46	10	14	14	63	14	63	153		
		あまり成果はあがっていない	2	32	3	2	5	3	11	3	5	15	1	6	7	9	6	7	9	61	
		全く成果はあがっていない	1	19	0	6	0	2	3	3	1	6	4	0	1	4	0	1	4	6	
		平均点		4.05	4.26	4.06	4.33	4.22	4.24	4.15	4.30	4.16	4.00	4.33	3.95	4.34	4.28	3.95	4.28		
【質問8】～【質問14】の平均				4.58	3.63	3.80	3.73	3.78	3.75	3.81	3.80	3.80	3.88	3.65	3.93	3.69	3.87	3.69	3.87		

表 5-(1)-3

講義番号	経済学 科	国際 経済 学 科	税 務 会 計 学 科	人 間 文 化 学 科	心理 学 科	メ デ イ ア ・ 映 像 学 科	電 気 電 子 工 学 科	建 築 学 科	情 報 工 学 科	機 械 シ ス テ ム 工 学 科	生 物 科 学 科	健 康 栄 養 科 学 科	海 洋 生 物 科 学 科	薬 学 科
学部														
学科														
曜限														
主担当教員														
実施教員														
科目名														
受講者数	2,020	664	463	494	670	541	135	517	413	127	217	268	1,494	3,265
回答者数	980	267	150	231	297	285	93	343	183	97	180	166	914	1,412
回答率	48.5%	40.2%	32.4%	46.8%	44.3%	52.7%	68.9%	66.3%	44.3%	76.4%	82.9%	61.9%	61.2%	43.2%
【質問1】授業準備	適切である	5	745	195	119	160	236	194	63	242	122	77	140	139
	ほぼ適切である	4	196	55	30	60	58	73	22	87	44	15	26	19
	どちらとも言えない	3	33	10	0	9	2	13	7	14	14	2	10	7
	やや不適切である	2	4	3	0	2	1	5	1	0	2	2	2	1
	不適切である	1	2	4	1	0	0	0	0	0	1	1	2	0
	平均点		4.71	4.63	4.77	4.64	4.78	4.60	4.58	4.66	4.55	4.70	4.67	4.78
【質問2】教員の話し方	聞き取りやすい(読みやすい)	5	633	181	111	162	212	170	54	192	104	69	113	122
	ほぼ聞き取りやすい(ほぼ読みやすい)	4	243	62	30	50	63	95	30	112	52	18	45	33
	どちらとも言えない	3	47	7	5	18	9	15	8	28	20	3	14	7
	やや聞き取りにくい(やや読みにくい)	2	44	6	3	1	9	4	1	11	5	5	8	3
	聞き取りにくい(読みにくい)	1	13	11	1	0	4	1	0	0	2	2	0	1
	平均点		4.47	4.48	4.65	4.61	4.58	4.51	4.47	4.41	4.37	4.52	4.46	4.64
【質問3】授業の計画性	行われている	5	709	182	114	150	227	173	63	224	117	73	121	119
	ほぼ行われている	4	173	54	21	54	55	80	20	85	41	10	31	29
	どちらとも言えない	3	43	15	3	15	3	13	4	16	11	6	8	0
	やや異なっている	2	10	2	1	1	1	4	1	2	2	1	3	2
	全く異なる	1	5	1	0	0	0	0	2	1	0	0	0	1
	シラバスを読んでいない	-	40	13	11	11	11	15	3	15	12	7	17	15
	平均点		4.67	4.63	4.78	4.60	4.78	4.56	4.57	4.61	4.60	4.72	4.66	4.75
【質問4】授業時間	守っている	5	748	189	118	163	234	194	61	248	124	88	128	141
	ほぼ守っている	4	185	57	22	43	54	63	25	80	36	8	35	23
	どちらとも言えない	3	33	16	5	11	8	21	6	14	19	0	11	2
	やや守っていない	2	7	3	3	4	1	6	1	1	3	1	5	0
	守っていない	1	5	1	2	3	0	1	0	0	1	0	0	0
	この授業は遠隔授業なのでわからない	-	2	1	0	7	0	0	0	0	0	0	1	0
	平均点		4.70	4.62	4.67	4.60	4.75	4.55	4.57	4.68	4.52	4.89	4.60	4.84
【質問5】講義の工夫	思う	5	653	178	116	160	227	172	54	197	105	62	118	121
	やや思う	4	231	59	27	54	60	75	29	100	54	16	40	34
	どちらとも言えない	3	69	19	5	14	5	29	8	33	17	13	14	8
	あまり思わない	2	21	7	1	2	5	8	2	12	3	3	5	2
	思わない	1	6	4	1	1	0	1	0	1	4	3	3	1
	平均点		4.53	4.50	4.71	4.60	4.71	4.44	4.45	4.40	4.38	4.35	4.47	4.64
【質問6】質問への誠意	誠意をもって答える	5	496	144	91	138	199	144	59	180	95	59	113	93
	ほぼ誠意をもって答える	4	158	47	18	36	39	55	16	88	37	9	25	22
	どちらとも言えない	3	67	20	8	15	8	33	5	38	20	3	13	6
	やや誠意を感じられない	2	8	2	1	1	0	2	2	3	1	2	1	0
	誠意が感じられない	1	5	3	0	0	1	2	1	2	3	2	3	0
	質問したことがない	-	246	51	32	41	50	49	10	32	27	22	25	45
	平均点		4.54	4.51	4.69	4.64	4.76	4.43	4.57	4.42	4.41	4.61	4.57	4.72
【質問7】授業への満足度	満足	5	559	158	96	127	196	156	47	175	94	55	102	102
	ほぼ満足	4	298	75	41	86	81	87	32	112	54	28	58	52
	どちらとも言えない	3	99	25	12	15	15	33	13	44	23	9	16	9
	やや不満	2	16	5	0	1	5	7	1	11	6	2	2	4
	不満	1	8	4	1	2	0	2	0	1	6	3	2	1
	平均点		4.41	4.42	4.54	4.45	4.58	4.36	4.34	4.31	4.22	4.34	4.42	4.52
【質問1】～【質問7】の平均			4.51	4.58	4.54	4.69	4.59	4.71	4.49	4.51	4.50	4.44	4.59	4.55

表 5-(1)-4

講義番号	係数	経済学科	国際経済学科	税務会計学科	人間文化学科	心理学科	メディア・映像学科	電気電子工学科	建築学科	情報工学科	機械システム工学科	生物科学科	健康栄養科学科	海洋生物科学科	薬学科	
学部																
学科																
曜限																
主担当教員																
実施教員																
科目名																
受講者数		2,020	664	463	494	670	541	135	517	413	127	217	268	1,494	3,265	
回答者数		980	267	150	231	297	285	93	343	183	97	180	166	914	1,412	
回答率		48.5%	40.2%	32.4%	46.8%	44.3%	52.7%	68.9%	66.3%	44.3%	76.4%	82.9%	61.9%	61.2%	43.2%	
【質問8】関連学習	3時間以上	5	62	16	7	5	8	24	4	47	10	8	15	3	28	108
	2~3時間未満	4	34	27	6	8	14	25	6	28	15	5	11	4	51	107
この授業に関して、1回の授業あたり平均してどのくらい予習・復習、あるいは関連の学習をしましたか？	1~2時間未満	3	143	40	34	37	53	53	17	61	62	19	41	26	218	351
	30分~1時間未満	2	284	85	42	83	82	71	43	82	66	33	64	38	364	476
	30分未満	1	457	99	61	98	140	112	23	125	30	32	49	95	253	370
	平均点		1.94	2.16	2.04	1.87	1.88	2.22	2.19	2.39	2.50	2.22	2.33	1.69	2.17	2.37
【質問9】集中力	全くない	5	277	84	45	62	79	91	14	97	77	14	66	52	196	680
	ほとんどない	4	371	98	58	85	99	101	43	124	62	49	69	56	409	576
授業中に私語、居眠り、携帯電話の操作、あるいは別のことを考えることなどはありますか？	どちらとも言えない	3	197	50	24	56	71	60	25	69	36	21	24	37	208	104
	しばしばある	2	102	25	14	21	41	28	10	41	7	9	16	20	86	40
	毎回ある	1	33	10	9	7	7	5	1	12	1	4	5	1	15	12
	平均点		3.77	3.83	3.77	3.75	3.68	3.86	3.63	3.74	4.13	3.62	3.97	3.83	3.75	4.33
【質問10】出席状況	全出席	5	433	101	91	112	169	147	24	183	110	44	121	93	444	1,148
	ほぼ出席	4	389	116	39	77	93	101	46	101	57	34	42	45	310	233
授業には特別な事情(公認欠席、忌引きなど)を除き、出席していますか？	ときどき欠席する	3	109	33	11	34	24	28	17	38	12	12	12	24	116	29
	やや欠席が多い	2	39	11	3	4	9	8	5	17	2	3	3	3	38	1
	欠席が大も多い	1	10	6	6	4	2	1	1	4	2	4	2	1	6	1
	平均点		4.22	4.10	4.37	4.25	4.41	4.35	3.94	4.29	4.48	4.14	4.54	4.36	4.26	4.79
【質問11】知識や技能の深まり	大いに深まっている	5	424	119	79	119	145	132	26	154	80	39	106	71	438	777
	やや深まっている	4	413	110	61	90	134	111	56	135	77	42	54	70	388	535
この授業を受講して、あなたの知識や技能は深まっていますか？	どちらとも言えない	3	98	28	8	15	15	33	9	42	20	8	11	23	74	76
	あまり深まっていない	2	34	4	1	4	2	8	2	10	5	6	8	2	11	21
	全く深まっていない	1	11	6	1	3	1	1	0	2	1	2	1	0	3	3
	平均点		4.23	4.24	4.44	4.38	4.41	4.28	4.14	4.25	4.26	4.13	4.42	4.27	4.36	4.46
【質問12】授業内容理解への積極性	ほぼ全てしている	5	299	95	56	69	87	97	12	100	65	26	58	36	202	536
	頻繁にしている	4	202	50	29	54	49	63	37	90	49	17	46	19	173	285
授業内容のわからぬ点や疑問に思う点について、教員や友人への質問、インターネットや書籍を利用した自己学習等によつて積極的に解決しようとしていますか？	ときどきしている	3	310	90	56	77	114	93	30	114	57	41	51	72	429	483
	ほとんどしていない	2	107	21	6	21	23	22	12	27	10	8	21	21	74	84
	全くしていない	1	62	11	3	10	24	10	2	12	2	5	4	18	36	24
	平均点		3.58	3.74	3.86	3.65	3.51	3.75	3.48	3.70	3.90	3.53	3.74	3.20	3.47	3.87
【質問13】意欲の高まり	大いに思う	5	308	94	68	85	120	111	18	136	70	28	90	56	348	677
	やや思う	4	396	96	60	99	125	111	55	111	78	44	54	71	394	531
この授業を受講して、授業内容を更に詳しく学びたいと思いますか？	どちらとも言えない	3	199	60	16	34	38	48	13	66	28	14	25	32	144	156
	あまり思わない	2	51	11	5	9	11	13	7	23	7	7	7	7	24	31
	全く思わない	1	26	6	1	4	3	2	0	7	0	4	4	0	4	17
	平均点		3.93	3.98	4.26	4.09	4.17	4.11	3.90	4.01	4.15	3.88	4.22	4.06	4.16	4.29
【質問14】学修の成果	十分に成果はあがっている	5	374	100	66	103	127	130	15	141	75	32	83	58	377	643
	少し成果はあがっている	4	446	123	65	103	128	111	58	149	73	49	71	78	432	612
この授業であなたが得た成果を5段階で自己評価してください。	どちらとも言えない	3	124	37	15	19	37	39	17	44	22	9	19	30	93	134
	あまり成果はあがっていない	2	28	2	2	4	4	5	3	9	12	5	5	0	8	20
	全く成果はあがっていない	1	8	5	2	2	1	0	0	0	1	2	2	0	4	3
	平均点		4.17	4.16	4.27	4.30	4.27	4.28	3.91	4.23	4.14	4.07	4.27	4.17	4.28	4.33
【質問8】～【質問14】の平均			3.72	3.69	3.75	3.86	3.76	3.76	3.84	3.60	3.80	3.94	3.66	3.93	3.65	3.78

## 6. 学科、センターの個別総括

令和4年度の授業評価アンケートについて、学科長・センター長が総括し、報告書を作成した。今後、この自己点検・評価を基に、さらなる授業改善が期待される。

### ① 経済学部経済学科

令和7年3月1日

大学教育センター

鶴田 泰人 センター長 殿

経済学部 経済学科

学科長 佐藤 彰三

令和6年度「学生による授業評価アンケート」の集計結果を踏まえ、本学科の授業とその成果について点検したので報告いたします。

#### 【1】 実施期間 前期：令和6年6月24日（月）～7月12日（金）

後期：令和6年12月9日（月）～令和7年1月17日（金）

#### 【2】 対象科目の選定

全ての授業科目（受講者6名未満の授業を除く）についてアンケートを実施する方針に従い、経済学科では担当科目の内受講者数の多い科目を中心として、前期17科目、後期23科目について調査を行った。

#### 【3】 アンケート調査内容

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する7項目、学生自身の学習点検に関する7項目、合計14項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの5つの選択肢より選択することとした。

#### 【4】 調査結果の集計

アンケート調査および集計はCerezoを利用して行った。

#### 【5】 調査結果に対する点検

##### ◇ 「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：質問1～7について、7項目全てが全学平均を下回り（全学との乖離：0.11～0.05）、1～7の平均で0.08下回った。しかしながら、すべての項目が4段階以上の評価となっており、「授業準備」「授業の計画性」「授業時間」「質問への誠意」の4項目は4段階後半の高い評価であり、1～7の平均も4.5となっている。

後期においては、1項目が全学と同点（4.71）、6項目が全学平均を下回り（全学との乖離：0.07～0.01）、1～7の平均で0.04下回った。しかしながら、すべての項目が4段階以上の評価となっており、「授業準備」「授業の計画性」「授業時間」「講義の工夫」「質問への誠意」の5項目は4段階後半の高いとなっている。

分析結果を踏まえた改善方策：経済学科の教員の授業評価結果は4段階以上の評価を受けているが、「授業への満足度（評価：前期4.34⇒4.32、後期4.37⇒4.41）」は、前期後期ともに昨年度同様に4段階の前半の評価となっている。「教員の話し方（評価：前期4.42、後期4.47）」の前期後期、「講義の工夫（評価：前期4.45、後期4.53）」前期の4段階前半の評価項目についての改善が「授業への満足度」の改善につながるものと考える。

##### ◇ 「学生の自己点検」について

点検結果の分析：前期、後期ともに質問7～14について、すべての項目で全学平均を下まわって（全学との乖離：0.07～0.31）いる。特に「出席状況（前期0.31、後期0.19）」が全学平均との乖離が大きい。また、自己評価が低い項目は「関連学習（評価：前期1.94、後期1.95）」、「集中力（評価：前期3.77、後期3.77）」、「授業内容理解への積極性（評価：前期3.58、後期3.57）」、「意欲の高まり（評価：前期3.93、後期3.87）」である。

「関連学習」については、1時間未満の層は前期76.6%、後期75.6%となり、約3/4の学生が「関連学習」にそれほど時間を掛けていない状況にある。

分析結果を踏まえた改善方策：「集中力」「授業内容理解への積極性」「意欲の高まり」等の自己評価向上のためには、準備や復習など「関連学習」を充実する必要がある。教員においては、アクティブラーニングの導入や講義資料等、授業における工夫が求められている。また、授業時の「声が聞き取りにくい」「板書やスライドが見えにくい」等の自由記述もあり、担当者が注意するとともに教室の視聴覚機器などの環境整備も必要である。

学生指導の面からは、多くの学生がアルバイトを行っていることから、アルバイトの時間が過多にならないよう引き続き指導して、「関連学習」に時間とエネルギーを振り向けるよう指導することが必要である。また、学生の受講マナー等に関する不満もあり、残念ながらこうした指導も必要と思われる。

## 【6】教員へのフィードバックについて

アンケート集計結果は、学科教員（専任・非常勤を含め）全員に対して全ての集計結果をフィードバックしており、今回の「点検報告書」について、学科内で共有している。

## 【7】学生へのフィードバックについて

学生に対するフィードバックは講義中または最終回、定期試験実施時、あるいはCerezoを通じて当該授業科目担当教員が行った。丁寧な学生へのフィードバックの事例として、授業において結果概要を伝え、改善策を示し受講生の協力も求めたとの報告もあった。

個別の詳細は、提出された報告書に記載している通りである。なお、結果が授業終了後に届いたため、フィードバックができなかつた事例があった。

## 【8】学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書（添付）より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

### ＜意見・提案＞

#### （1）高く評価されたことについて

- ・入門科目とかぶっている範囲は、復習が大半なのでペースアップし、かぶっていない範囲に比重を置いた。
- ・再履修の学生のフォローに力を入れた。ノートはきれいにとっているが伸び悩んでいる学生は勉強方法について助言した。
- ・ディスカッションに Microsoft Whiteboardを使用し、全学生がオンライン上で瞬時にさまざまな意見の確認や自分の意見への評価を確認することができるようにした。
- ・授業資料はMicrosoft OneNoteを使用し、教員の資料だけでなく、さまざまなグループが作成した資料も確認できるようにした。
- ・複数教員によるオムニバス式を採用し、個々の教員が専門性に即した内容をわかりやすく伝えようと工夫した。
- ・学修支援やオフィスアワー、SAセッションを活用していた学生の多くが試験において結果を出し、高い評価につながった。
- ・話し方について、PC操作中の説明は聞き逃しやすいため、できるだけ操作と説明を分けるように進めたのは良かったと思う。

- ・教職科目であるが、学校現場の内容と時事問題等を取り上げることで、教員免許を取得しない学生においても理解が深まったと推察している。
- ・授業前学習として授業動画の閲覧と練習問題の解答、授業時間内学習として演習問題の解答とその解説の聴講、授業後学習として課題の提出を毎授業にて学生に課し、多くの学生が熱心に取り組んでくれた。

### （2）今後の授業改善の計画について

- ・授業中に調査し回答する方式も取り入れるなど、せっかくのICTをより活用できる授業としたい。
- ・できるだけ教員が介入せず学生同士のマネジメントを促す方針をとっていたが、うまく進めることができないグループも存在し、今後検討が必要であると考えている。
- ・Excel実習と授業中の作業などについて、シラバスと第1回の講義以前のcerezoの活用で授業の性質に関してコミュニケーションを取っていく。
- ・学生が今期以上に主体的な学びを経験することができるよう、グループワークや問題解決型の学習を豊富にすることを目指す。
- ・学生たちがグループ発表を進行することによって、プレゼンテーションの製作および発表力の能力を向上させることができるようとする。また、発表後、ディスカッションを通じてより積極的に学生たちが対話できる時間を持つ。
- ・常に100名を超える学生が受講するのでアクティブラーニング形式を取り入れに困難をともなうが、来年度からはアクティブラーニング形式を検討したい。
- ・全ての受講生が理解できるように資料作成を行う必要がある。また、質問をしたことがない学生もいることから、質問が行いやすい雰囲気作りや機会を作る必要がある。
- ・SAのノートの取り方を見てもらったり、成績優秀者やSAの勉強方法をブログに書いて、crezoで公開し参考にしてもらうなど、受講態度が改善されるよう努力をしていきたい。
- ・2名で担当していることから、解説の方法等をより分かりやすいものに担当者間で協議をし、改善を検討していく必要がある。
- ・授業研究(FD研修)および批評会を行い、多くの先生方の意見を受け入れ、来年度に積極的に反映しようと思う。
- ・Responを出席用のみに使用しているが、匿名でResponのようなものを使って、正解がない投稿ができる学習活動を計画する。
- ・話すボリュームが多く、質疑の時間を十分に確保できない場合、レスポンの使用や紙媒体での質問・コメントの収集をするなど、確実に実施していくこととします。

### （3）学修成果に関わる内容について

- ・再履修生や欠席回数の多い学生には、自分で解いた練習問題の提出を求めた。強制ではなく未提出の学生もいたが大半の学生は試験前に練習問題を提出し、試験においても結果も出ており一定の効果はあった。
- ・学生が関心あるトピックスと授業内容を関連付けて理解できるよう工夫を行う。
- ・積極的に活動できたグループにとって、グループワークの成果を実際に体験するなど、今後の社会に必要なスキルについて身を持って経験することができていた。一方、上手く進めることのできなかつたグループはアンケート結果も満足度や成果については低い結果となったと考えている。
- ・自分で手を動かす方式に変えたら、平均点があがり、多くが優や秀になった。
- ・学生が主体的にアウトプットを完成させることで自信を得ていることが伺える。
- ・再履修の学生対象のアンケート（60点未満だった要因は？）で共通していたのは『①欠席が多い ②わからないところがあったがそのままにしていた ③試験前に駆け込みで勉強したが、全部カバーできなかつた ④試験前にノートを見直しただけで、練習問題を解いていない ⑤自分が分かる練習問題だけ解いて、全部解いていない』であった。
- ・カリキュラム改訂により、1年次に入門科目（ミクロ経済学入門・経済数学入門）を履修し、2年次に「ミクロ経済学」を履修するようになり、多くの学生の基礎学力は向上した。

- ・分数の計算や移項、一次関数のグラフの図示など経済学を学ぶ以前の段階でつまずいている学生も一定数いるため個別のサポートを強化していきたい。
- ・今年度の履修生に関しては、例年以上に授業内の演習を積極的に取り組んでいる姿勢が強く感じられ、アクティブラーニングを取り入れている成果が実感できている。
- ・理論的な内容と実践的な内容を混合して授業を構築した。学生が主体的に授業に参加し、専門的知識やスキルを体験的に習得することに肯定的に影響したと考えられる。
- ・授業時間内に成果物を完成し提出できるように声をかけ進めたため、集中し達成感もあったのかと思う。

#### 【9】総 括

授業評価アンケート調査により、本学科における授業実施と学生成果の実態を表す結果が得られたと考えている。

各科目により授業形態や学生数などの諸条件が異なるが、消化不良や分かりにくい等から学生の授業満足度が低ければ、学科としての教育目標が達成できていないものであり、学生満足を追求するべきである。

学生の興味・探究心などを喚起するような教材・資料、アクティブラーニング化、学内システムの更なる活用など授業の工夫・改善等に磨きをかけていくことが求められる。

以上

## ② 経済学部国際経済学科

令和7年3月1日

大学教育センター

鶴田 泰人 センター長 殿

経済学部国際経済学科  
学科長 早川 達二

令和6年度「学生による授業評価アンケート」の集計結果を踏まえ、本学科の授業とその成果について点検したので報告いたします。

**【1】実施期間** 前期：令和6年6月24日（月）～7月12日（金）  
後期：令和6年12月9日（月）～令和5年1月17日（金）

### 【2】対象科目の選定

全ての授業科目（受講者6名未満の授業を除く）についてアンケートを実施する方針に従い、国際経済学科では前期9科目、後期9科目について調査を行った。

### 【3】アンケート調査内容

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する7項目、学生自身の学習点検に関する7項目、合計14項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの5つの選択肢より選択することとした。

### 【4】調査結果の集計

アンケート調査および集計は学習支援システムCerezoを利用して行った。

### 【5】調査結果に対する点検

◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：

教員の授業評価に関する7項目は、教員の授業技術的設問と講義内容の妥当性を問う設問で構成されている。国際経済学科の教員の板書、話し方、計画性等の授業技術は十分に高いレベルを有していると判断できる。前期に低い評価を受けた教員は、それを受けた後期には改善が見られた。

分析結果を踏まえた改善方策：

国際経済学科の教員の授業技術について、学生は好意的な評価をしているが、今後も改善努力を継続する予定ある。全般的に評価が高くても、常に改善の余地が存在する。

◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析：

多くの科目で「関連学習の準備」の自己評価が低くなっている。学生の自己点検の部分にはまだ改善の余地があると言える。

分析結果を踏まえた改善方策：

全学的に取り組んでいる準備学習の充実への努力を継続する必要がある。また、学生に対してアルバイトの時間が過多にならないように指導して、準備学習のための時間とエネルギーを確保することが肝要である。

### 【6】教員へのフィードバックについて

アンケート集計結果は、学科教員全員に対して全ての集計結果をフィードバックしている。対象科目担

当教員には、それを基に授業アンケート実施報告書の提出を求めた。

### 【7】学生へのフィードバックについて

学生に対するフィードバックは講義最終回、定期試験実施時、またはCerezoを通じて当該授業科目担当教員が行った。その詳細を提出された報告書に記載している。

### 【8】学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

#### ＜意見・提案＞

- (1) これまで以上に「自分で情報を集め、考え、纏める力」を養うよう努めたいと思う。
- (2) 興味を持たせることが大事だと思うので、まずは分かり易いテーマや履修生本人が興味をもつ内容を報告できるチャンスを与えてあげたりすることも大事なのではないかと思う。
- (3) この講義の教科書は、電子書籍化されているため、授業中においてタブレットやPCの利用を進めていきたいと考えている。
- (4) 今年度も少しづつ実施しているが、学生に一方的に講義するだけでなく、なるべく双方向になるよう、講義内でも学生に考えさせたり、あるテーマについて課題を与えて発言・議論させるといったことを取り入れたい。
- (5) 学生の出席を促す手段として、授業中に書いたノートだけを定期試験で持ち込み可とする実験を今後試みたい。

### 【9】総 括

今回のアンケート調査では、本学科における授業の実施と学生の学修成果の実態を表す結果が得られたと考えている。上述のように、各科目において授業改善に向けた課題も明らかになった。

以上

大学教育センター

鶴田 泰人 センター長 殿

経済学部税務会計学科

学科長 荒木 利雄

令和6年度「学生による授業評価アンケート」の集計結果を踏まえ、本学科の授業とその成果について点検したので報告いたします。

**【1】実施期間** 前期：令和6年6月24日（月）～7月12日（金）  
後期：令和6年12月9日（月）～令和5年1月17日（金）

**【2】対象科目の選定**

全ての授業科目についてアンケートを実施する方針に従い、税務会計学科では前期8科目、後期9科目について調査を行った。

**【3】アンケート調査内容**

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する7項目、学生自身の学習点検に関する7項目、合計14項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの5つの選択肢より選択することとした。

**【4】調査結果の集計**

アンケート調査および集計は学習支援システムCerezoを利用して行った。

**【5】調査結果に対する点検**

◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：

**【前期】**

・ 「質問1～7」の平均は、全学（4.58）、経済学部（4.47）と比較して、税務会計学科は、4.45となっており、全学・経済学部平均と共に0.02～0.13ポイント下回っている。

**【後期】**

・ 「質問1～7」の平均は、全学（4.61）、経済学部（4.58）と比較して、税務会計学科は、4.69となっており、それぞれ0.08ポイント、0.11ポイント上回っている。

分析結果を踏まえた改善方策：

**【前期及び後期】**

前期は、「質問1～7」のすべての質問項目で平均を下回った結果となった。ただし、平均値との乖離は、0.02～0.13ポイントであり、大きな乖離とはなっていない。しかしながら、このような結果を各教員が踏まえ、後期に向けて改善が必要であった。

後期は、全学及び経済学部平均をほぼ上回った（「質問4」のみ全学部平均より0.04ポイント、経済学部平均より0.01ポイント低い）。このことからも、前期の評価を受けて、一定の改善が見られたと考えている。

◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析：

【前期】

- 「質問 8～14」の平均は、全学（3.84）、経済学部（3.67）と比較して、税務会計学科は、3.73 となっており、全学平均より 0.11 ポイント下回ったものの、経済学部平均より 0.06 ポイント上回っている。

【後期】

- 「質問 8～14」の平均は、全学（3.84）、経済学部（3.72）と比較して、税務会計学科は、3.86 となっており、全学平均より 0.02 ポイントと若干ではあるが上回っており、経済学部平均より 0.14 ポイント上回る結果となった。
- 分析結果を踏まえた改善方策：

個々の教員（担当授業科目）で評価点にバラツキがあることから、これら前期及び後期の評価結果について、学科会議にて全教員と共有し、全体を俯瞰しつつ、各教員が個々の評価を真摯に受け止め、授業改善に資するよう努めていく。

特に全学的にも平均値の低い【質問8】の関連学習である事前・事後学習時間が増えるよう、学科会議等にて課題として取り上げ、改善していきたい。

具体的な改善方策としては、①シラバス掲載方法を工夫する、②関連学習の時間を増やすために、課題や事前学習を学生に課す、③アクティブラーニングとして、双方向型の授業となるよう、グループワークやグループディスカッションなど授業内容を工夫すること、④小テストや課題などのフィードバックに時間をかける等が挙げられる。

【6】教員へのフィードバックについて

【前期及び後期】

教員へのフィードバックは、メールで各教員へ送付し、各教員から結果報告書を受け取っている。

また、学科会議で全学平均や学部・学科平均を共有しており、改善方策を継続して考えていく機会としている。

【7】学生へのフィードバックについて

【前期及び後期】

各教員が、授業時間内、もしくは学習支援システムCerezoを活用して学生へのフィードバックを行っている。

【8】学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

＜意見・提案＞

各教員より提出された授業アンケート実施報告書（添付）より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

＜意見・提案＞

【前期】

- 本授業がどのように社会の現場で役に立つかについて、よりわかりやすく講義資料やその内容を工夫したい。また、講義に模擬テストを組込むことなども試したい。
- 関連学習を促すことで、課題やレポートの出題などについての工夫を図る。また、教材研究を継続し、人数が多くても双方向でのやり取りができるような方策を考える必要がある。
- よい授業と意欲のある学生が重なった時に、高い学修成果が期待できる。
- なるべく早くセレッソに講義資料をアップし、できるだけ事例を用いてわかりやすく

説明を行っていきたいと考えている。

- (5) より分かりやすいPPTの作成や、可能な限り時事を交えた説明など、時事や実務を感じられるように講義内容を再考したいと考えている。
- (6) 「授業内容理解への積極性」をさらに高めていきたい。「教員の話し方」の改善は一つの重要な方策になると考える。

#### 【後期】

- (1) 毎回の講義の前半で、関連する理論の基礎確認と復習を行う。また、受講態度についてのより厳しい指導や、単位評価における出席と小テストなどの平常評価の割合を高める必要もあると考える。
- (2) 関連学習の数値が低かったことを踏まえ、授業と関連する資料や参考文献を提供し、学生が自主的に学習を深める機会を増やす。また、積極性の向上を図るために、発言を促す工夫や、成果発表の場を設けることで、学びの楽しさを実感できる環境を整える。
- (3) 関連学習が行われていないことが最大の問題点であり、自主的に学習をすすめてもらうためには学生に日商簿記検定の受験を促すことが有効であると考える。
- (4) 授業内では、理解増進のため、板書を多用するなど前年度から授業形態を見直した結果、徐々にその効果が出てきたと考えられる。

#### 【9】総括

後期では、全体的に学科の授業アンケート評価結果は改善されており、一定の改善効果があったものと思われる。

しかしながら、特に学生による自己点検結果（「質問8～14」）については、学生の声を真摯に受け止め、個々の教員が、個々の授業でその内容や手法を工夫すると共に、教員と学生とのコミュニケーションをより円滑になるよう継続した取り組みが必要と考える。

以上

大学教育センター

鶴田 泰人 センター長 殿

人間文化学部人間文化学科

学科長 重迫 隆司

令和6年度「学生による授業評価アンケート」の集計結果を踏まえ、本学科の授業とその成果について点検したので報告いたします。

**【1】実施期間** 前期：令和6年6月24日（月）～7月12日（金）  
後期：令和6年12月9日（月）～令和5年1月17日（金）

**【2】対象科目の選定**

全ての授業科目（受講者6名未満の授業を除く）についてアンケートを実施する方針に従い、人間文化学科では前期15科目、後期18科目について調査を行った。

**【3】アンケート調査内容**

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する7項目、学生自身の学習点検に関する7項目、合計14項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの5つの選択肢より選択することとした。

**【4】調査結果の集計**

アンケート調査および集計は学習支援システムCerezoを利用して行った。

**【5】調査結果に対する点検**

◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：

- ① 質問1～7の平均は、前期は4.67（全学4.58、学部4.64、前年度4.66）、後期は4.59（全学4.61、学部4.60、前年度4.57）であった。
- ② 質問7（満足度）に焦点をあてると、前期は4.51（全学4.39、学部4.50、前年度4.52）、後期は4.45（全学4.46、学部4.46、前年度4.42）であった。
- ③ このように、前期に比べて後期の結果は少し低めではあったが、全学および学部の平均や前年度とも比べても低くはないので、全体としては概ね良好であったと考えられる。

分析結果を踏まえた改善方策：

- ① 前年度よりは数値は上昇傾向にあり、工夫の成果はある程度みられたのではないかと考えられる。
- ② さらに成果を上げるためにには、前年度と同様ではあるが、受講生の好奇心や探究心を高めるような授業になるように内容や教材の工夫・改善を図っていくことが求められる。

◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析：

- ① 質問8～14の平均は、前期は3.78（全学3.84、学部3.78、前年度3.93）、後期は3.76（全学3.84、学部3.79、前年度3.72）であった。
- ② 質問14（学修の成果）に焦点をあてると、前期は4.33（全学4.21、学部4.25、前年度4.32）、後期は4.30（全学4.25、学部4.28、前年度4.18）であった。
- ③ このように、質問14に関しては、前期後期ともに全学および学部の平均よりも高い。しかし、質問8～14の平均は、ともに全学よりも若干低くなっている。

分析結果を踏まえた改善方策：

- ① 前年度と比較して、本年度は質問8～14の平均の前期を除き、数値が高くなっている。その要因の一つとして、教員・学生のコロナ禍からの回復もあると考えられる。
- ②これまで通り、地域の事例や国際的な時事問題に関連づける教材化の工夫、図書館の積極的な活用、新聞・テレビ・インターネット等の多様なメディアを活用した指導法の工夫等の継続が、今後も引き続き求められると考えられる。

#### 【6】教員へのフィードバックについて

- ① 本年度も、「学生による授業評価アンケート」のデータを、常勤および非常勤の教員にメール添付で送付し、各授業科目に関する点検・分析・評価と今後の学習指導の改善策についての回答を求めた。
- ② 常勤教員に対しては、学科会議において検討を行い、次年度に向けての改善点について話し合い、確認する。

#### 【7】学生へのフィードバックについて

- ① 本年度も、コロナ禍の影響もあり、常勤および非常勤の多くの教員が、セレッソを通してフィードバックを行った。
- ② 新年度4月の学科のオリエンテーションの場で、学生全体に対してのフィードバックを行う予定である。

#### 【8】学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

＜意見・提案＞

- (1) 教室の機器等の整備
- (2) 復習を兼ねた課題を与えるなど、関連学習に充てる時間により増やすよう工夫する

#### 【9】総 括

全体として総括すれば、本年度もコロナ禍からの回復期において、学科の授業に対する評価は概ね良好と考えられる。しかし、全学平均より低い項目も散見されるので、現状に満足することなく、引き続き授業の工夫・改善を不斷に行っていくことが必要である。

そのためにも、昨年度・一昨年度と同様、各教員の研究内容に基づいた質の高い授業内容の工夫・改善、学生の興味・関心や知的好奇心・探究心、さらには感動や共感を喚起するような教材の開発・導入、学生による主体的な学びを保証するような学習のアクティヴ化、可能なところからのフィールド・ワークの導入、セレッソ等を活用した学生間の討論や議論を引き出す授業の工夫・改善等に、さらに磨きをかけていきたい。

以上

大学教育センター

鶴田 泰人 センター長 殿

人間文化学部心理学科  
学科長 中島学

令和6年度「学生による授業評価アンケート」の集計結果を踏まえ、本学科の授業とその成果について点検したので報告いたします。

**【1】実施期間** 前期：令和6年6月24日（月）～7月12日（金）  
後期：令和6年12月9日（月）～令和7年1月17日（金）

**【2】対象科目の選定**

全ての授業科目（受講者6名未満の授業を除く）についてアンケートを実施する方針に従い、心理学科では前期14科目、後期14科目について調査を行った。

**【3】アンケート調査内容**

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する7項目、学生自身の学習点検に関する7項目、合計14項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの5つの選択肢より選択することとした。

**【4】調査結果の集計**

アンケート調査および集計は学習支援システムCerezoを利用して行った。

**【5】調査結果に対する点検**

◇「授業評価アンケート」について

前期における「授業評価アンケート」質問項目7項目の全学平均が4.58で、心理学科の平均は4.67であった。また、後期の全学平均は4.61で、心理学科の平均は4.71であった。質問項目別にみると、質問項目別にみると、前期・後期ともにすべての項目で全学平均を上回っており、いずれの項目の平均値も4.5点以上であった。後期もすべての項目で全学平均を上回っており、平均値は4.5点以上であった。以上の結果より、心理学科の「授業評価アンケート」結果は、ほぼすべての項目において4.5点以上であり、全学平均より高い値を示していることから、総じて高評価が得られたと言える。

分析結果を踏まえた改善方策：

上述したように、本年度と同様の高い水準を保つことが今後の課題と言える。

◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析：

前期における「学生の自己点検」質問項目7項目の全学平均が3.84で、心理学科の平均は3.75であった。また、後期の全学平均は3.84で、心理学科の平均は3.76であった。いずれも全学平均よりやや低く、4.0未満の値を示していることから、学生の「自己点検」の結果は高いとは言えない。各項目別にみると、全学平均を下回っている項目は、前期・後期ともに「関連学習（前期：1.97；後期1.88）」「集中力（前期3.59；後期3.68）」「出席状況（前期：4.50；後期4.41（全体平均と同数））」「授業内容理解への積極性（前期3.46；後期3.51）」であった。一方、「知識や技能の深まり」「意欲の高まり」「学修の成果」については前期・後期ともに全学平均より高かった。以上の結果より、学生の自己点検評価については、「関連学習」において特に平均値全体でも2.12と低得点ではあるもののそれ以下と低く、平均値を下げる要因となっている。

## 分析結果を踏まえた改善方策 :

学生の自己点検における平均値を下げている要因は、特に「関連学習」の低さである。この状況は以前から続いており、予習・復習を課題として課すことを改善策として各教員で取り組んでいる。事前課題や事後課題として、Cerezo に関連学習としての課題を具体的に提示し、学生が積極的に自主学習できるように、反転学習等を取り入れ関連学習としての効果を高めテイクなどの工夫が求められる。場合によっては学科 FD 等においてその内容等を具体的に検討することも方策としては有用である。

## 【6】教員へのフィードバックについて

各教員に授業評価アンケート結果を送る際に、大学全体の授業評価アンケート結果と一緒に送付し、心理学科の全体における位置づけについて周知している。

## 【7】学生へのフィードバックについて

学生へのフィードバックは、個々の教員が対面やCerezoを通して、それぞれの方法で行っている。

## 【8】学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

### ＜意見・提案＞

- (1) レスポンでの出席確認時には質問を設定して、受講者の記入内容をリアルタイムで画面上に提示し受講者で共有している。受講者の反応は良く、感想・質問の文章量も向上しているが、これを授業中の発言や学生同士の交流の活性化にもう少しつなげたいと考えている。
- (2) グループワークを取り入れているが、教室の特性上、机といすが固定されているので、なかなか難しいところがある。また、グループワークに入れない学生へのフォローもしていきたい。
- (3) 人数が多かったこと、心理学科と他学科で心理学に対する意識・知識の違いがあり難しい面もあるが、グループディスカッション、発表等を入れ、心理学をより身近なものとして考えられるようにしていく。
- (4) 受講者の関心・意欲の高まりを活かして自発的な発展学習につなげるために、作業やワークの比重を高めて、学修全般への積極性が低い学生が学修に能動的に取り組めるような働きかけをしたいと考えている。ただ、他の授業における課題の量とのバランスもあるとは考えられるため、無理のないように配慮する必要もある。
- (5) 基本となる知識・情報を習得する段階、それを踏まえて個別の事例を検討する段階に講義の構成を区分し、前半は講義とその内容を確認するレポート・小テストの実施、後半は DVD 教材等を活用し具体的な事例のイメージを持ちつつ、グループ討議等による知識等の深化を図るなど、講義内容を工夫して行きたい。
- (6) 事前事後の学修において、キーワードの調べ学習のレポートを実施したり、グループでの発表回を設定し、その準備を実施させるなどをおこなうことで、授業外での学習を賦活させていくことが考えられる。

## 【9】総 括

令和6年度「学生による授業評価アンケート」における心理学科教員の集計結果を分析した結果、「授業評価」については、ほとんどの教員が高い評価を得ていることが明らかとなった。今後もこの結果を維持することを課題とする。「学生の自己点検」については以前と同様に、学生の関連学習時間が少ないことが挙げられる。受講生個々のニーズをできるだけ把握しつつ、それぞれの知識や意欲・関心の程度等も踏まえ、講義内容をより工夫していくこと、具体的には課題を次の時間に提出させたり、発表させたりするなどの工夫が学生の自主学習への取り組みの促進にもプラスに働くことを期待したい。

以上

## ⑥ 人間文化学部メディア・映像学科

令和7年3月10日

大学教育センター

鶴田 泰人 センター長 殿

人間文化学部メディア・映像学科  
学科長 简本 和広

令和6年度「学生による授業評価アンケート」の集計結果を踏まえ、本学科の授業とその成果について点検したので報告いたします。

**【1】実施期間** 前期：令和6年6月24日（月）～7月12日（金）  
後期：令和6年12月9日（月）～令和5年1月17日（金）

### 【2】対象科目の選定

全ての授業科目（受講者6名未満の授業を除く）についてアンケートを実施する方針に従い、メディア・映像学科では前期11科目、後期9科目について調査を行った。

### 【3】アンケート調査内容

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する7項目、学生自身の学習点検に関する7項目、合計14項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの5つの選択肢より選択することとした。

### 【4】調査結果の集計

アンケート調査および集計は学習支援システムCerezoを利用して行った。

### 【5】調査結果に対する点検

◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：

前期は全学平均より少し高い結果となった（1～7の平均 前期 全学：4.58 学科：4.59、全学平均より高かった項目は、教員の話し方 4.55、講義の工夫 4.56、質問への誠意 4.62、授業への満足度 4.47）。後期はすべての項目で全学平均を下回った（1～7の平均 全学：4.61、学科：4.49、全学平均より目立って低かった項目は、講義の工夫 4.44、質問への誠意 4.43、従業への満足度 4.36）。後期は多くの授業で評価が4.40以上であったが、すべての項目で全学平均より低かったことを真摯に受け止め、それぞれの教員が授業内での改善に積極的に取り組む必要があると考えている。

分析結果を踏まえた改善方策：

各教員が講義の改善に取り組み授業を行ってきたが、上記のように、後期の授業評価において全学平均を下回る結果になった。これは、授業の改善方法に少なからず問題点があったと考えている。この一因として近年の所属学生の増加も少なからず影響があると思われる。これらの結果を学科で共有してより良い授業内容に改善していきたいと考えている。メディア・映像学科では、実習や演習系の授業が多く、一部の授業において評価がばらつくことがあり、学生によって授業への対応力の差が発生していることが想像される。課題の提出状況などもこれを裏付けている。苦手な学生に対するフォローと、得意な学生に対する、よりアドバンスな内容の提供の両立は学科全体の問題として認識し、学科会議等でも科目を超えて議論している。これを今後も継続する。

◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析：

前期は全学平均と比較しやや低くなつたが、後期は同じ値となつた（8～14の平均 前期 全学：3.84 学科：3.81 後期 全学：3.84 学科：3.84）。これは「授業評価アンケート」と異なり、各教員の授業での取り組みと逆の結果となつた。全学平均より低い項目は、前期は、関連学修：2.10、集中力：3.65、出席状況4.43、後期は、集中力：3.86、出席状況：4.35、知識や技能の深まり：4.28、意識の高まり：4.11であった。特に「関連学修」が2点台と低い。これに関しては、講義系の科目において特に低い傾向があるようだ。実習、演習系の科目では課題制作にかかる時間がある分、やや高くなつてゐる傾向がある。

分析結果を踏まえた改善方策：

課題などの制作が授業外学修時間につながつてゐると思われるが、かといつて授業外課題を増やすことが現在の学生たちの学修にとって必ずしもプラスにならない状況があるといつても現実である。各科目で課題を課していくといつよりは、日頃のメディア関連、情報関連の事象との関わりを意識的にし、授業に繋げていくような学生の姿勢を促すような取り組みが有効だと考えている。

#### 【6】教員へのフィードバックについて

授業評価アンケートの結果は学科のSharePointで共有しつつ公開している。また、各教員の報告も同一フォルダにて共有し、全教員が閲覧できるものとした。

#### 【7】学生へのフィードバックについて

各教員がそれぞれの授業において口頭、もしくはcerezoを利用して学生にフィードバックを行なつた。

#### 【8】学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

##### ＜意見・提案＞

- (1)普段の接し方を意識的にすることが「関連学習」の充実にもなる。このことを学生とも共有するとともに、それを促す内容へと検討する。
- (2)実社会での実践能力や他の講義との関連性などを、具体例を挙げて学修者に示し、将来の目標を持たせて学ばせる。
- (3)予習にも時間を割くよう、予習教材を工夫するとともに、”予習の効果”を説明・指導する。
- (4)「関連学習」では多くの学生が1時間未満と回答しているので、時間外で行なうべき課題をより取り組みやすいものにする。
- (5)「関連学習」では多くの学生が1時間未満と回答しているので、時間外で行なうべき課題をより取り組みやすいものにする。
- (6)課題の数はかなり課しているように思うが、質が伴っていないのかもしれない。課題の内容や質の改善が、その他の学習や知識の高まり、満足度の向上につながるように新しい課題の作成をおこなう。
- (7)ICTを活用した授業力を育成する授業というその目的に対し、そもそも(主に授業や学習で)ICTを普段使わないという学生が一定数いることがわかつた。どこまで具体的なスキル育成に軸足を置くのか、内容とスキルという授業全体のバランスを検討する。
- (8)AIのために、論述問題やレポート課題が成り立たなくなつてきていると感じる。今後はレポート課題の比重を減らし、抱いた疑問に対する対話的なやりとりや、穴埋め問題などで知識量を問う課題を増やしていく。
- (9)印刷媒体の電子化により、紙媒体の書籍を購入したことがない学生など、この10年間にメディア環境は大幅に変動している。今後は、そのようなメディア変遷なども踏まえて授業の内容を検討する。
- (10)グループワークやディスカッション等に際し、事前の準備などの余裕を取るなど各人の一定の関与がしやすい形や、発表・質疑といったコミュニケーションベースの学修などに苦手意識を持つ学生に対しての対応を行う。

## 【9】総 括

先述のように学科としてはやや低い点数になった部分もあるが、逆に高い点数となっている科目、項目もあった。これらについては、メディア・映像学科では実習や演習系の授業が多く、科目の性質、学生の特性のばらつきによるところも多いと考えられる。この問題については学科の教育に関わる教員それぞれが認識し、取り組んでいる。学科としても共有し、改善と対応を継続したい。

アンケートの回答率の低さについては、従業評価アンケートを真剣に考えていない学生が相当以上に多いというのが現状である。これは昨年の総括でも述べたが、このアンケートは＜授業評価＞と＜学生の自己点検＞に分かれているが、説明には「学生諸君の授業についての意識や要望などを早く把握して、この調査結果を授業の改善に役立てます」とあるが、授業をほぼ履修し終えた学生に対して実施するアンケートは、自身に対しての授業改善とはならず他人事でもある。教員が言うから回答する学生も多く存在していると考えられる。授業評価アンケートを意義あるものにするには、学生たちの自己点検意識を醸成し、学生が主体的に関われるような組み立ても必要ではないだろうか。

以上

## ⑦ 工学部電気電子学科

令和7年3月10日

大学教育センター

鶴田 泰人 センター長 殿

工学部電気電子学科

学科長 香川 直己

令和6年度「学生による授業評価アンケート」の集計結果を踏まえ、本学科の授業とその成果について点検したので報告いたします。

**【1】実施期間** 前期：令和6年6月24日（月）～7月12日（金）  
後期：令和6年12月9日（月）～令和5年1月17日（金）

### 【2】対象科目の選定

全ての授業科目（受講者6名未満の授業を除く）についてアンケートを実施する方針に従い、電気電子工学科では前期10科目、後期8科目について調査を行った。

### 【3】アンケート調査内容

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する7項目、学生自身の学習点検に関する7項目、合計14項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの5つの選択肢より選択することとした。

### 【4】調査結果の集計

アンケート調査および集計は学習支援システムCerezoを利用して行った。

### 【5】調査結果に対する点検

#### ◇ 「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：

- (1) 高く評価された事項：「授業準備」、「授業時間」、「質問への誠意」は多くの授業で高評価を得ており、授業運用の質は維持できている
- (2) 改善を求められている事項：「話し方」「講義の工夫」の授業提供の質に課題がある傾向がある。

分析結果を踏まえた改善方策：

- 話し方の明瞭さ改善：話すスピードや説明方法を工夫する。
- 授業の補助教材充実：例題を増やし、演習を強化。
- グループワークの導入：学習の定着を図る。

#### ◇ 「学生の自己点検」について

点検結果の分析：

- 「知識の深まり」「意欲の高まり」は高い傾向
- 「関連学修」の時間が依然として不足
- 「授業の満足度」と「学修の成果」のギャップ：授業に満足はしているが成果は低いと感じている場合が多い

分析結果を踏まえた改善方策：

- 実践型授業の強化：ICT技術を積極的に活用した動的教材の作成。
- 授業と社会との関連性を強調：講義対象の意義を意識させる。
- 卒業研究への発展を意識した授業の提供。

### 【6】教員へのフィードバックについて

学科会議において、フィードバック報告書を共有し、学生の学習状況と併せて意見交換を行った。

## 【7】学生へのフィードバックについて

全ての科目において、授業時間内に授業担当教員が、アンケート結果を学生に開示し、所見、改善安等を述べ、適切にフィードバックを実施した旨を報告書にまとめている

## 【8】学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

- 学習意欲を高める工夫
  - グループワークを積極的に導入し、学修成果の向上を目指す。
  - 関連する授業同士の効果的な連動により、より実践的な学びを促進。
  - **MATLAB**等のICTを活用し動的な可視化を取り入れて学習の定着を図る。
- 授業の進め方の工夫
  - レポートの量を減らし、提出頻度を増やすことで学習時間の確保を目指す。
  - 討論やレポートなど、定期試験だけではない多様な評価方法を取り入れる。
  - シラバスに沿った授業進行を意識し、時間配分を工夫する。

## 【9】総括

- 前期より後期の授業評価が向上している傾向があり、改善意識が効果を示している。
- 関連学修時間の不足や数学科目の理解度不足などの課題は引き続き存在。
- 明瞭さの改善、ICTの活用、グループワークの導入など、さらなる施策の展開が求められる。

以上

大学教育センター

鶴田 泰人 センター長 殿

工学部建築学科

学科長 都祭 弘幸

令和6年度「学生による授業評価アンケート」の集計結果を踏まえ、本学科の授業とその成果について点検したので報告いたします。

**【1】実施期間** 前期：令和6年6月24日（月）～7月12日（金）  
後期：令和6年12月9日（月）～令和7年1月17日（金）

**【2】対象科目の選定**

全ての授業科目（受講者6名未満の授業を除く）についてアンケートを実施する方針に従い、建築学科では前期14科目、後期14科目について調査を行った。

**【3】アンケート調査内容**

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する7項目、学生自身の学習点検に関する7項目、合計14項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの5つの選択肢より選択することとした。

**【4】調査結果の集計**

アンケート調査および集計は学習支援システムCerezoを利用して行った。

**【5】調査結果に対する点検**

◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：

前期後期とも、教員の授業評価に関する7項目の平均は、前期が学科4.60学部4.55全学4.58、後期が学科4.50学部4.50全学4.61であり、前期については学部・全学と大きな差はないが、後期については学部平均とは同じものの全学平均とは0.11下回っている。昨年度の学科平均と比較すると、前期では0.14、後期では0.02上回った。

前期の回答率70.6%に対して、後期の回答率が66.3%に低下したことは残念である。全学平均も前期56.1%から後期50.5%に低下している。回答率75%前後を上回る場合を高い回答率と設定して7項目平均値を比較すると、高回答率の場合、前期4.63後期4.55であり、それ以外の場合、前期4.57後期4.42であった。回答率が高い方が受講者人数に係わらず若干ではあるが高い評価値が得られている。回答率を上げることが平均値アップに繋がる可能性がある。

項目別では、前期・後期ともに「教員の話し方」・「授業の工夫」・「質問への誠意」・「授業への満足度」が7項目平均値を下回る。この傾向は、全学・学部でも同じ傾向が見られた。座学と演習による差違を見ると、前期では座学4.61演習4.58、後期では座学4.49演習4.49であり、昨年度は演習系授業の方が前期・後期ともに若干上回ったが、今年度は差がない。また、例年、理論の理解や計算を伴うエンジニアリング系の授業に関しては、7項目平均値を下回る傾向が見られたが、今年度に関してはデザイン系でも平均値を下回る科目が現れた。

分析結果を踏まえた改善方策：

高い評価が得られている授業科目については、高回答率への改善あるいは維持、「授業への満足度」の更なる改善を図っていくことを期待する。「教員の話し方」が前期・後期ともに学科平均を下回る場合には、授業における説明の仕方や質問への対応などに注意していくことが大切である。授業評価アン

ケートの回答率について学科平均75%を目標に学科全体で取り組んでいく。

理数系授業の評価改善策として、オフィスアワーを利用した学科独自の学修支援を検討していく。

#### ◇「学生の自己点検」について

##### 点検結果の分析：

教員の授業評価が平均値を上回り、かつ、学生の自己点検も平均値を上回ることが理想だと考えられる。授業評価・学生の自己点検がともに学科平均値を下回る授業科目は、前期14科目中3科目、後期14科目中5科目あった。また、授業評価が高くても学生の自己点検評価が低い授業科目が、前期5科目、後期4科目存在した。これらの科目は、理論的計算を伴うエンジニアリング系科目とは限らず、座学・演習系科目にも見られる。建築学科の学生評価で全学あるいは学部平均よりも低い項目は、前期と後期で異なるが、前期・後期で共通している項目は、「集中力」と「出席状況」である。その他、「関連学習」・「授業内容理解への積極性」に関しては、高めていかなければならない全学共通の課題であると考えられる。

座学と演習による平均値の差違を見ると、前期では座学3.78演習4.02、後期では座学3.57演習3.82であり、演習系授業の方が前期・後期ともに0.3ポイント程度上回る傾向があった。ただし、前述のように演習系でも平均値を下回る科目があることに留意しなければならない。

##### 分析結果を踏まえた改善方策：

教員の授業評価を注目しがちであるが学生の自己点検にも積極的に目を向け、学科平均値を下回る項目については、科目ごとに改善を検討していくべきである。

学生の自己点検平均値は演習系授業の方が高くなる傾向があるので、座学の授業においても学生が授業内容に興味を持てるような工夫を考えていくことが「授業内容理解への積極性」を高めるために必要であろう。自己点検平均値が比較的高い評価となっているのはデザイン系の授業である。これらについては、学生が高い学修成果を感じられる授業方法を継続していくことが大切である。

#### 【6】教員へのフィードバックについて

対象科目のアンケート集計結果を担当教員にフィードバックし、担当教員はそれを基に授業アンケート実施報告書を作成した。実施報告書の提出率は、前期・後期ともに100%である。

建築学科の授業評価アンケート結果を分析した本報告書を学科教員に開示し、今後の授業改善を要請した。

#### 【7】学生へのフィードバックについて

前期14科目に関しては、フィードバック実施13科目、未実施1科目であった。未実施の1科目は非常勤講師担当であり、同じ授業を共同担当する常勤教員の注意が必要である。後期14科目についても、フィードバック未実施が1科目あった。

フィードバック方法は、Cerezo利用と授業での説明に分かれる。フィードバックを実施した前期13科目では、Cerezoが7科目、授業説明が6科目であった。同様に後期13科目では、Cerezoが7科目、授業説明が6科目であった。前・後期を併せたフィードバック実施率は、93%であった。次年度は100%を目指し教員の協力を推進する。

#### 【8】学科教員からの提案、意見

今年度各教員より提出された授業アンケート実施報告書および過年度の報告書から、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

##### ＜意見・提案＞

###### (1) “関連学習”評価を改善する取り組み方策

- ① 学習方法の具体的指示
- ② 授業時間内から演習課題に取り組む時間を作り、復習に繋げる

- (2) “教員の話し方” 評価を改善する取り組み方策
  - ① 大切なところ（授業のポイント）を繰り返し強調する
- (3) “質問への誠意”、“授業内容理解の積極性” 評価を改善する取り組み方策
  - ① 授業時間内に積極的に質問できるような環境を整備する
- (4) “講義の工夫”、“知識や技能の深まり” 評価を改善する取り組み方策
  - ① 作品について感想や意見を聞く機会を設ける
  - ② グループディスカッションを取り入れる
  - ③ 身近な（物理）現象、具体的な建築設計・施工事例、を取り上げる
  - ④ 授業内容と一級建築士試験問題との関連を増やしていく
  - ⑤ 動画解説コンテンツを取り入れる
- (5) 学生の自己点検項目 “学修の成果” 評価を改善する取り組み方策
  - ① 学修成果を把握できるループリックを活用する
  - ② 学修の成果がどのように役に立つかを示す

その他、演習で作品製作等を取り組む授業では、学生のスケジュール管理能力を高めることが大切という意見があった。

## 【9】 総 括

建築学科の入試方式には理系入試と文系入試があり、数学や物理が苦手な学生も数多く在籍している。1年次の躊躇がその後に影響することから文系方式で入学した学生のために、必要となる数学知識に関する入学前学習課題、入学後1年次に数理に関する専門科目を用意している。入学前後の学修成果をより一層高める工夫が必要に思われる。

教員評価で高い評価が得られている授業科目については、高評価を維持するとともに、回答率の改善、「授業への満足度」の更なる改善を図っていくことを期待したい。さらに、高評価の授業に限らず、全ての授業科目においてアンケート回答率75%以上を目標に取り組んでいきたい。

学生の自己点検に関しては、前期・後期ともに「集中力」・「出席状況」が全学平均を下回っている。また、前期では「関連学習」・「授業内容理解への積極性」が、後期では「知識や技能の深まり」・「意欲の高まり」・「学修の成果」が全学平均よりも低い。学生が積極的に授業内容を理解できるよう授業改善に務めることが建築学科全体に必要である。

以上

## ⑨ 工学部情報工学科

令和7年3月10日

大学教育センター  
鶴田 泰人 センター長 殿

工学部情報工学科  
学科長 金子 邦彦

令和6年度「学生による授業評価アンケート」の集計結果を踏まえ、本学科の授業とその成果について点検したので報告いたします。

**【1】実施期間** 前期：令和6年6月24日（月）～7月12日（金）  
後期：令和6年12月9日（月）～令和5年1月17日（金）

### 【2】対象科目の選定

全ての授業科目（受講者6名未満の授業を除く）についてアンケートを実施する方針に従い、情報工学科では前期11科目、後期9科目について調査を行った。

### 【3】アンケート調査内容

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する7項目、学生自身の学習点検に関する7項目、合計14項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの5つの選択肢より選択することとした。

### 【4】調査結果の集計

アンケート調査および集計は学習支援システムCerezoを利用して行った。

### 【5】調査結果に対する点検

#### ◇「授業評価アンケート」について

##### 評価結果の分析：

授業評価アンケートは、学生が匿名で講義に対する意見や評価を提出し、その後教員が学生にフィードバックするものである。このアンケートは、教員が授業の改善点を把握することや、学生が学習法の改善点や問題点を考察するために、重要なデータとして毎年利用している。令和6年度の評価結果は、従来と同様に良好であり、問題は見られない。

##### 分析結果を踏まえた改善方策：

令和6年度の評価結果から、本学科の授業で、学科として改善を迫られている事例はない。授業評価アンケートは、全教員が授業を自己点検し、改善策を考察する機会としている。その具体的な内容については、「【8】学科教員からの提案、意見」に示す。授業評価アンケートでのデータも参考に、学科の授業カリキュラムの改善（配当年次の変更、科目の新設等）を継続していることは申し添える。

#### ◇「学生の自己点検」について

##### 点検結果の分析：

令和6年度の評価結果は、従来と同様に良好であり、問題は見られない。

##### 分析結果を踏まえた改善方策：

令和6年度の評価結果から、改善を迫られている事例はない。授業評価アンケートは、今後、情報工学科の学生が学んでいく上で、どのようなアドバイスを与えていくかについて考察する機会としている。その具体的な内容については、「【8】学科教員からの提案、意見」に示す。

## 【6】教員へのフィードバックについて

教員へのフィードバックは、電子メールによるオンラインで実施した。

## 【7】学生へのフィードバックについて

学生へのフィードバックは、個々の授業担当教員から、Cerezoによるオンラインや対面での説明で実施した。

## 【8】学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

＜意見・提案＞

### 授業設計・計画段階

- 授業の計画性を高めるために、初回授業でシラバスの内容・授業スケジュール・レポートの回数・採点方法について明確に説明し、学生との合意形成を図ることが効果的である。
- データベースシステムなどの技術教育では、「フロントエンド」「バックエンド」「両者の連携」など最新技術トレンドを反映させることで、学生の関心を高められる。
- 学生のレベルに応じて難易度を臨機応変に調整できる余地を残すことで、多様な学生の興味を引き出せる。

### 授業実施・運営段階

- グループワークを適切に機能させるためには、1 グループあたりの人数を 6 名程度に抑えることが望ましい。
- 学生の集中力を維持するためには、説明だけでなく演習を効果的に組み合わせることが重要である。
- 実物製作や手を動かす授業は、一般に思われているほど学生から嫌がられていないため、積極的に取り入れるべきである。
- 身近な題材を用いた説明を心がけることで、学生の理解度と関心を高められる。
- マイクやスピーカーの適切な使用など、聞き取りやすさに配慮することで理解度が向上する。

### 学生支援・モチベーション向上

- 学生との対話を増やすことで、満足度向上や関連学習習慣の定着に繋がる。
- 授業時間外のサポート体制を充実させることで、学生の「できるようになった」という実感を強化できる。
- 小さなステップを積み重ねる学習法を採用する場合は、各ステップの意義や最終目標を明確にし、学生のモチベーションを維持する工夫が必要である。

### 授業運営・改善のための技術的側面

- 宿題の量は多ければ良いわけではなく、学修成果に結びつくよう適切な量と質を設定する。
- アンケートの回答率を高めるために、授業内で回答を促す時間を設けることが効果的である。

## 【9】総 括

令和6年度に実施された授業評価アンケートの分析結果から、対象となった授業において、顕著な問題点は確認されなかった。このことも踏まえながら、授業評価アンケートの内容を、今後も授業の改善や学生の学びの向上に活かしていく方針である。その具体的方策については「【8】学科教員からの提案、意見」に記載している。

また、授業評価アンケートについての教員から学生へのフィードバックの実施に関しても、問題なく行われていることが確認された。これは、授業の質の維持・向上に対する取り組みが適切に機能している証しである。

情報工学科の教員が実施している授業内容の改善策は、頻繁に情報工学科教員の会議の話題となり、情報工学科教員の間で共有されている。このプロセスは、教育の質を高め、学生の学びの体験を向上させるために大切なことであると考えている。

このように、授業評価アンケートの結果は、単に評価数値を見て終わるのではなく、情報工学科の授業の改善や学生の学びの向上のために活用されている。今後も、教育の質をさらに高めるための努力を継続する。

以上

大学教育センター

鶴田 泰人 センター長 殿

工学部機械システム工学科

学科長 加藤 昌彦

令和6年度「学生による授業評価アンケート」の集計結果を踏まえ、本学科の授業とその成果について点検したので報告いたします。

**【1】実施期間** 前期：令和6年6月24日（月）～7月12日（金）  
後期：令和6年12月9日（月）～令和5年1月17日（金）

**【2】対象科目の選定**

全ての授業科目（受講者6名未満の授業を除く）についてアンケートを実施する方針に従い、機械システム工学科では前期8科目、後期9科目について調査を行った。

**【3】アンケート調査内容**

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する7項目、学生自身の学習点検に関する7項目、合計14項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの5つの選択肢より選択することとした。

**【4】調査結果の集計**

アンケート調査および集計は学習支援システムCerezoを利用して行った。

**【5】調査結果に対する点検**

◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：

前期：学科平均は4.52、と、いずれも全学平均、工学部平均を下回る結果であった。最下位教員の科目の評価を除いた平均は4.88と、良好な結果であった。

後期：学科平均は4.59と全学平均程度、最下位教員の科目の評価を除いた平均は、それぞれ4.71と全学平均を大きく上回る良好な結果であった。

以上より、評価の低い1名を除く教員は、全学平均と比べても高い評価であり問題ないと判断する。しかし、1名の評価は極めて低く、学科として大きな問題であると認識している。

分析結果を踏まえた改善方策：

当該教員を改善するため、学科FDで模範となる講義を見学させる等を、指導を昨年度に引き続き行ったが、効果が表れていないようである。学生からのヒアリングから得た情報も活用し学科として問題を掘り下げて対応を行っている。今期、改善が認められなかつたようであるので、来季は数値目標を設定させる等のより踏み込んだ対応を検討する。

◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析：

前期：学科平均は3.65、当該教員の評価を除いた平均は3.77と良好な結果であった。

後期：学科平均は3.66と全学平均、工学部平均を下回る結果であった。

分析結果を踏まえた改善方策：

質問1～7の項目と同様である。問題となる教員を改善させるべく学科として取り組む。

## 【6】教員へのフィードバックについて

前期後期とも、学科長より教員個別に必要に応じてフィードバックを行い、問題があると判断した教員には指導を行った。

## 【7】学生へのフィードバックについて

前期、後期とも授業やセレッソによりフィードバックを行った。

## 【8】学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

### <意見・提案>

- (1) 学習意欲向上のため、技術士（機械部門）第一次試験、機械設計技術者3級試験などの技術系資格試験と関連性のある問題練習を行って正答体験を積み重ねることで、学修成果が実感できるようにする。
- (2) アクティブ・ラーニング要素の導入の拡大による教育効果の改善
- (3) BYODの使用による集中力・興味の改善
- (4) 学生の欲が高まるよう、成果を得たと感じるような宿題の出し方

## 【9】総 括

機械システム工学科の評価は、学科平均で見れば大きな問題はないと考えられる。特定の教員の評価が低い点は学科FDや個別指導により学科として対策を行う。新カリキュラムへと移行しており学生の期待に応えられるカリキュラム編成と徐々に移行している。柱の一つである資格取得では資格取得を目指した講義を設けるほか、個別科目においても資格取得を念頭に置いた講義を実施する等、講義内容の刷新を行っている。有効に作用して学習成果がより望ましく発展することを期待している。

以上

大学教育センター

鶴田 泰人 センター長 殿

生命工学部生物科学科

学科長 岩本 博行

令和6年度「学生による授業評価アンケート」の集計結果を踏まえ、本学科の授業とその成果について点検したので報告いたします。

**【1】実施期間** 前期：令和6年6月24日（月）～令和6年7月12日（金）

後期：令和6年12月9日（月）～令和5年1月17日（金）

**【2】対象科目の選定**

全ての授業科目（受講者6名未満の授業を除く）についてアンケートを実施する方針に従い、生物科学科では前期12科目、後期12科目について調査を行った（教職科目の理科教育法を含む）。

**【3】アンケート調査内容**

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する7項目、学生自身の学習点検に関する7項目、合計14項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの5つの選択肢より選択することとした。

**【4】調査結果の集計**

アンケート調査および集計は学習支援システムCerezoを利用して行った。

**【5】調査結果に対する点検**

◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：

- 回答率は全学平均に比べて著しく高く、学部内でも顕著に高かった。
- 全般的に、全学平均と比べて、評価が著しく異なる項目は無かった。
- 前期については、全学平均と比べて、質問への誠意の項目がやや高かった。
- 後期については、全学平均と比べて、授業時間がやや低かった。

分析結果を踏まえた改善方策：

- 特になし

◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析：

- 全般的に、全学平均と比べて著しく評価が異なる項目は無かった。
- 前期については、全学平均と比べて、出席状況、授業内容理解への積極性、学修の成果の項目がやや高かった。
- 後期については、全学平均と比べて、関連学習、出席状況の項目がやや高かった。

分析結果を踏まえた改善方策：

- 学科全体として、関連学習の項目が2点台と低かった。宿題を出すとか、課題を課すなどして関連学習を増やす必要がある。
- 全体に、積極性な学修姿勢をつけさせ、学修の意欲を高め、それによって学修成果をアップして、学生自身の成長につなげるような教育が必要である。

- そのためには一方的な授業ではなく、双方向授業や学生に考えさせる課題の設定、グループディスカッション、課題解決型授業の設定、プレゼンテーションなどのアクティブラーニングを積極的に授業に取り入れる事が必要だと考えられる。

#### 【6】教員へのフィードバックについて

- 教員へのフィードバックは、全学の資料を各教員に提示し、自身のアンケート結果と比較してもらうことにより、授業の反省と学生へのフィードバックを行って頂いた。

#### 【7】学生へのフィードバックについて

- 学生へのフィードバックは、それぞれの授業について教員が個別に行った。
- フィードバックは授業中や定期試験前に行ったり、セレッソを通じてフィードバックしたりするなどの方法があった。

#### 【8】学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

##### ＜意見・提案＞

- 学生と相談しながら検討する。
- 授業評価アンケートは授業終了後にするのが望ましい。
- 学生が苦手科目を克服できるよう工夫する。
- たゆまず努力する。
- もっと小テストのようなものを増やす
- 講義以外での学習を促す。
- 課題や配布プリントなどを増やす。
- セレッソをより活用する。
- グループ学習をより取り入れる。
- 生活に密着した視点で授業を行う
- 薬学部の授業を見学させる
- 事前学習を徹底する
- どうすればいいか分からぬ。時代や場所によって変化するので一概には言えない。
- このように毎回同じアンケートをするなら、まず良い授業の見本を見せてほしい。

#### 【9】総括

授業評価結果に対する分析や改善点については上述した通りで、教員も学生も多様性があり、時代とともに変化していく。各自、色々な意見やアイデアがあって、どれが最適かを判断することは難しい。大学が良い授業の見本を見せてほしい、との意見もあった。

本授業評価アンケートは半期に一度行い、その都度報告や総括をしているが、教員・学生ともにマンネリ化しており、新たな提案やアイデアは出難い。一方、全く別の取り組みを取り入れると、時間的・労力的に負担が増すばかりである。

毎年同じ授業をアンケート対象にする先生もいれば、これまでにアンケートを取ってこなかった科目を積極的に採用する先生もいる。ただ、このアンケート結果が個人評価に繋がっているので、評価が低く出そうな科目は避けがちになる。科目によっては、オムニバス授業や複数の教員で担当する学生実習のようなものもあるので、一元的に個人評価とリンクさせるのは良くない、との意見もある。

以上

大学教育センター

鶴田 泰人 センター長 殿

生命工学部健康栄養科学科

学科長 菊田 安至

令和6年度「学生による授業評価アンケート」の集計結果を踏まえ、本学科の授業とその成果について点検したので報告いたします。

**【1】実施期間** 前期：令和6年6月24日（月）～7月12日（金）  
後期：令和6年12月9日（月）～令和7年1月17日（金）

**【2】対象科目の選定**

全ての授業科目についてアンケートを実施する方針に従い、健康栄養科学科では前期10科目、後期10科目について調査を行った。

**【3】アンケート調査内容**

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する7項目、学生自身の学習点検に関する7項目、合計14項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの5つの選択肢より選択することとした。

**【4】調査結果の集計**

アンケート調査および集計はCerezoを利用して行った。

**【5】調査結果に対する点検**

◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：教員の授業評価に関する7項目の中で、学科の平均値が学部の平均値を上回った項目は、前期が「授業準備」「教員の話し方」「授業の計画性」「授業時間」「質問への誠意」の5項目、後期は「授業準備」「教員の話し方」「授業の計画性」「授業時間」「講義の工夫」「質問への誠意」「講義の満足度」の7項目であった。まだ授業改善の余地があるものの、概ね良好である判断した。

個々の教員の評価に対する改善策は報告書に記載されている通りである。

分析結果を踏まえた改善方策：「講義の満足度」に関する評価は、不十分とは言えないものの、改善すべき課題である。各科目の学修目標を達成し、資格取得に向けて学力を向上させるために、学生の学力に合わせたきめ細かな授業を行っていく。

◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析：前期の集計では、学生自身の学修点検に関する7項目は、全体に低値であるが、「集中力」「出席状況」は学部平均を上回っていた。後期も同様に、「集中力」「出席状況」が学部平均を上回っていた。最大の課題は「関連学習」の低値で、前後期ともに学部平均を約0.4下回った。授業の課題レポート等を課して復習を促すなどの対策を取っているものの、効果が十分でない。「学修の成果」の低値と合わせて、毎回の調査で課題となっている項目である。学生の授業に対する姿勢・モチベーションの改善がカギとなる。

分析結果を踏まえた改善方策：授業に臨む学生の態度に積極性が不足し、学修の成果に結びつきにくい傾向が示された。本学科は、栄養士・管理栄養士資格を目指しており、目標は明確であるにもかかわらず、学修の動機づけが不足していることが改めて示された。学生個々の目標を明確にするための取り組みを行っているが、十分な効果が表れていない。次年度は、初年次教育とキャリア指導を強化する。

## 【6】教員へのフィードバックについて

アンケート集計結果は、学科の各教員に対して集計結果をフィードバックしている。対象科目担当教員には、それを基に授業アンケート実施報告書の提出を求め、提出率は100%であった。

## 【7】学生へのフィードバックについて

各教員の授業アンケート実施報告書に記載している通り、すべての対象科目で講義最終回、定期試験実施時またはCerezo等を介して、担当教員が学生に対するフィードバックを行った。

## 【8】学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書（添付）より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

### ＜意見・提案＞

- ・学生の学修意欲を引き出すための工夫を行っていることを多くの教員が報告している。一方で、学修意欲が十分でなく、自主学修をほとんどしない学生が多い状況は改善されていない。
- ・アンケート調査実施に関する意見はなかった。

## 【9】総 括

アンケート結果は、多少のばらつきはあるものの全学の平均値のより低い傾向があった。授業の進め方などに改善点が多く、教員の創意・工夫が求められている。

本学科では、管理栄養士資格を目指す学生の指導にあたっているものの、学生の理解レベルと国家資格の試験レベルには開きがあり、講義の内容・難易度の設定が難しい。資格取得に対するモチベーションのばらつきも大きく、すべての学生の満足度を十分に満たしにくい。今後も学科の目標に合わせた授業を進める。

以上

大学教育センター

鶴田 泰人 センター長 殿

生命工学部海洋生物科学科

学科長 北口 博隆

令和6年度「学生による授業評価アンケート」の集計結果を踏まえ、本学科の授業とその成果について点検したので報告いたします。

**【1】実施期間** 前期：令和6年6月24日（月）～7月12日（金）  
後期：令和6年12月9日（月）～令和7年1月17日（金）

**【2】対象科目の選定**

全ての授業科目についてアンケートを実施する方針に従い、海洋生物科学科では前期16科目、後期16科目について調査を行った。

**【3】アンケート調査内容**

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する7項目、学生自身の学習点検に関する7項目、合計14項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの5つの選択肢より選択することとした。

**【4】調査結果の集計**

アンケート調査および集計はCerezoを利用して行った。

**【5】調査結果に対する点検**

◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：

質問1から質問7までが授業への評価に当たる項目であるが、これらの項目の平均は、海洋生物科学科は全学を前期では0.06ポイント、後期では0.01ポイント上回っていた。【質問7】（授業への満足度）は、当学科の平均は全学平均を前期0.14ポイント、後期は0.05ポイント上回っていた。当学科のカリキュラムは概ね学生にとって満足できるものと評価されるが、科目間のばらつきが大きく、評価の低い科目もあった。当学科の学生の多くは海洋生物への興味関心が高いため、それらを直接的に扱う生物系の科目の評価が高い傾向が見られた。

分析結果を踏まえた改善方策：

学生の興味の偏りを踏まえ、学科のDPに影響しない範囲での一部科目の改編を含むカリキュラムの変更を令和7年度から実施する。これによる授業評価の変化を追跡することで、さらなる学科の教育の改善の方策を検討したい。

◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析：

【質問11】（知識や技能の深まり）、【質問13】（意欲の高まり）、【質問14】（学修の成果）、は全学平均を上回っており、本学科の学生が学修成果を実感していると判断された。一方、【質問9】（集中力）、【質問12】（授業内容理解への積極性）は昨年度同様全学平均を下回っていた。これは受講者が数十名から100名を超える授業が多く、双方向型の導入が限定的となっていることが一つの要因と考えられる。

分析結果を踏まえた改善方策：

対面授業の中でのLMS活用など、大人数の受講生を対象とした授業で学生の授業参加を促すなど、学生

の集中力を維持し授業参加への意欲を高める方策を学科として取り組みたい。

#### 【6】教員へのフィードバックについて

アンケート集計結果は、全ての集計結果を学科専任教員全員に対してフィードバックしている。対象科目担当教員には、すべての集計結果に目を通したうえで自己評価を行い、それに基づいた授業評価アンケート実施報告書の作成を促している。

#### 【7】学生へのフィードバックについて

講義の際、定期試験実施時、あるいはCerezoを通じて当該授業科目担当教員が行った。

#### 【8】学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

##### <意見・提案>

- (1) 毎回LMSを用いて小テストを実施することで、学生の授業内容理解への積極性が増す。
- (2) 小テストの解答・解説を次の時間の最初に行い、復習の機会を設けることは学修の成果を実感させるうえで効果がある。
- (3) LMSで復習のための動画配信を行うことで、学修意欲を高めることができる。
- (4) 授業中に動画を用いると、学生の授業への取り組み姿勢が良くなることがある。
- (5) 化学的な内容など学生がもともと興味を持っていない分野の授業では、集中力などの項目の評価が低くなる。海洋に関する身近な話題を導入に用いることで集中力などの改善を図りたい。
- (6) 学生の知識と理解の個人差が大きくなってしまっており、講義内容と難易度の設定に難しさを感じている。
- (7) シラバスを読まない、質問をしない、といった意欲の低い学生をどのように授業に参加させるかが課題である。

#### 【9】総括

継続しての課題であるが、授業へのモチベーションや集中力の維持など、学生の学習意欲を高める工夫が求められる。各教員の授業評価アンケート報告書でも、そのような取り組みや課題に対する記述が多く見られた。また、学生の資質や学修への取り組み姿勢の多様化への対応に苦慮していることも伺われた。昨今の学生の傾向として、テキストベースの教材より動画などの教材に興味を示す割合が高いという指摘もあり、これらの導入の推進も課題である。各教員が実践する取り組みに関する情報を学科として共有し、学科全体の教育改善に努めたい。

以上

大学教育センター

鶴田 泰人 センター長 殿

薬学部 薬学科

学科長 小嶋英二朗、佐藤英治

令和6年度「学生による授業評価アンケート」の集計結果を踏まえ、本学科の授業とその成果について点検したので報告いたします。

**【1】実施期間** 前期：令和6年6月24日（月）～7月12日（金）  
後期：令和6年12月9日（月）～令和5年1月17日（金）

**【2】対象科目の選定**

全ての授業科目（受講者6名未満の授業を除く）についてアンケートを実施する方針に従い、薬学科では前期41科目、後期35科目について調査を行った。

**【3】アンケート調査内容**

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する7項目、学生自身の学習点検に関する7項目、合計14項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの5つの選択肢より選択することとした。

**【4】調査結果の集計**

アンケート調査および集計は学習支援システムCerezoを利用して行った。

**【5】調査結果に対する点検**

◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：

前期授業評価では、教員の授業評価に関する7項目に関して、全学平均と同程度かわずかに上回っていた。（授業準備：全学4.68、薬学4.71、話し方：全学4.51、薬学4.52、計画性：全学4.68、薬学4.77、授業時間：全学4.70、薬学4.77、講義の工夫：全学4.51、薬学4.52、質問への誠意：全学4.59、薬学4.62、授業への満足度：全学4.39、薬学4.41）。また、後期授業評価でも同様であるが、全学平均との差は前期に比べて大きくなっていた（授業準備：全学4.71、薬学4.77、話し方：全学4.54、薬学4.61、計画性：全学4.70、薬学4.80、授業時間：全学4.71、薬学4.82、講義の工夫：全学4.57、薬学4.62、質問への誠意：全学4.60、薬学4.69、授業への満足度：全学4.46、薬学4.52）。これらの値は例年と同様であり、年度間での相違は認められなかった。

分析結果を踏まえた改善方策：

前後期とも、すべての評価項目が4.4点以上の高得点であり、学科全体としては問題ないと考えられる。

◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析：

前期授業評価では、学生の自己点検に関する7項目に関して、すべての項目で全学平均を上回っていた（関連学習：全学2.12、薬学2.41、集中力：全学3.93、薬学4.30、出席状況：全学4.55、薬学4.86、知識や技能の深まり：全学4.32、薬学4.42、授業内容理解への積極性：全学3.69、薬学3.87、意欲の高まり：全学4.07、薬学4.21、学修の成果：全学4.21、薬学4.40）。また、後期授業評価でも、7項目すべてが全学平均上回っていた（関連学習：全学2.11、薬学2.37、集中力：全学3.87、薬学4.20、出席状況：全学4.38、薬学4.76、知識や技能の深まり：全学4.31、薬学4.38、授業内容理解への積極性：全学

3.55、薬学3.68、意欲の高まり：全学4.07、薬学4.21、学修の成果：全学4.21、薬学4.28）。これらの値は例年と同様であり、年度間での相違は認められなかった。

分析結果を踏まえた改善方策：

関連学習の値が低い傾向にある。授業科目数が多すぎる可能性があるため、令和6年度からカリキュラムを変更し、科目数を減少させた。今後、関連学習の時間がどのように変化していくのか注視していく。

### 【6】教員へのフィードバックについて

アンケートの集計結果は、フリーコメントを含めて学科教員全員にフィードバックしている。対象科目担当教員には、それをもとに授業アンケートの実施報告書の提出を求めた。

### 【7】学生へのフィードバックについて

学生に対するフィードバックは、講義最終回、定期試験実施時、Cerezoのいずれかにおいて実施した。詳細は各教員が提出した報告書に記載している。

### 【8】学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

＜意見・提案＞

- (1) 本講義では、授業の準備の項目が低評価であった。講義で使用する資料の事前配布が方策の一つとなると考える。
- (2) 来年度は今年度使ったスライドとともに予習用穴埋めスライドなどを事前にセレッソに上げることで予習を促してみる予定。
- (3) 講義のはじめや終わりに小テストおよびその解説を組み込むことで、前回の講義内容の復習や当日の講義のおさらいを定期的に行えるような授業を行う。さらに、他分野との関連性や応用を講義内で示すことで【質問11】知識の深まりについては改善されると考える。
- (4) 授業毎に確認試験をおこなうことは、学生および教員がお互いに理解度を把握しながら進行でき、理解不足の項目を補足説明しながら進行できる（セレッソを用いることで分からぬ項目についても統計を取れる）。これが学修成果の向上に繋がると考えている。また、各講義の初めと終わりに、その講義の概要（要点）を伝えることで理解が促されるのではないかと考えている。
- (5) 保健統計のデータをもう少し実感でできるように、現在進行形の社会問題について映像を取り入れて解説したいと考えている。また、予習・復習の時間が短いので、確認問題に記述や計算を入れたいと考えている。
- (6) 科目間のつながりを説明、理解させることが大切と考える。
- (7) 授業後にわかり難いところをアンケートで集計しているので、その点について授業内容を改善するとともに、継続して、独自にわかり難いところを抽出し、改善を行う。

### 【9】総括

薬学部のアンケート結果は、全学平均よりも同等か高い傾向にあるため、大きな問題はないと考えられる。しかしながら、まだ伸びしろはあるため、今後も授業評価アンケートと教員自身の振り返りを実施し、改善を継続する。令和6年度から授業科目数を減らした新カリキュラムを開始する。学生の関連学習に係る時間増を期待している。また、科目の担当教員数も減らしているので、アンケートの各項目について、より一貫性を持った教育ができるようになり、その結果として学生の学修成果が望ましい方向に進展すると期待される。

以上

## ⑯ 大学教育センター

令和7年3月7日

大学教育センター

鶴田 泰人 センター長 殿

大学教育センター

センター長 鶴田 泰人

令和6年度「学生による授業評価アンケート」の集計結果を踏まえ、本学科の授業とその成果について点検したので報告いたします。

**【1】実施期間** 前期：令和6年6月24日（月）～7月12日（金）  
後期：令和6年12月9日（月）～令和7年1月17日（金）

### 【2】対象科目の選定

各教員前期1科目、後期1科目（実習・演習を含む）のアンケートを実施する方針に従い、大学教育センターでは前期49科目、後期48科目について調査を行った。

### 【3】アンケート調査内容

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する7項目、学生自身の学習点検に関する7項目、合計14項目について調査した。

各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの5つの選択肢より選択することとしたが、【質問3】授業の計画性では「シラバスを読んでいない」、【質問4】授業時間では「この授業は遠隔授業なのでわからない」、【質問6】質問への誠意では「質問したことがない」が設けられており、6つの選択肢としている。

### 【4】調査結果の集計

アンケート調査および集計は学習支援システムCerezoを利用して行った。調査結果は集計後、各回答に係数を乗じ全回答数で除することで、5点満点で評価した。強く否定する回答にも係数1を与えていたため、標準値は3.5となる。

調査結果は、大学教育センター教育開発部門から、大学教育センター長経由で配布されたものを受理した。

### 【5】調査結果に対する点検

#### ◇「授業評価アンケート」について

教員の授業評価に関する7項目は、教員の授業技術的設問と講義内容の妥当性を問う設問で構成されている。

評価結果の分析：

(R6前期)

本センター平均4.58（昨年4.58） 全学平均4.58と同じ

全学平均より低い設問

「授業の計画性」（本センター4.65<全学4.68） 0.03ポイント低い

「授業への満足度」（本センター4.37<全学4.39） 0.02ポイント低い

(R6後期)

本センター平均4.63（昨年4.64） 全学平均4.61より0.02ポイント高い

全学平均より低い設問

「教員の話し方」（本センター4.69<全学4.70） 0.01ポイント低い

「授業の計画性」（本センター4.69<全学4.70） 0.01ポイント低い

#### 分析結果を踏まえた改善方策：

下線を引いたように、前期・後期を通じて「授業の計画性」で全学平均よりも低いことが判った。同設問は「授業はシラバス通りに行われていますか?」と問うものである。たしかに、その平均値で見れば低いが、個々の教員でその結果は異なるであろう。

とはいっても、全体で見た場合の結果を所属教員へ伝えることで、これへの意識を高めてもらい、今後も皆で計画を踏まえた授業を実施していけるようにしていきたい。

昨年度に比べて、令和6年度の前期は変わらなく、安定した平均値を維持している。令和6年度の後期における本センターの平均値が0.01ポイント下がったが、引き続き全学平均より高いことは評価されてよい。

#### ◇「学生の自己点検」について

##### 点検結果の分析：

###### (R6前期)

本センター平均3.80 (昨年3.77) 全学平均3.84より0.04ポイント低い

##### 全学平均より低い設問

「関連学習」 (本センター1.92<全学2.12) 0.20ポイント低い

「知識や技能の深まり」 (本センター4.25<全学4.32) 0.07ポイント低い

「授業内容理解への積極性」 (本センター3.68<全学3.69) 0.01ポイント低い

「意欲の高まり」 (本センター4.00<全学4.07) 0.07ポイント低い

「学修の成果」 (本センター4.17<全学4.21) 0.04ポイント低い

###### (R6後期)

本センター平均3.82 (昨年3.76) 全学平均3.84より0.02ポイント低い

##### 全学平均より低い設問

「関連学習」 (本センター1.95<全学2.12) 0.17ポイント低い

「知識や技能の深まり」 (本センター4.33<全学4.34) 0.01ポイント低い

「意欲の高まり」 (本センター4.10<全学4.12) 0.02ポイント低い

#### 分析結果を踏まえた改善方策：

昨年度と比べ、全学より低かった項目数が減少に見える。【前期】今年度5項目<昨年度7項目、【後期】今年度3項目<昨年度4項目。また、全体的には、前期に比べて後期のほうが全学平均との差が縮小したように見える。この点は、昨年度も同様であった。

ここでは、個別に見た場合に、全学平均との差が比較的大きい「関連学習」に注目してみたい。この点も、昨年度と同様であった。昨年度は、その前期と後期で比べてみると、後期では、その平均値は上昇していた。それで言えば今回は、そうした変化は見られなかった。

とくに「関連学習」で全学平均との差が大きいのは、本センターが担う全学共通教育への学生の興味・関心や意欲が各学部・学科における専門教育へのそれらとは異なると考えられる点に、その理由があると思われる。ならば、全学共通教育に属する各科目が専門教育とどう繋がるのかが問われなければならない。

この問題点に目を向けて、専門教育との関係で、とりわけ初年次教育や共通基礎や教養教育の各科目群の意義を問い合わせ、関係の教員間で議論していきたい。

## 【6】教員へのフィードバックについて

アンケート集計結果は、非常勤講師を含む大学教育センター関係の教員全員に対して全ての集計結果をフィードバックした。

非常勤講師の場合、大学のメールシステムへのアクセスが常勤者のように容易ではないことや、そもそもインターネットを使用しない非常勤講師も含まれることから、集計結果を適時、適切に各人の手許

に届けること自体に大変な労力を要する。

しかし、最終的には全ての教員に各自の授業評価の結果を知らせることができた。

## 【7】学生へのフィードバックについて

学生に対するフィードバックは講義最終回までに、あるいは定期試験実施時に当該授業科目担当者が行うこととした。これについても非常勤講師に関しては連絡などに手間取ることもあり、所定の期間内に学生へのフィードバックが困難なケース（できない者もいる）も生じたようである。また、Cerezo上に掲載することで学生へのフィードバックを行う科目担当者もいた。

今年度の問題点：非常勤講師に関しては、フィードバックを理解できていない先生がいる（例えばこのような記述がある：授業中に反省と課題を整理し、振り返りシートへ記入させる。）。または、フィードバック欄は空欄のまま未記入者もいた。

このフィードバック結果に基づき、対象科目担当者には授業評価アンケート実施報告書の提出を求めた。前期は1名非常勤講師に連絡したが、返信がなく、他学部の常勤先生を通じてやっと連絡取れたことが生じたが、最終的に全員報告書を提出でいた。後期も同様、1名の非常勤講師は、提出期限を超えて、まだ提出していない。したがって現時点で提出した報告書は47本である。今後非常勤講師との連絡方法の改善を考える必要がある。

## 【8】学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

＜意見・提案＞

### (1) 意見

検討を必要とする問題を指摘していると思われる意見を、以下に挙げる。

#### 1) 授業アンケートの時期について

- ・全15回の授業を待たずに途中でアンケートを実施するのは、映画の感想を最後まで見ずに途中7,8割の段階で聞くことと同じであるので、アンケートは授業回数の最後近辺でとるべきである。

#### 2) 教室の設備について

- ・教室のマイクとスピーカーが悪く、平時の授業でも学生からも苦情が出ているが（これは昨年度の授業でも同じ内容のコメントが多くあった。）、非常勤教師個人ではどうにもできないため、改善してほしいと思う。
- ・動画を視聴するが機器の性能に問題があり（古い）。スピーカーの音が割れる。

### (2) 提案

本センター関係教員にとって有用であると思われる提案を抜粋し、以下に列挙する。

#### 1) 考える力を養う

- ・学生自身が考えながら学ぶ時間を設けることで、知識や技能の深まり、意欲の高まりの数値の向上、ひいては学修の成果の数値の向上を目指したいと考えます。
- ・学生の「考える力」を向上させるよう意見作文を増やす。

#### 2) 自分で主体的学び方法

- ・自分で主体的に学ぶ方法を早い段階で伝えること。教材研究、道徳の授業づくり、生徒指導など、教育実習で経験する事柄はさまざまだが、それらを事前に、自分でどう広げ深めていくかの方法を示したい。授業を通して、その方法を知らないと感じた。一方で、その窓口や環境が大学に整っているのかどうかも不安になった。学生に方法を示すだけでなく、アンケート結果を踏まえて大学の環境も整えていく必要がある。
- ・倫理学は知識を獲得するのではなく、知識を活用して社会事象について考える授業であり、主体的に受講する態度を求めている。しかし、積極的/主体的に取り組む学生とそう

でない学生の差が大きい。セレッソを活用して授業計画と授業資料の提供については工夫を怠らぬようチェックしつつも、倫理学に関心のある学生に焦点を当てて授業を進めていく方針で今後も授業を進めていきたい。

### 3) その他

- ・より一層学生の視点に立ち進めてまいりたい。
- ・グループワークをより取り入れて、できる限り机間巡視の回数を増やしていきたいと考えています。
- ・歴史学関連の書籍を授業内でもう少し積極的に紹介する（参考文献として提示するだけではなく、その書籍（あるいは論文）の研究史上での意義などを示しながら具体的に紹介する）
- ・授業中に携帯電話を使用することは学生が課題から外れる原因となる可能性がありますが、語彙を調べるための限られた携帯電話の使用は、管理された方法で導入することができます。教室でデジタルツールを正しく使用する方法を学生に教えることは、私の授業に組み込むべきです。
- ・視覚的な情報を利用すること、双方向性を取り入れること、特にプリント等を使った書く作業を取り入れることなどが有効だと思う。

## 【9】総 括

本センター関係教員らは、今年度の授業評価アンケートの結果を振り返り、それぞれに問題点を見い出し、見つけた問題点を真摯に受けとめて、よりよい授業実践へと繋げようとしている。

引きつづき、ある教員が持っている課題を、自身の課題とも受けとめ、ともに授業力の向上に努めて参りたい。また、そのために、各々の結果の開示のあり方を検討したり、すでに本センター内で実施が続けられている「授業研究」の充実を図ったりしていく。

最後に、英語で授業評価アンケート報告書を書いている先生がいる。今後、学生による授業評価アンケートを実施の際に、全教員言語を統一の視点で、日本語で書くという文言を加えることを望みたい。

以上

## ⑯ 共同利用センター

令和7年3月5日

大学教育センター

鶴田 泰人 センター長 殿

共同利用センター

センター長 鶴崎 健一

令和6年度「学生による授業評価アンケート」の集計結果を踏まえ、本学科の授業とその成果について点検したので報告いたします。

**【1】実施期間** 前期：令和6年6月24日（月）～7月12日（金）  
後期：令和6年12月9日（月）～令和5年1月17日（金）

### 【2】対象科目の選定

全ての授業科目（受講者6名未満の授業を除く）についてアンケートを実施する方針に従い、共同利用センターでは前期2科目（10時間分）、後期2科目（4時間分）について調査を行った。

### 【3】アンケート調査内容

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する7項目、学生自身の学習点検に関する7項目、合計14項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの5つの選択肢より選択することとした。

### 【4】調査結果の集計

アンケート調査および集計は学習支援システムCerezoを利用して行った。

### 【5】調査結果に対する点検

◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：

今回、アンケートを実施した科目（前期2科目、後期2科目）のすべての科目について、全学平均と同程度か上回る評価であった。昨年度、共通教育科目A群科目についてやや低い評価であったが、これらの科目においても昨年よりも高い評価を得られた。

分析結果を踏まえた改善方策：

上述のように、全体的に比較的高い評価を得ることができたので、継続して高い評価が得られるよう、慢心せず、分かりやすい資料の作成などを心がけた授業を実施する。

◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析：

今回、アンケートを実施した科目（前期2科目、後期2科目）すべての科目について、「関連学習時間」が全学平均よりも短いという結果であった。また、情報処理に関する2科目が「集中力」について全学平均よりも低めという結果であった。共通教育科目A群科目は、全学平均と同じかやや高い評価であったが、後期科目について「授業内容理解への積極性」が少し低く、専門科目に比べて意欲を持ちづらい面があるのかもしれない。

分析結果を踏まえた改善方策：

「関連学習時間」の短さについては、4科目とも共通教育科目であることから専門科目と比較して学習時間が短めになることは仕方のない部分もあると思われるが、受講生への負担とならないように注意を払いながら、昨年度から実施しているCerezoの小テスト機能を利用した適切な課題の提示による「関

連学習」の増加のための工夫を行う。「集中力」や「授業内容理解への積極性」については、共通教育科目、特に教養科目においては興味関心や知識の差によって難しい面もあるが、上述したように学生が興味を持ちやすいようにこれまで以上に現代社会における諸問題とも絡めた授業内容を検討する。

#### 【6】教員へのフィードバックについて

アンケート集計結果を各教員個別にフィードバックした。

#### 【7】学生へのフィードバックについて

各教員が、Cerezoを活用して期間内にフィードバックを行った。

#### 【8】学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

##### <意見・提案>

- (1) 自由記述に「スライドの空白部分（授業配布資料のこと：報告者記載）の答えをテスト前や一定の期間でいいので公開してほしいです。」とあり、遅刻者への対応、授業資料の改善は検討したい。
- (2) 授業に使う資料を事前にCerezoでの配布資料について、穴埋め形式にすることで授業への集中を促す工夫を行ったが、分かりにくい部分もあったようなので見直しを図りたい。また、受講生から「近くの学生とのディスカッションの機会が欲しい」との要望があったので、科目の性質上、難しい面もあるが検討してみたい。
- (3) 授業での話し方については、継続的に改善を行っていきたい。話し方については、マイクを携帯マイクからスタンドマイクに変更し、さらに、マイクのボリュームを上げて声が届きやすくなるように改善した。

#### 【9】総 括

共同利用センターは、センター独自の授業科目を開講しておらず共通教育科目や学科の専門科目の一部を担当している、また、授業内容が教員間で大きく異なるため、本センター全体としての評価は難しい。今回の授業評価アンケートにおいては、全学平均と同等かやや高い評価となっており、前年度に比べ全体的に授業改善がなされたものと考えられる。上述のように、継続して高い評価が得られるよう、慢心せず、分かりやすい資料の作成などを心がけた授業を実施していきたい。

また、共同利用センター専門委員会が実施している「ICT活用教育の実践例の紹介」を継続して共同利用センター専任教員のSD研修の一環としている。これらを通じて、教員としての資質を高める努力を怠らないようにしたい。

以上

## 7. 令和6年度（前期）授業評価アンケート実施科目一覧

学部	学科	実施教員	科目名	講義番号	曜日	時限	受講者数
経済学部	経済学科	野村 宗訓	経済政策	EE6GME3410	木	2時限	125
経済学部	経済学科	佐藤 彰三	地方財政論基礎	EE6GME2650	木	3時限	112
経済学部	経済学科	三川 敦	経済数学	E05MBS1451	水	2時限	84
経済学部	経済学科	李 森	社会保障論	EE6GME3400	水	2時限	111
経済学部	経済学科	吉田 卓史	スポーツマネジメント論	EE6SPM2200	木	3時限	58
経済学部	経済学科	石丸 敬二	情報処理基礎	G02INL110i	水	3時限	36
経済学部	経済学科	中村 和裕	現代スポーツ論 I	EE6SPM1100	火	4時限	117
経済学部	経済学科	高羅 ひとみ	ミクロ経済学	E05MBS1101	火	1時限	104
経済学部	経済学科	野田 光太郎	スポーツ産業論	EE6SPM3100	火	2時限	46
経済学部	経済学科	助田 曜	金融システム	EE6GME2350	月	5時限	50
経済学部	経済学科	助田 曜	ファイナンス理論	EE6GME3880	月	2時限	21
経済学部	経済学科	村松 悠次	ミクロ経済学入門	E05MBS1111	水	1時限	174
経済学部	経済学科	山下 陽平	スポーツ経営学	EE6SPM3250	金	4時限	45
経済学部	経済学科	田中 征史	経済数学入門	E05MBS1131	火	1時限	84
経済学部	経済学科	北村 友宏	経済統計学 I	EE6GME2100	月	3時限	139
経済学部	経済学科	戸村 貴史	体育実技 I (体つくり運動)	EE6SPM1550	火	1時限	40
経済学部	経済学科	崔 嶠汀	スポーツ生理学	EE6SPM1300	火	2時限	144
経済学部	国際経済学科	有賀 敏之	地域経済論	EE6IEC2150	火	4時限	188
経済学部	国際経済学科	早川 達二	マクロ経済学	E05MBS1151	月	3時限	65
経済学部	国際経済学科	足立 浩一	国際学	EI6IEC2630	木	2時限	59
経済学部	国際経済学科	Bisset Ian James	英語で学ぶ国際経営	EI6IEC2780	火	2時限	45
経済学部	国際経済学科	鍋島 正次郎	アメリカ経済論 I	EI6IEC2180	木	3時限	66
経済学部	国際経済学科	高山 和夫	国際経済学	EE6GME3820	月	2時限	114
経済学部	国際経済学科	吳 青姫	中国経済論 I	EE6GME2870	火	4時限	21
経済学部	国際経済学科	佐野 穂先	経済英語入門 I	EI6IEC1310	月	2時限	74
経済学部	国際経済学科	平山 亮	アジアビジネス事情 I	EI6IEC3700	金	3時限	32
経済学部	税務会計学科	荒木 利雄	販売管理論 I	EA6ABA2500	木	1時限	66
経済学部	税務会計学科	白木 康晴	税法概論 I	EA6ABA2760	月	3時限	68
経済学部	税務会計学科	飯田 哲也	会計学総論 I	EA6ABA1100	水	2時限	102
経済学部	税務会計学科	許 霽	国際会計論 I	EA6ABA3600	火	1時限	31
経済学部	税務会計学科	張 楓	地域調査 II	EA6ABA2970	月	4時限	22
経済学部	税務会計学科	大城 朝子	経営戦略論 I	EE6ACM3100	月	4時限	89
経済学部	税務会計学科	堀田 彩	人的資源管理	EA6ABA3350	金	3時限	44
経済学部	税務会計学科	閑下 弘樹	原価計算論 I	EA6ABA2700	月	2時限	47
経済学部	税務会計学科	広瀬 佳司	英語表現法 1	HA6ETH2280	金	3時限	18
人間文化学部	人間文化学科	重迫 隆司	現代芸術とサブカルチャー論	HA6HIC2340	金	2時限	44
人間文化学部	人間文化学科	青木 美保	日本近現代文学研究 1	HA6LIT2160	火	3時限	24
人間文化学部	人間文化学科	柳川 真由美	日本の歴史と文化 1	HA6HIC2100	火	5時限	34
人間文化学部	人間文化学科	原 千史	社会思想と倫理 1	HA6ETH3310	火	3時限	38
人間文化学部	人間文化学科	清水 洋子	中国語表現法 1	HA6ETH2160	金	3時限	15

学部	学科	実施教員	科目名	講義番号	曜日	時限	受講者数
人間文化学部	人間文化学科	市原 晋平	世界史概論	HA5BDS1900	金	2時限	49
人間文化学部	人間文化学科	岩崎 真梨子	日本語学概論 1	HA6ETH2100	月	2時限	58
人間文化学部	人間文化学科	古内 絵里子	東アジアの歴史と文化 1	HA6HIC2160	木	3時限	26
人間文化学部	人間文化学科	両角 遼平	人文地理概論	HA5BDS1550	月	2時限	38
人間文化学部	人間文化学科	市瀬 信子	中国近世文化研究 1	HA6LIT3260	金	1時限	5
人間文化学部	人間文化学科	鈴木 一生	ヨーロッパ美術史 1	HA6HIC2280	水	3時限	18
人間文化学部	人間文化学科	嶋村 佳奈	日本古代の社会と文化 1	HA6HIC3160	月	4時限	23
人間文化学部	人間文化学科	田野 慎二	日本王朝文学研究 1	HA6LIT2100	木	1時限	26
人間文化学部	心理学科	平 伸二	犯罪心理学専門ゼミ	HP6SNS4540	木	3時限	6
人間文化学部	心理学科	日下部 典子	心理学概論	H05BFS1100	木	1時限	99
人間文化学部	心理学科	中島 学	少年と犯罪	HP6ADS3100	火	4時限	43
人間文化学部	心理学科	赤澤 淳子	発達心理学	HP6CRS2350	木	2時限	66
人間文化学部	心理学科	山崎 理央	臨床心理学概論	HP6CRS2150	水	1時限	65
人間文化学部	心理学科	中野 美奈	心理演習	HP6PRS3250	金	5時限	14
人間文化学部	心理学科	松本 明生	心と健康	G03THC1200	火	1時限	129
人間文化学部	心理学科	大杉 朱美	捜査心理学	HP6ADS3450	金	2時限	28
人間文化学部	心理学科	寺田 和永	教育臨床心理学	HP6ADS3600	金	1時限	51
人間文化学部	心理学科	枝廣 和憲	教育相談	QC7TTC3200	木	5時限	44
人間文化学部	心理学科	安藤 孟梓	神経・生理心理学	HP6CRS2250	火	3時限	67
人間文化学部	心理学科	金平 希	障害者・障害児心理学	HP6ADS3300	月	3時限	49
人間文化学部	心理学科	向井 智哉	心理学統計法 1	HP5BDS1150	月	4時限	81
人間文化学部	心理学科	反田 智之	知覚・認知心理学	HP6CRS2200	月	1時限	67
人間文化学部	心理学科	米倉 裕希子	福祉心理学	HP6ADS3250	他	その他	42
人間文化学部	心理学科	横山 仁史	精神疾患とその治療	HP6RLS3150	他	その他	33
人間文化学部	メディア・映像学科	田中 始男	情報セキュリティ	HM6RAS3150	月	3時限	32
人間文化学部	メディア・映像学科	筒本 和広	情報処理基礎	G02INL110t	金	4時限	60
人間文化学部	メディア・映像学科	中嶋 健明	メディア実践（企画）	HM6EPS2350	月	5時限	52
人間文化学部	メディア・映像学科	安田 曜	メディア文化論	HM6FSU1150	火	1時限	116
人間文化学部	メディア・映像学科	渡辺 浩司	ゲームメディア論	HM6FSU2150	火	1時限	68
人間文化学部	メディア・映像学科	洞ヶ瀬 真人	基礎演習 1	HM6IPS1200	月	3時限	62
人間文化学部	メディア・映像学科	内垣戸 貴之	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	QC7TTC3891	金	5時限	35
人間文化学部	メディア・映像学科	岡田 翔	メディア表現入門	HM5BDS1150	木	1時限	60
人間文化学部	メディア・映像学科	長尾 光徳	メディア応用実習	HM6EPS3350	火	3時限	37
人間文化学部	メディア・映像学科	村上 友重	写真論	HM6EPS2300	水	2時限	54
人間文化学部	メディア・映像学科	渡辺 敏恵	アナウンス	HM6EPS1100	水	1時限	19
工学部	電気電子工学科	仲嶋 一	基礎電気工学	LM5PHS2100	木	3時限	63
工学部	電気電子工学科	香川 直己	電気電子基礎	TA6COM1110	火	1時限	15
工学部	電気電子工学科	歌谷 昌弘	工業数学 I	TA5FUS1200	火	2時限	16
工学部	電気電子工学科	菅原 聰	パワーエレクトロニクス	TA6PEC3150	木	4時限	14
工学部	電気電子工学科	田中 聰	通信工学	TA6EBC3100	金	4時限	15
工学部	電気電子工学科	関田 隆一	リスクマネジメント	T06SSE3100	水	3時限	33

学部	学科	実施教員	科目名	講義番号	曜日	時限	受講者数
工学部	電気電子工学科	関根 康史	防災工学	T06SSE2100	火	1時限	106
工学部	電気電子工学科	沖 俊任	C A E	TA6COM3150	月	3時限	6
工学部	電気電子工学科	沖 俊任	スマートシステム応用実験	TA6EXE3210	火	3時限	22
工学部	電気電子工学科	伍賀 正典	みらい工学プロジェクト	T06PBL1108	月	5時限	10
工学部	電気電子工学科	伍賀 正典	教養ゼミ（教養講座を含む）	G01FYE110d	月	3時限	14
工学部	電気電子工学科	安保 悅朗	職業指導	QC7TTC3601	木	5時限	6
工学部	建築学科	梅國 章	建築構造材料	T06SSE2200	金	2時限	65
工学部	建築学科	都祭 弘幸	建築構造II	TK6ARC3300	木	2時限	19
工学部	建築学科	藤谷 秀雄	構造・力学入門	TK6FUA1300	金	1時限	68
工学部	建築学科	藤原 美樹	インテリア計画I	TK6FUA2350	火	3時限	59
工学部	建築学科	河口 佳介	建築設計演習III	TK6ARC3360	火	3時限	16
工学部	建築学科	佐藤 圭一	建築保存・再生論	TK6COM3350	月	1時限	10
工学部	建築学科	佐々木 伸子	住宅計画	TK6FUA1250	火	2時限	60
工学部	建築学科	伊澤 康一	建築環境工学I	TK6FUA2400	木	3時限	62
工学部	建築学科	山本 一貴	建築設計演習I	TK6FUA2110	水	1時限	44
工学部	建築学科	大畠 友紀	都市計画	T06SSE3200	水	1時限	65
工学部	建築学科	酒井 要	情報処理基礎	G02INL1101	火	1時限	57
工学部	建築学科	秋岡 昌彦	造形デザインI	TK6FUA2200	木	1時限	21
工学部	建築学科	島田 美和子	生活デザイン演習III	TK6LED3100	水	3時限	19
工学部	建築学科	藤井 稔己	建築材料実験	TK6COM3600	木	3時限	25
工学部	情報工学科	山之上 卓	コンピューターアーキテクチャ演習	TI6HAR3200	木	3時限	56
工学部	情報工学科	金子 邦彦	コンピューターサイエンス	TI6COM1150	金	2時限	48
工学部	情報工学科	尾関 孝史	画像処理	TI6APP3400	金	2時限	69
工学部	情報工学科	池岡 宏	ゲームプログラミング	TI6SOF3150	水	3時限	40
工学部	情報工学科	中道 上	ソフトウェア設計演習	TI6SOF3350	火	3時限	64
工学部	情報工学科	谷口 優宇	情報処理技術II	TI6COM3100	水	2時限	46
工学部	情報工学科	今井 勝喜	専門英語	G02ENG350p	火	2時限	64
工学部	情報工学科	宮崎 光二	Webプログラミング	TI6NET3100	木	2時限	61
工学部	情報工学科	森田 翔太	論理回路	TI6HAR2100	火	3時限	39
工学部	情報工学科	天満 誠也	プログラミング応用	TI6SOF2100	木	3時限	61
工学部	情報工学科	上野 貴弘	コンピュータネットワーク	TI6NET2100	水	2時限	56
工学部	機械システム工学科	加藤 昌彦	要素設計学	TG6DAP2100	金	2時限	16
工学部	機械システム工学科	真鍋 圭司	数学I	TG5FUS1100	金	2時限	10
工学部	機械システム工学科	坂口 勝次	熱力学I	TG6HAF2150	月	3時限	16
工学部	機械システム工学科	木村 純壯	制御システム設計	TG6MSA3250	月	4時限	14
工学部	機械システム工学科	中東 潤	3D CAD I	TG6MED2150	木	2時限	15
工学部	機械システム工学科	中村 格芳	自動車の強度	TG6AME3200	月	3時限	13
工学部	機械システム工学科	小林 正明	計測工学	TG6MAC2100	火	4時限	17
工学部	機械システム工学科	金谷 健太郎	流体工学I	TG6HAF2100	金	1時限	10
生命工学部	生物科学科	山本 覚	代謝生化学	LB5BCH3700	火	1時限	24
生命工学部	生物科学科	岩本 博行	化学I	LB5CHE1600	月	1時限	25

学部	学科	実施教員	科目名	講義番号	曜日	時限	受講者数
生命工学部	生物科学科	山口 泰典	生命倫理	LB6BII4900	水	1時限	23
生命工学部	生物科学科	久富 泰資	分子生物学	LB6BII2100	金	2時限	20
生命工学部	生物科学科	松崎 浩明	生物学II	LB5BI01100	水	1時限	23
生命工学部	生物科学科	太田 雅也	構造生化学	LB5BCH2700	月	1時限	20
生命工学部	生物科学科	広岡 和丈	微生物培養工学	LB6ABI3200	火	2時限	23
生命工学部	生物科学科	佐藤 淳	環境ゲノム学	LB6ABI3800	月	1時限	17
生命工学部	生物科学科	吉崎 隆之	ワイン醸造学	LB6ABI3300	金	1時限	23
生命工学部	生物科学科	石塚 真太郎	専門英語	G02ENG350h	木	2時限	24
生命工学部	生物科学科	原口 博行	バイオマス・資源リサイクル	LB6ABI2800	火	2時限	19
生命工学部	生物科学科	磯崎 哲夫	理科教育法 I	QC7TTC3820	火	3時限	7
生命工学部	健康栄養科学科	井ノ内 直良	食品学 I	LN5FOH1400	水	2時限	29
生命工学部	健康栄養科学科	菊田 安至	公衆衛生学	LN5SHE2250	火	2時限	26
生命工学部	健康栄養科学科	宮田 明	疾患学総論	LN5BMD2200	木	1時限	27
生命工学部	健康栄養科学科	石井 香代子	給食経営管理論 II	LN6FSM3200	金	2時限	23
生命工学部	健康栄養科学科	西 彰子	栄養教育論 I	LN6NUE2400	火	1時限	28
生命工学部	健康栄養科学科	吉田 純子	応用栄養学実習	LN6APN2250	他	その他	26
生命工学部	健康栄養科学科	村上 泰子	臨床栄養学II	LN6CLN3250	木	2時限	24
生命工学部	健康栄養科学科	山田 直子	健康管理概論	LN5SHE1100	木	1時限	26
生命工学部	健康栄養科学科	中崎 千尋	調理学	LN5FOH1300	火	2時限	26
生命工学部	健康栄養科学科	福田 伸治	食品衛生学	LN5FOH2150	金	2時限	28
生命工学部	海洋生物科学科	伊丹 利明	魚類生理学	LM6MCS2200	金	2時限	117
生命工学部	海洋生物科学科	北口 博隆	暮らしと微生物	LM5BI02150	火	2時限	107
生命工学部	海洋生物科学科	三輪 泰彦	バイオテクノロジー入門	LM5BIS3100	金	1時限	31
生命工学部	海洋生物科学科	満谷 淳	微生物発酵と食品	LM6MFS3150	火	1時限	36
生命工学部	海洋生物科学科	有瀧 真人	水産学概論	LM6MCS2450	金	1時限	116
生命工学部	海洋生物科学科	高村 克美	動物組織学	LM6MCS2300	水	1時限	112
生命工学部	海洋生物科学科	倉掛 昌裕	食品衛生学	LM6MFS3200	金	2時限	84
生命工学部	海洋生物科学科	太田 健吾	魚類解剖学	LM6MCS2250	火	1時限	126
生命工学部	海洋生物科学科	阪本 憲司	魚学概論	LM6MCS1100	水	1時限	105
生命工学部	海洋生物科学科	金子 健司	沿岸域の水産業	LM6FIE3200	金	1時限	71
生命工学部	海洋生物科学科	山岸 幸正	フィールド調査法	LM6FIE3150	火	2時限	95
生命工学部	海洋生物科学科	真田 誠至	博物館展示論	QC7CUC3400	月	3時限	20
生命工学部	海洋生物科学科	水上 雅晴	博物館概論	LM6AQS3200	金	2時限	34
生命工学部	海洋生物科学科	我如古 菜月	栄養学	LM6MCS2400	木	2時限	103
生命工学部	海洋生物科学科	山本 知里	バイオ情報処理演習	LM5BIS3150	水	3時限	33
生命工学部	海洋生物科学科	泉 貴人	生物学II	LM5BI01150	火	1時限	105
薬学部	薬学科	井上 敦子	生体機能の調節II	PP6CLP2140	金	3時限	102
薬学部	薬学科	今 重之	免疫のしくみ	PP6BI03200	金	2時限	90
薬学部	薬学科	田村 豊	薬の効くメカニズム	PP6CLP2100	水	1時限	101
薬学部	薬学科	小嶋 英二朗	機器分析学	PP6PHY2200	木	1時限	100
薬学部	薬学科	片山 博和	統計解析と臨床研究	PP6CLP4220	火	1時限	93

学部	学科	実施教員	科目名	講義番号	曜日	時限	受講者数
薬学部	薬学科	赤崎 健司	社会・集団と健康	PP6HLS4150	木	1時限	68
薬学部	薬学科	杉原 成美	化学物質の生体への影響	PP6HLS3100	月	1時限	93
薬学部	薬学科	田中 哲郎	薬物の臓器への到達と消失	PP6CLP3180	火	1時限	95
薬学部	薬学科	前田 順伸	病原微生物と感染症	PP6BI03150	水	2時限	92
薬学部	薬学科	町支 臣成	有機化学 I	PP6CHE1120	火	1時限	106
薬学部	薬学科	井上 裕文	分析化学 I	PP5MBS1280	月	2時限	103
薬学部	薬学科	秦 季之	物質の状態	PP6PHY2100	金	1時限	101
薬学部	薬学科	道原 明宏	ゲノム情報と創薬	PP6BI02150	月	2時限	100
薬学部	薬学科	高根 浩	臨床推論演習	PP6CLP4260	月	3時限	95
薬学部	薬学科	重永 章	有機化学 I	PP6CHE2100	月	1時限	98
薬学部	薬学科	竹田 修三	実習IV	PP6PET3100	月	3時限	91
薬学部	薬学科	木平 孝高	統計解析と臨床研究	PP6CLP4220	火	1時限	93
薬学部	薬学科	佐藤 雄己	悪性腫瘍の薬・病態・治療	PP6CLP4180	火	2時限	91
薬学部	薬学科	山下 純	コミュニケーション交流学習	PP5MBS2100	木	3時限	98
薬学部	薬学科	本屋敷 敏雄	生体エネルギー代謝	PP6BI02100	木	2時限	102
薬学部	薬学科	渡邊 正知	中枢神経系疾患の薬・病態・治療 II	PP6CLP4140	水	1時限	103
薬学部	薬学科	五郎丸 剛	医薬品の安定供給と社会保障制度	PP6LAS4150	月	1時限	91
薬学部	薬学科	坂根 洋	化学物質の生体への影響	PP6HLS3100	月	1時限	93
薬学部	薬学科	前原 昭次	薬物の宝庫としての天然物	PP6CHE3150	金	1時限	90
薬学部	薬学科	大西 正俊	循環器系・腎疾患の薬・病態・治療	PP6CLP3100	火	2時限	101
薬学部	薬学科	小川 祥二郎	物理へのファースト・ステップ	G03NAS1650	金	2時限	104
薬学部	薬学科	松岡 浩史	ゲノム情報と創薬	PP6BI02150	月	2時限	100
薬学部	薬学科	上敷領 淳	生体エネルギー代謝	PP6BI02100	木	2時限	102
薬学部	薬学科	広瀬 雅一	臨床推論演習	PP6CLP4260	月	3時限	95
薬学部	薬学科	稗田 雄三	物質の基本概念	G03NAS1600	水	1時限	106
薬学部	薬学科	中村 徹也	薬系数学	PP5MBS1200	月	1時限	106
薬学部	薬学科	高山 健人	薬になる動植物	PP6CHE2150	火	2時限	102
薬学部	薬学科	高山 健人	漢方医学概説	PP6CLP1100	水	2時限	104
薬学部	薬学科	西山 卓志	ターゲット分子の合成	PP6CHE3100	木	4時限	96
薬学部	薬学科	番匠谷 研吾	循環器系・腎疾患の薬・病態・治療	PP6CLP3100	火	2時限	101
薬学部	薬学科	喜屋武 龍二	基礎化学	PP5MBS1360	木	2時限	104
薬学部	薬学科	志摩 亜季保	生体調節分子	PP6BI03100	月	2時限	92
薬学部	薬学科	尾上 洋	ファーマシーティカルケア 総合演習 I	PP6PET6150	他	その他	98
薬学部	薬学科	岡田 昌浩	ファーマシーティカルケア 総合演習 I	PP6PET6150	他	その他	98
薬学部	薬学科	数野 博	ファーマシーティカルケア 総合演習 I	PP6PET6150	他	その他	98
薬学部	薬学科	半田 由佳	薬学総論	PP6PET6100	他	その他	99

学部	学科	実施教員	科目名	講義番号	曜日	時限	受講者数
大学教育センター	大学教育センター	地主 弘幸	物理の世界	G03NAS1253	火	3時限	56
大学教育センター	大学教育センター	劉 国彬	中国語（I）	G02CHI110a	火	3時限	31
大学教育センター	大学教育センター	今井 航	教育原理	QC7TTC1100	火	5時限	59
大学教育センター	大学教育センター	小野 太幹	数理科学	G03NAS1101	水	3時限	23
大学教育センター	大学教育センター	Lowes Jason	英語 I	G02ENG110f	火	4時限	34
大学教育センター	大学教育センター	津田 将行	キャリアデザインII	G04CAE2102	金	5時限	8
大学教育センター	大学教育センター	井上 泰	教育実習指導	QC7TTC4250	火	5時限	41
大学教育センター	大学教育センター	Tang Warren	英語 I	G02ENG110g	火	4時限	32
大学教育センター	大学教育センター	記谷 康之	インターネット・リテラシ入門	G03NAS1852	金	4時限	95
大学教育センター	大学教育センター	前田 吉広	キャリアデザイン I	G04CAE1101	月	5時限	184
大学教育センター	大学教育センター	松本 陵磨	英語III	G02ENG210d	月	3時限	24
大学教育センター	大学教育センター	SUZUKI HEATHER ANNE	英語 I	G02ENG1102	木	2時限	23
大学教育センター	大学教育センター	Driussi Cordelia	英語 I	G02ENG110b	火	4時限	32
大学教育センター	大学教育センター	向井 勝也	キャリアデザイン I	G04CAE1103	木	5時限	132
大学教育センター	大学教育センター	宮岡 弥生	日本語表現法	G02JNE110m	金	3時限	35
大学教育センター	大学教育センター	高垣 裕子	英語III	G02ENG210j	月	3時限	34
大学教育センター	大学教育センター	溝淵 裕	憲法	G03SSL1152	金	1時限	35
大学教育センター	大学教育センター	神野 靖子	音楽	G03AHS1241	火	2時限	10
大学教育センター	大学教育センター	山本 賢太郎	囲碁から学ぶ人間学（1）	G03AHS1800	火	4時限	49
大学教育センター	大学教育センター	田中 宏和	憲法	G03SSL1151	金	1時限	30
大学教育センター	大学教育センター	上村 崇	倫理学（1）	G03THC1250	火	4時限	125
大学教育センター	大学教育センター	谷川 充美	日本語表現法 1	G02JNE1151	月	4時限	59
大学教育センター	大学教育センター	張 治清	中国語（I）	G02CHI110j	木	3時限	33
大学教育センター	大学教育センター	藤井 晶子	日本語表現法	G02JNE110c	月	2時限	37
大学教育センター	大学教育センター	外林 省二	書道	G03AHS1121	火	3時限	17
大学教育センター	大学教育センター	平山 直樹	英語III	G02ENG2101	金	3時限	30
大学教育センター	大学教育センター	前村 晃子	ドイツ語（I）	G02GER1103	木	2時限	25
大学教育センター	大学教育センター	崔 真英	韓国語（I）	G02KOR1101	火	3時限	39
大学教育センター	大学教育センター	梅木 璃子	英語III	G02ENG210b	月	3時限	33
大学教育センター	大学教育センター	遠藤 耕二	哲学（1）	G03THC1100	火	2時限	70
大学教育センター	大学教育センター	齊藤 一彦	体育（1）	G03AHS1442	火	2時限	37
大学教育センター	大学教育センター	岡田 秀一	ドローンで撮る地域の魅力	G03RST1401	木	4時限	30
大学教育センター	大学教育センター	高橋 和久	剣道（1）	G03AHS1360	金	4時限	14
大学教育センター	大学教育センター	藤本 路加	陶芸	G03AHS1203	金	3時限	20
大学教育センター	大学教育センター	道法 愛	日本語表現法	G02JNE110g	月	4時限	55
大学教育センター	大学教育センター	Peter M. Skaer	英語 I	G02ENG110a	火	4時限	31
大学教育センター	大学教育センター	Benjamin Soar	英語 I	G02ENG110s	木	3時限	35
大学教育センター	大学教育センター	バーデン 京子	英語III	G02ENG210k	火	3時限	34
大学教育センター	大学教育センター	笠本 晃代	英語III	G02ENG210n	火	3時限	30

学部	学科	実施教員	科目名	講義番号	曜日	時限	受講者数
大学教育センター	大学教育センター	赤松 頌也	フランス語（I）	G02FRE1101	火	3時限	32
大学教育センター	大学教育センター	Qolamreza Nassr	英語 I	G02ENG110p	木	3時限	35
大学教育センター	大学教育センター	Dawn Kobayashi	英語 I	G02ENG110q	木	3時限	33
大学教育センター	大学教育センター	田村 耕一	市民生活と法	G03SSL1101	金	1時限	175
大学教育センター	大学教育センター	Elahe Nassr	英語 I	G02ENG110e	火	4時限	32
大学教育センター	大学教育センター	岩崎 克己	ドイツ語（I）	G02GER1101	火	3時限	31
大学教育センター	大学教育センター	金子 直樹	日本語表現法	G02JNE110n	金	3時限	35
大学教育センター	大学教育センター	久納 早智	世界史（1）	G03HIC1200	水	3時限	122
大学教育センター	大学教育センター	米倉 広晃	日本史（1）	G03HIC1102	水	3時限	122
大学教育センター	大学教育センター	河 智弘	韓国語（I）	G02KOR1104	火	4時限	36
共同利用センター	共同利用センター	鶴崎 健一	自然と人間	G03NAS1452	火	2時限	129
共同利用センター	共同利用センター	鶴崎 健一	自然と人間	G03NAS1453	木	2時限	38
共同利用センター	共同利用センター	鶴崎 健一	自然と人間	G03NAS1451	火	1時限	40
共同利用センター	共同利用センター	瀬島 紀夫	情報処理基礎	G02INL110o	金	4時限	36
共同利用センター	共同利用センター	瀬島 紀夫	情報処理基礎	G02INL110f	火	3時限	24
共同利用センター	共同利用センター	瀬島 紀夫	情報処理基礎	G02INL110r	金	3時限	35
共同利用センター	共同利用センター	瀬島 紀夫	情報処理基礎	G02INL110e	月	4時限	14
共同利用センター	共同利用センター	瀬島 紀夫	情報処理基礎	G02INL110a	月	2時限	27
共同利用センター	共同利用センター	瀬島 紀夫	情報処理基礎	G02INL110d	月	3時限	11
共同利用センター	共同利用センター	瀬島 紀夫	情報処理基礎	G02INL110n	木	3時限	37
国際センター	国際センター	趙 建紅	日本語（3）（留学生用）	G02JNI1200	水	4時限	7
国際センター	国際センター	趙 建紅	国際化と地域創生	G03RST1500	水	3時限	221
IR室	IR室	片桐 重和	情報処理基礎	G02INL110c	木	4時限	47

8. 令和 6 年度（後期）授業評価アンケート実施科目一覧

学部	学科	実施教員	科目名	講義番号	曜日	時限	受講者数
経済学部	経済学科	楠田 昭二	環境経済学	EE6GME3360	火	2時限	129
経済学部	経済学科	野村 宗訓	現代社会と経済	G03SSL1300	水	1時限	216
経済学部	経済学科	佐藤 彰三	地方財政論	EE6GME2700	木	3時限	122
経済学部	経済学科	田中 征史	経済数学入門	E05MBS1132	火	1時限	125
経済学部	経済学科	三川 敦	経済数学	E05MBS1452	水	2時限	23
経済学部	経済学科	李 森	労働経済論Ⅱ	EE6GME2600	月	2時限	170
経済学部	経済学科	吉田 卓史	体育理論	G03AHS1520	火	1時限	131
経済学部	経済学科	石丸 敬二	情報処理技法	E05MBS1302	水	2時限	35
経済学部	経済学科	中村 和裕	現代スポーツ論Ⅱ	EE6SPM1150	火	4時限	113
経済学部	経済学科	高羅 ひとみ	ミクロ経済学	E05MBS1103	火	2時限	122
経済学部	経済学科	野田 光太郎	スポーツマーケティング論	EE6SPM3200	水	2時限	61
経済学部	経済学科	助田 曜	金融論	EE6GME2400	月	2時限	75
経済学部	経済学科	助田 曜	金融論特講	EE6GME3800	月	4時限	24
経済学部	経済学科	村松 悠次	マクロ経済学入門	E05MBS1122	木	2時限	131
経済学部	経済学科	崔 帽汀	韓国語（Ⅱ）	G02KOR1156	木	2時限	40
経済学部	経済学科	北村 友宏	経済統計学Ⅱ	EE6GME2150	月	3時限	86
経済学部	経済学科	戸村 貴史	スポーツ統計学	EE6SPM3150	月	4時限	19
経済学部	経済学科	山下 陽平	スポーツ経済学Ⅱ	EE6SPM2150	金	3時限	51
経済学部	経済学科	岡本 昌規	体育実技Ⅴ（球技）	EE6SPM2620	金	1時限	19
経済学部	経済学科	野村證券	資本市場論	EE6GME2450	水	4時限	173
経済学部	経済学科	畠本 佳恵	情報処理技法	E05MBS1307	木	4時限	40
経済学部	経済学科	王 佳子	法学概論（2）	G03SSL1250	月	1時限	78
経済学部	経済学科	林 聰太郎	学校保健論	EE6SPM1350	月	2時限	37
経済学部	国際経済学科	早川 達二	マクロ経済学	E05MBS1153	月	3時限	92
経済学部	国際経済学科	足立 浩一	国際機関論	EI6IEC3150	木	2時限	159
経済学部	国際経済学科	Bisset Ian James	英語で学ぶ国際貿易	EI6IEC2800	火	1時限	32
経済学部	国際経済学科	鍋島 正次郎	中南米経済論	EI6IEC3550	火	3時限	81
経済学部	国際経済学科	高山 和夫	金融から見える世界Ⅱ	EE6IEC2450	金	3時限	59
経済学部	国際経済学科	吳 青姫	中国経済論Ⅱ	EE6GME2880	火	4時限	35
経済学部	国際経済学科	佐野 穂先	経済英語入門Ⅱ	EI6IEC1360	月	2時限	84
経済学部	国際経済学科	平山 亮	アジア直接投資論Ⅱ	EI6IEC3650	木	3時限	35
経済学部	国際経済学科	有賀 敏之	開発経済学	EE6IEC2100	水	3時限	87
経済学部	税務会計学科	荒木 利雄	販売管理論Ⅱ	EA6ABA2550	木	1時限	50
経済学部	税務会計学科	白木 康晴	税法概論Ⅱ	EA6ABA2790	月	3時限	70
経済学部	税務会計学科	飯田 哲也	会計学総論Ⅱ	EA6ABA1150	水	2時限	82
経済学部	税務会計学科	張 楓	地域調査Ⅰ	EA6ABA1200	月	4時限	31
経済学部	税務会計学科	許 霽	国際会計論Ⅱ	EA6ABA3650	火	1時限	31
経済学部	税務会計学科	大城 朝子	経営戦略論Ⅱ	EE6ACM3150	月	4時限	66
経済学部	税務会計学科	堀田 彩	生産システム	EA6ABA2300	金	3時限	16
経済学部	税務会計学科	関下 弘樹	原価計算論Ⅱ	EA6ABA2730	月	2時限	43

学部	学科	実施教員	科目名	講義番号	曜日	時限	受講者数
経済学部	税務会計学科	三谷 一弘	基礎簿記	E05MBS1222	水	3時限	74
人間文化学部	人間文化学科	青木 美保	日本近現代文学研究 2	HA6LIT2190	火	3時限	18
人間文化学部	人間文化学科	重迫 隆司	英米文化入門	HA5BDS1330	金	2時限	43
人間文化学部	人間文化学科	原 千史	ドイツ語表現法 2	HA6ETH2250	水	2時限	15
人間文化学部	人間文化学科	清水 洋子	中国古典文化研究 2	HA6LIT3240	火	3時限	10
人間文化学部	人間文化学科	柳川 真由美	日本の歴史と文化 2	HA6HIC2130	火	5時限	32
人間文化学部	人間文化学科	古内 絵里子	東アジアの歴史と文化 2	HA6HIC2190	木	3時限	23
人間文化学部	人間文化学科	市原 晋平	生活文化史	H05BFS1250	金	2時限	89
人間文化学部	人間文化学科	岩崎 真梨子	日本語研究法 2	HA6ETH3160	月	5時限	18
人間文化学部	人間文化学科	両角 遼平	人文地理探求	HA5BDS1600	月	2時限	34
人間文化学部	人間文化学科	市瀬 信子	中国近世文化研究 2	HA6LIT3280	金	1時限	5
人間文化学部	人間文化学科	末賀 敏久	中国文化入門	HA5BDS1250	金	3時限	18
人間文化学部	人間文化学科	新本 万里子	日本民俗論	G03HIC1700	木	5時限	80
人間文化学部	人間文化学科	山崎 桂子	日本文学史 2	HA6LIT2430	金	3時限	16
人間文化学部	人間文化学科	鈴木 一生	ヨーロッパ美術史 2	HA6HIC2310	水	3時限	19
人間文化学部	人間文化学科	嶋村 佳奈	日本古代の社会と文化 2	HA6HIC3190	月	4時限	16
人間文化学部	人間文化学科	白井 純	日本語の歴史	HA6ETH3100	金	4時限	17
人間文化学部	人間文化学科	広瀬 佳司	英語表現法 2	HA6ETH2310	金	3時限	17
人間文化学部	人間文化学科	田野 慎二	日本の中世文学 2	HA6LIT3440	木	2時限	24
人間文化学部	心理学科	平 伸二	犯罪心理学専門ゼミ	HP6SNS4540	木	3時限	6
人間文化学部	心理学科	日下部 典子	心理学的支援法	HP6CPC2151	金	2時限	62
人間文化学部	心理学科	山崎 理央	感情・人格心理学	HP6CRS2500	水	1時限	66
人間文化学部	心理学科	赤澤 淳子	家族の人間関係	HP6ADS3350	月	2時限	36
人間文化学部	心理学科	中島 学	矯正心理学	HP6FCC3151	火	5時限	36
人間文化学部	心理学科	中野 美奈	心理実習	HP6PRS4300	木	2時限	11
人間文化学部	心理学科	松本 明生	学習・言語心理学	HP6CRS2450	木	5時限	65
人間文化学部	心理学科	大杉 朱美	交通心理学	HP6ADS3550	金	2時限	28
人間文化学部	心理学科	枝廣 和憲	教育・学校心理学	HP6ADS2100	火	3時限	65
人間文化学部	心理学科	安藤 孟梓	健康・医療心理学	HP6ADS3200	木	1時限	30
人間文化学部	心理学科	金平 希	地域とボランティア	H05BFS1300	月	2時限	94
人間文化学部	心理学科	向井 智哉	社会・集団・家族心理学	HP6CRS2300	火	2時限	69
人間文化学部	心理学科	反田 智之	産業・組織心理学	HP6ADS3400	木	2時限	50
人間文化学部	心理学科	寺田 和永	教育心理学	QC7TTC1550	火	3時限	52
人間文化学部	メディア・映像学科	田中 始男	基礎演習 2	HM6IPS1250	月	4時限	59
人間文化学部	メディア・映像学科	安田 曜	アニメ論	HM6EPS2250	金	2時限	57
人間文化学部	メディア・映像学科	筒本 和広	情報処理応用	H05BFS1353	金	4時限	60
人間文化学部	メディア・映像学科	中嶋 健明	C G映像制作	HM6EPS2200	月	4時限	53
人間文化学部	メディア・映像学科	渡辺 浩司	マルチメディア論	TI6COM3250	火	3時限	104
人間文化学部	メディア・映像学科	洞ヶ瀬 真人	社会学	G03SSL1350	火	4時限	106
人間文化学部	メディア・映像学科	内垣戸 貴之	e ラーニング論	HM6FSU2300	月	1時限	25
人間文化学部	メディア・映像学科	岡田 翔	メディアデザイン論	HM6FSU1250	金	3時限	57

学部	学科	実施教員	科目名	講義番号	曜日	時限	受講者数
人間文化学部	メディア・映像学科	村上 博郁	地域メディア論	HM6RAS3250	水	4時限	20
工学部	電気電子工学科	香川 直己	制御工学Ⅰ	TA6COM2750	木	2時限	13
工学部	電気電子工学科	仲嶋 一	半導体工学	TA6COM2650	水	2時限	14
工学部	電気電子工学科	歌谷 昌弘	工業数学Ⅱ	TA5FUS1400	火	2時限	19
工学部	電気電子工学科	菅原 聰	電気磁気学Ⅰ	TA6COM1150	水	2時限	18
工学部	電気電子工学科	田中 聰	電気通信事業法・電波法	TA6ECC3400	水	3時限	13
工学部	電気電子工学科	関田 隆一	安全工学	T06SSE3300	金	2時限	32
工学部	電気電子工学科	沖 俊任	メカトロニクス	TA6COM3450	木	3時限	11
工学部	電気電子工学科	伍賀 正典	プログラミング基礎	TA6COM1250	金	2時限	15
工学部	建築学科	梅國 章	構造設計演習Ⅱ	TK6ARC3250	金	3時限	18
工学部	建築学科	都祭 弘幸	不静定力学	TK6COM2750	金	3時限	50
工学部	建築学科	藤原 美樹	福祉住環境	TK6QEC1100	火	3時限	60
工学部	建築学科	河口 佳介	建築設計演習Ⅱ	TK6FUA2160	火	3時限	43
工学部	建築学科	佐藤 圭一	建築製図演習Ⅱ	TK6FUA1210	火	1時限	57
工学部	建築学科	佐々木 伸子	生活デザイン演習Ⅱ	TK6LED2150	水	1時限	20
工学部	建築学科	伊澤 康一	環境設備演習	TK6COM3500	火	3時限	36
工学部	建築学科	山本 一貴	建築デザイン論	TK6ARC3450	水	2時限	25
工学部	建築学科	酒井 要	建築デジタルデザインⅠ	TK5FUS1210	水	2時限	58
工学部	建築学科	大畠 友紀	建築総合技術Ⅰ	TK6QEC3500	木	1時限	51
工学部	建築学科	藤谷 秀雄	建築振動学	TK6ARC3150	木	3時限	23
工学部	建築学科	秋岡 昌彦	造形デザインⅡ	TK6COM2100	木	1時限	9
工学部	建築学科	後藤 亜貴	生活デザイン演習Ⅳ	TK6LED3150	水	3時限	18
工学部	建築学科	甲野 裕之	建築施工	TK6COM3660	木	4時限	49
工学部	情報工学科	山之上 順	I o T演習	TI6HAR1200	月	3時限	43
工学部	情報工学科	金子 邦彦	データベースシステム	TI6SOF2250	金	2時限	51
工学部	情報工学科	尾閑 孝史	線形代数	TI5FUS1800	月	2時限	33
工学部	情報工学科	池岡 宏	プログラミング入門	TI6SOF1100	水	2時限	48
工学部	情報工学科	中道 上	ソフトウェア開発演習	TI6SOF3400	月	3時限	63
工学部	情報工学科	今井 勝喜	応用数学	TI5FUS2150	月	3時限	13
工学部	情報工学科	宮崎 光二	実用ネットワーク管理	TI6NET2250	水	2時限	55
工学部	情報工学科	森田 翔太	コンピュータアーキテクチャ	TI6HAR2150	金	1時限	79
工学部	情報工学科	谷口 優宇	並列分散処理	TI6SOF3300	月	2時限	28
工学部	機械システム工学科	加藤 昌彦	強度設計学	TG6DAP2200	月	2時限	15
工学部	機械システム工学科	真鍋 圭司	数学Ⅱ	TG5FUS1151	金	2時限	10
工学部	機械システム工学科	山田 宏	バイオデザイン	TG6MSB3250	月	2時限	7
工学部	機械システム工学科	坂口 勝次	熱力学Ⅱ	TG6HAF2250	月	3時限	17
工学部	機械システム工学科	木村 純壯	メカトロニクス	TG6MSA3450	月	3時限	13
工学部	機械システム工学科	中東 潤	機械材料学	TG6MAT1100	水	1時限	14
工学部	機械システム工学科	中村 格芳	生産加工システム	TG6MSA1200	月	2時限	19
工学部	機械システム工学科	小林 正明	電気工学概論	TG6MSA3350	火	3時限	22
工学部	機械システム工学科	金谷 健太郎	ターボデジタルデザイン	TG6MSB3300	火	4時限	10

学部	学科	実施教員	科目名	講義番号	曜日	時限	受講者数
生命工学部	生物科学科	山本 覚	酵素利用工学	LB6ABI3700	水	1時限	21
生命工学部	生物科学科	久富 泰資	基礎微生物学	LB6BII1200	金	2時限	24
生命工学部	生物科学科	原口 博行	植物機能利用学	LB6ABI3500	火	1時限	26
生命工学部	生物科学科	松崎 浩明	遺伝子工学	LB6BII2150	金	1時限	17
生命工学部	生物科学科	広岡 和丈	環境微生物学	LB6ABI2200	水	1時限	18
生命工学部	生物科学科	吉崎 隆之	醸酵生産・醸造学	LB6ABI2300	水	2時限	17
生命工学部	生物科学科	石塚 真太郎	保全生物学	LB6BII2850	火	2時限	16
生命工学部	生物科学科	磯崎 哲夫	理科教育法 I	QC7TTC3820	火	3時限	7
生命工学部	生物科学科	岩本 博行	バイオ経済・企業論	LB6ABI3900	他	その他	18
生命工学部	生物科学科	山口 泰典	細胞生物学実験	LB6EXE2400	他	その他	17
生命工学部	生物科学科	太田 雅也	化学実験	LB6EXE1650	他	その他	23
生命工学部	生物科学科	佐藤 淳	海外研修	LB5PRA1950	他	その他	13
生命工学部	健康栄養科学科	井ノ内 直良	食品学II	LN5FOH1450	金	1時限	27
生命工学部	健康栄養科学科	菊田 安至	微生物学	LN5BMD1600	水	1時限	26
生命工学部	健康栄養科学科	石井 香代子	給食経営管理論 I	LN6FSM2200	木	2時限	25
生命工学部	健康栄養科学科	吉田 純子	応用栄養学 I	LN6APN1100	水	2時限	28
生命工学部	健康栄養科学科	村上 泰子	臨床栄養学 I	LN6CLN2400	金	1時限	31
生命工学部	健康栄養科学科	山田 直子	公衆栄養学 I	LN6PHN2200	水	1時限	31
生命工学部	健康栄養科学科	中崎 千尋	食品加工学	LN5FOH2500	金	2時限	25
生命工学部	健康栄養科学科	宮田 明	病態栄養学	LN6CLN2350	木	1時限	26
生命工学部	健康栄養科学科	中嶋 裕子	社会福祉概論	LN5SHE2300	水	2時限	24
生命工学部	健康栄養科学科	西 彰子	栄養教育論実習	LN6NUE2450	他	その他	25
生命工学部	海洋生物科学科	伊丹 利明	魚介類の疾病と予防	LM6RUD3300	金	1時限	51
生命工学部	海洋生物科学科	北口 博隆	海洋環境科学	LM6MCS2600	火	1時限	110
生命工学部	海洋生物科学科	三輪 泰彦	水産食品の科学	LM6MCS2650	月	2時限	130
生命工学部	海洋生物科学科	満谷 淳	海洋生態学	LM6MCS1150	木	1時限	117
生命工学部	海洋生物科学科	有瀧 真人	魚類の飼料と栄養	LM6RUD3200	月	1時限	60
生命工学部	海洋生物科学科	高村 克美	海洋動物発生学	LM6MCS2150	火	2時限	118
生命工学部	海洋生物科学科	倉掛 昌裕	食品の安全管理	LM6MFS3300	木	2時限	96
生命工学部	海洋生物科学科	金子 健司	魚類の行動と生理	LM6MCS2500	水	1時限	114
生命工学部	海洋生物科学科	山岸 幸正	海洋植物分類学	LM6MCS1250	金	2時限	107
生命工学部	海洋生物科学科	阪本 憲司	遺伝学	LM6MCS2100	木	2時限	116
生命工学部	海洋生物科学科	太田 健吾	遺伝学	LM6MCS2100	木	2時限	116
生命工学部	海洋生物科学科	泉 貴人	水生生物の生態と環境	LM6AQS3350	水	1時限	72
生命工学部	海洋生物科学科	真田 誠至	水族館論	LM6AQS3250	金	2時限	69
生命工学部	海洋生物科学科	水上 雅晴	生理学	LM5BI01200	火	1時限	103
生命工学部	海洋生物科学科	我如古 菜月	食品分析学	LM6MFS3500	金	1時限	32
生命工学部	海洋生物科学科	山本 知里	海洋動物の行動と生態	LM6FIE3250	木	1時限	83
薬学部	薬学科	赤崎 健司	生活環境と健康	PP6HLS2100	木	2時限	100
薬学部	薬学科	井上 敦子	血液・造血器系疾患の薬・病態・治療	PP6CLP2260	木	3時限	101
薬学部	薬学科	井上 裕文	応用分析科学	PP6PHY3200	木	3時限	90

学部	学科	実施教員	科目名	講義番号	曜日	時限	受講者数
薬学部	薬学科	大西 正俊	血液・造血器系疾患の薬・病態・治療	PP6CLP2260	木	3時限	101
薬学部	薬学科	小川 祥二郎	分析技術の臨床応用	PP6PHY2300	月	2時限	102
薬学部	薬学科	片山 博和	製剤とDDS	PP6CLP3420	水	1時限	91
薬学部	薬学科	上敷領 淳	生命活動を担うアミノ酸・タンパク質代謝系	PP6BI02200	月	1時限	100
薬学部	薬学科	木平 孝高	薬剤師を取り巻く法規	PP6LAS3100	木	2時限	90
薬学部	薬学科	喜屋武 龍二	化学の基礎	G03NAS1700	木	2時限	30
薬学部	薬学科	今 重之	免疫と疾患	PP6BI03250	金	1時限	87
薬学部	薬学科	小嶋 英二朗	臨床検査	PP6CLP2300	金	2時限	100
薬学部	薬学科	坂根 洋	生活環境と健康	PP6HLS2100	木	2時限	100
薬学部	薬学科	佐藤 英治	調剤	PP6CLP3340	火	1時限	92
薬学部	薬学科	佐藤 雄己	製剤の性質	PP6CLP3380	月	3時限	92
薬学部	薬学科	重永 章	有機化学II	PP6CHE2200	水	2時限	102
薬学部	薬学科	志摩 亜季保	生命活動を担うアミノ酸・タンパク質代謝系	PP6BI02200	月	1時限	100
薬学部	薬学科	杉原 成美	食品衛生	PP6HLS3150	火	2時限	91
薬学部	薬学科	高山 健人	漢方薬物治療学	PP6CLP1160	水	2時限	102
薬学部	薬学科	本屋敷 敏雄	物質の構造と放射線	PP6PHY2250	火	2時限	101
薬学部	薬学科	高根 浩	事前学習	PP6PET4250	他	その他	94
薬学部	薬学科	竹田 修三	薬学英語演習II	G02ENG510b	他	その他	96
薬学部	薬学科	田中 哲郎	薬物動態解析	PP6CLP3300	水	2時限	90
薬学部	薬学科	町支 臣成	有機化学II	PP6CHE1170	月	2時限	101
薬学部	薬学科	中村 徹也	薬物動態解析	PP6CLP3300	水	2時限	90
薬学部	薬学科	田村 豊	末梢神経系に作用する薬	PP6CLP2180	金	1時限	106
薬学部	薬学科	西山 卓志	有機化学II	PP6CHE1170	月	2時限	101
薬学部	薬学科	秦 季之	物理化学I	PP6PHY1120	金	2時限	104
薬学部	薬学科	稗田 雄三	化学の基礎	G03NAS1700	木	2時限	30
薬学部	薬学科	半田 由佳	微生物学	PP6BI01270	火	1時限	102
薬学部	薬学科	広瀬 雅一	薬剤師を取り巻く法規	PP6LAS3100	木	2時限	90
薬学部	薬学科	前原 昭次	天然物化学	PP6CHE2250	木	4時限	100
薬学部	薬学科	松岡 浩史	分子遺伝学I	PP6BI01320	火	2時限	101
薬学部	薬学科	道原 明宏	分子遺伝学I	PP6BI01320	火	2時限	101
薬学部	薬学科	山下 純	薬学英語演習I	G02ENG4100	他	その他	95
薬学部	薬学科	渡邊 正知	中枢神経系疾患の薬・病態・治療I	PP6CLP3260	金	2時限	92
大学教育センター	大学教育センター	地主 弘幸	物理現象の基礎	G03NAS1300	水	3時限	33
大学教育センター	大学教育センター	今井 航	教職概論	QC7TTC1200	金	5時限	60
大学教育センター	大学教育センター	劉 国彬	中国語(II)	G02CHI115c	火	4時限	33
大学教育センター	大学教育センター	小野 太幹	基礎数学	G03NAS1154	水	3時限	24
大学教育センター	大学教育センター	Lowes Jason	英語II	G02ENG115f	火	4時限	34
大学教育センター	大学教育センター	津田 将行	地学実験	LM5ERS1151	木	3時限	34
大学教育センター	大学教育センター	Tang Warren	英語II	G02ENG115u	金	4時限	30

学部	学科	実施教員	科目名	講義番号	曜日	時限	受講者数
大学教育センター	大学教育センター	記谷 康之	W e b デザイン入門	G03NAS1902	金	4時限	105
大学教育センター	大学教育センター	松本 陵磨	英語 II	G02ENG115t	金	4時限	30
大学教育センター	大学教育センター	SUZUKI HEATHER ANNE	英語 II	G02ENG1152	木	2時限	22
大学教育センター	大学教育センター	Driussi Cordelia	英語IV	G02ENG215e	火	2時限	19
大学教育センター	大学教育センター	井上 泰	総合的な学習の時間の指導法 II	QC7TTC3890	金	5時限	37
大学教育センター	大学教育センター	高垣 裕子	英語IV	G02ENG215j	月	3時限	34
大学教育センター	大学教育センター	溝淵 裕	憲法	G03SSL1153	金	1時限	158
大学教育センター	大学教育センター	山本 賢太郎	囲碁から学ぶ人間学 (2)	G03AHS1840	火	4時限	25
大学教育センター	大学教育センター	田中 宏和	市民生活と法	G03SSL1102	金	3時限	126
大学教育センター	大学教育センター	上村 崇	倫理学 (2)	G03THC1300	火	4時限	30
大学教育センター	大学教育センター	高澤 健司	生徒指導・進路指導論	QC7TTC2330	火	1時限	35
大学教育センター	大学教育センター	牧 貴愛	教育制度論	QC7TTC1150	水	4時限	63
大学教育センター	大学教育センター	谷川 充美	日本語表現法	G02JNE110r	月	4時限	28
大学教育センター	大学教育センター	張 治清	中国語 (II)	G02CHI115j	木	3時限	30
大学教育センター	大学教育センター	藤井 晶子	日本語表現法 2	HM5BDS1300	水	2時限	63
大学教育センター	大学教育センター	木村 真弓	ダンス	G03AHS1680	木	4時限	12
大学教育センター	大学教育センター	平山 直樹	英語IV	G02ENG2151	金	3時限	29
大学教育センター	大学教育センター	前村 晃子	ドイツ語 (II)	G02GER1153	木	2時限	26
大学教育センター	大学教育センター	崔 真英	韓国語 (II)	G02KOR1155	木	2時限	38
大学教育センター	大学教育センター	梅木 璃子	英語IV	G02ENG215b	月	3時限	32
大学教育センター	大学教育センター	遠藤 耕二	哲学 (2)	G03THC1150	火	2時限	58
大学教育センター	大学教育センター	齊藤 一彦	体育 (2)	G03AHS1482	火	2時限	29
大学教育センター	大学教育センター	岡田 秀一	ドローンで撮る地域の魅力	G03RST1400	木	4時限	29
大学教育センター	大学教育センター	高橋 和久	剣道 (2)	G03AHS1400	金	4時限	8
大学教育センター	大学教育センター	藤本 路加	陶芸	G03AHS1205	月	3時限	20
大学教育センター	大学教育センター	渋谷 清	絵画	G03AHS1162	火	3時限	17
大学教育センター	大学教育センター	Skaer Peter M.	英語II	G02ENG115a	火	4時限	30
大学教育センター	大学教育センター	Soar Benjamin	英語II	G02ENG115s	木	3時限	35
大学教育センター	大学教育センター	バーデン 京子	英語IV	G02ENG215k	火	3時限	34
大学教育センター	大学教育センター	笠本 晃代	英語II	G02ENG115c	火	4時限	32
大学教育センター	大学教育センター	赤松 頌也	フランス語 (II)	G02FRE1151	火	3時限	32
大学教育センター	大学教育センター	寺澤 優	日本史 (2)	G03HIC1152	月	3時限	196
大学教育センター	大学教育センター	Nassr Qolamreza	英語II	G02ENG115p	木	3時限	33
大学教育センター	大学教育センター	Kobayashi Dawn	英語II	G02ENG115q	木	3時限	33
大学教育センター	大学教育センター	Nassr Elahe	英語IV	G02ENG215s	火	3時限	32
大学教育センター	大学教育センター	岩崎 克己	ドイツ語 (II)	G02GER1151	火	3時限	31
大学教育センター	大学教育センター	金子 直樹	日本語表現法	G02JNE110s	月	4時限	28
大学教育センター	大学教育センター	河 智弘	韓国語 (II)	G02KOR1154	火	4時限	35
大学教育センター	大学教育センター	哈木 格図	世界史 (2)	G03HIC1250	水	3時限	165

学部	学科	実施教員	科目名	講義番号	曜日	時限	受講者数
大学教育センター	大学教育センター	大庭 フランシス光瑠	イスラム文化	G03HIC1550	火	4時限	102
大学教育センター	大学教育センター	前田 吉広	キャリアデザイン実践演習	G04CAE2161	他	その他	31
共同利用センター	共同利用センター	鶴崎 健一	暮らしとバイオ	G03NAS1353	木	1時限	168
共同利用センター	共同利用センター	鶴崎 健一	暮らしとバイオ	G03NAS1352	水	2時限	72
共同利用センター	共同利用センター	瀬島 紀夫	情報処理応用	G02INL1153	木	3時限	9
共同利用センター	共同利用センター	瀬島 紀夫	情報処理応用	G02INL1151	火	3時限	7
国際センター	国際センター	趙 建紅	中国語（II）	G02CHI115b	火	3時限	22
国際センター	国際センター	趙 建紅	★1級受験日本語II（留学生用）（交換留学生用）	QI8JTS1151a	月	3時限	5
IR室	IR室	片桐 重和	I C T演習	TI6COM1250	火	3時限	46
社会連携センター	社会連携センター	中村 雅樹	暮らしと物つくり	G03NAS1200	木	5時限	152